

(令和5年度)

第五次小千谷市総合計画 後期基本計画 進行管理シート



目 次

基本目標		基本方針		施 策		シートNo.		
1	人を育み文化の香るまちづくり (教育、文化、スポーツ)	1	学校教育の充実	1	幼児教育の充実	1		
				2	小・中学校教育の充実	2		
				3	特別支援教育の充実	3		
				4	教育環境の整備	4		
				5	育英事業の推進	5		
		2	生涯学習の推進	1	生涯学習事業の推進	6		
				2	青少年の健全育成	7		
		3	文化の振興	1	文化・芸術の振興	8		
				2	文化財等の保存と活用	9		
		4	スポーツの振興	1	生涯スポーツ・競技スポーツの振興	10		
				2	体育施設の整備	11		
		2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり (福祉、健康、医療)	1	子育て環境の充実	1	子どもを産み育てやすい環境の整備	12
2	子育て支援の充実					13		
2	健康づくりの推進			1	健やかな体づくりの推進	14		
				2	健康長寿の推進	15		
				3	心の健康づくりの推進	16		
3	医療体制の充実			1	地域医療の充実	17		
				1	障がい者福祉の充実	18		
4	支えあう福祉社会づくり			2	生活困窮者への支援	19		
				3	高齢者福祉の充実	20		
				1	商業の振興	21		
3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり (産業)			1	商工業の振興	2	基幹産業の強化	22
						3	企業立地の推進	23
		1	担い手の育成と経営の安定			24		
		2	農林業の振興	2	農業生産基盤整備の推進	25		
				3	農村の振興	26		
				4	森林の維持	27		
				1	独創性・創造性豊かな産業の育成	28		
		3	地域特性を活かした産業の育成	2	錦鯉産業の振興	29		
				1	就業支援の強化と人材育成	30		
		4	就業機会の確保	2	労働環境の整備	31		
				1	中心市街地の活性化	32		
		4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり (都市基盤)	1	都市空間の創出	2	地域公共交通の充実	33
3	居住環境の向上					34		
1	道路網の整備と維持管理					35		
2	快適な生活基盤の整備			2	自然と調和し災害に強い河川の整備	36		
				3	都市ガスの安定供給	37		
				4	上水道の安定供給	38		
				5	下水道施設の維持管理の推進	39		
				1	都市計画の推進	40		
3	土地利用の推進			2	国土調査の推進	41		
				1	危機管理体制の強化	42		
5	自然を活かした調和と安心のまちづくり (防災、環境、克雪)			1	安全な市民生活の確保	2	消防・救急体制の充実	43
						3	交通安全と防犯の推進	44
		1	自然環境との共生			45		
		2	自然と共生する循環型社会の推進	2	資源リサイクルの推進	46		
				3	再生可能エネルギーの推進	47		
				1	冬期間交通の確保	48		
		3	暮らしやすい雪国生活の推進	2	雪国生活の充実	49		
				1	移住・定住人口の拡大	50		
		6	ふれあい、にぎわい、暮らし続けたいまちづくり (交流、市民参加)	1	交流・移住・定住の推進	2	都市間交流の推進と関係人口の拡大	51
3	国際交流の促進					52		
1	市民協働のまちづくりの推進					53		
2	市民協働と地域づくり			2	地域力を活かした市民活動の推進	54		
				1	観光資源の整備と活用	55		
2	祭りやイベントによる誘客推進			56				
7	計画推進のために	1	持続可能な行財政運営	57				
		2	効果的な広域連携	58				
		3	人口減少対策	59				
		4	男女共同参画と人権の尊重	60				

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	1
総合計画ページ	P.8		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	1	学校教育の充実
施策	1	幼児教育の充実
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どもと保護者で学ぶ機会の提供 ■ 子ども読書活動の推進 ■ 認定こども園への支援 ■ 相談体制の充実

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課
(掲載項目なし)								

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
家庭教育地域交流振興事業 【文化スポーツ課】	保育園、認定こども園、小・中・総合支援学校などと連携した家庭教育講座の充実	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<p>・2園、9小中学校、2団体における親子で学ぶ機会や子育ての悩みを解決に導く講座開催を支援し、講座の充実を図った。</p> <p>・家庭でのお子さんとの関わり方などを学ぶ講座を開催した。</p>	<p>乳幼児期・少年期における子育ての悩みや親子で学べる学習の機会を提供し、家庭教育の普及や振興を図ることができている。</p> <p>【R4年度】 講座支援数:19回、参加者数:1,148名 講座開催数:6回、参加者数:48名</p> <p>【R5年度】 講座支援数:23回、参加者数:1,399名 講座開催数:7回、参加者数:40名</p>	<p>・引き続き、家庭教育講座の開催を支援する。</p> <p>・SNSやアプリ等を利用した周知を行うことで広く情報を届け、より多くの支援ができるように努める。</p>
事業名【担当課】	事業概要	
地域子育て支援拠点事業 【健康・子育て応援課】	親子体操などの子育て講座、すこやか子育て教室の実施	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<p>すこやか子育て教室</p> <p>・0歳児 55組 98人 ・1歳児 34組 68人 ・2歳児 24組 52人</p> <p>子育て講座</p> <p>・13講座 101組 135人</p>	<p>未就園児とその保護者を対象としているが、就園年齢が低下したことにより、参加者数は減少傾向にある。情報化社会でインターネットなどから多くの子育て情報を得ることができるがゆえに、発達の遅れなどの不安を抱える親も多く、今後も子育てについて学ぶ機会を提供する必要がある。</p>	<p>すこやか子育て教室や子育て講座を開催し、親子の関わり方や愛着形成段階をサポートする。保護者間交流を図りながら、不安な気持ちに寄り添い、情報提供を行う。</p>

事業名【担当課】	事業概要	
子ども読書活動推進事業 【にぎわい交流課】	家庭での読み聞かせの啓発、ブックスタート事業、保育園やわんパークなどと連携した図書館サービスの実施	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・10か月健診時に実施しているブックスタート事業は新型コロナウイルス感染症対策のため絵本の配付のみ実施していたが、8月から希望者への読み聞かせを再開した。10月頃までは対象者の半数が読み聞かせを希望し、それ以降は新型コロナウイルス感染症が落ち着いたこともあり、ほぼ全員が読み聞かせを希望した。 ・保育園へ団体貸出を実施し、本に親しむ機会を提供した。 	<p>ブックスタート時のアンケートでは、「家で絵本を読んでみようと思った」と回答した保護者は98%という結果となった。また、1歳半健診時のアンケートにおいてブックスタート後に家で読み聞かせを「している」又は「ときどきしている」と回答した保護者は95%という結果となった。乳幼児期から本に親しむ機会を設けることが子どもの読書習慣の定着につながっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・R6年度もブックスタート事業を実施し、乳幼児期から本に親しむ機会をつくる。 ・引き続き、保育園等への団体貸出を実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
認定こども園支援事業 【教育・保育課】	運営費補助	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<p>国、県及び市による認定こども園に対する運営費補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育対策総合支援事業費補助金 1件 ・認定こども園施設整備等補助金 1件 ・特別保育事業補助金 4件 ・特定教育・保育施設健康管理費補助金 3件 	<p>特色ある教育の充実のため、認定こども園の運営を支援する必要がある。</p>	<p>引き続き、認定こども園に対する運営費補助を通して特色ある教育の推進と充実を支援する。</p>

事業名【担当課】	事業概要	
就学前児童の相談事業 【教育・保育課】	就学前児童の相談体制の充実	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・R5年度から特別教育支援指導主事を配置し、より専門的な指導助言を行うことができるようになり、各園との連携が強化された。 ・各園への巡回訪問により、就学前から就学相談などに対する助言を行った。 ・園における特別支援教育の窓口となる発達支援コーディネーターを各園に配置し、研修会を実施することで早期段階から就学相談を進めることができた。 ・発達支援コーディネーターと小学校の先生との情報交換を年度当初に行うことで円滑な就学相談の実施につながった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・H29年度から実施している巡回訪問の実施や各園へ発達支援コーディネーターを配置することにより、就学前児童に対する早期からの就学相談の実施が定着してきている。 ・特別な支援を必要とする児童生徒は増加しており、就学相談を余裕をもって進めるためにも子どもの困り感について、保護者との情報共有が必要である。 	<p>引き続き、特別教育支援指導主事を中心に巡回訪問や発達支援コーディネーター配置による早期からの就学相談を実施し、就学相談体制の充実を図る。発達支援コーディネーターの更なる専門性向上を図るため、研修内容を検討し、研修会を開催する。</p>

※困り感…困っていると感じているその様子

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	2
総合計画ページ	P.10		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	1	学校教育の充実
施策	2	小・中学校教育の充実
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 学校の創意を活かす教育の推進 ■ 情報活用能力の育成 ■ 教職員の指導力向上 ■ ふるさと教育・キャリア教育の推進 ■ 震災体験を活かした防災教育の推進 ■ いじめ・不登校対策と人権感覚を育む教育の推進 ■ 読書活動の推進 ■ 英語教育・国際理解教育の充実 ■ 非核平和教育の推進 ■ 食育の推進 ■ 学校給食の運営

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合(小学校)	%	83.0	82.9	85.5	82.7	85.0	97.3%	教育・保育課
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合(中学校)	%	68.1	67.5	65.4	62.1	75.0	82.8%	教育・保育課
家で自ら計画を立てて勉強をしている児童生徒の割合(小学校)	%	80.0	81.1	84.8	71.5	85.0	84.1%	教育・保育課
家で自ら計画を立てて勉強をしている児童生徒の割合(中学校)	%	49.1	55.3	55.1	56.8	60.0	94.7%	教育・保育課
いじめはどんな理由があってもいけないと思う児童生徒の割合(小学校)	%	97.8	99.3	98.5	99	100	99.1%	教育・保育課
いじめはどんな理由があってもいけないと思う児童生徒の割合(中学校)	%	95.1	94.7	98.3	95	100	94.9%	教育・保育課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
教職員研修支援事業【教育・保育課】	小千谷市教育研究会が実施する研修への支援・補助	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
校内研修や市教育研究会の専門部による研修の開催形式(対面形式若しくはリモート形式)を内容等によって柔軟に設定した。	教職員の問題意識に基づいた主体的で創意あふれる研修が実施されている。	教職員の課題やニーズ、適時性を大切に、小千谷市教育研究会が実施する研修への支援や補助を行い、教職員の指導力向上を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
ICT教育の推進【教育・保育課】	ICT機器やデジタル教材を活用した学習活動の充実、ICT活用能力向上のための教職員研修の実施	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用授業実践を集合研修形式で3回実施し、19名の教職員が受講した。 ・情報教育補助者による出張対応を実施し、計300件の相談を受けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器やデジタル教材が充実し、基盤整備が進んでいる。 ・情報教育補助者による出張対応件数がR4年度の263件から300件に増加しており、整備した資機材の活用支援が必要となっている。 	ハード面の整備を進める一方で、ソフト面である教職員の技術力との間に差が出ているため、全体の底上げを図るべく、定期訪問や出張対応を実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
ふるさと教育・キャリア教育・人権同和教育推進事業【教育・保育課】	ふるさと教育パンフレットの改訂、社会科副読本の作成・改訂、自然体験活動や地域産業を知る活動の推進、職場体験活動、人権同和教育の充実	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・中学2年生職場体験活動により地域への愛着と将来への夢や希望を育んでいる。 ・副読本「生きるシリーズ」を活用した授業実践や年2回の人権同和教育の職員研修を実施した。 ・「いのち・愛・人権」小千谷展パネル展を市内小学校5年生以上が見学し、人権意識を高めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「人権教育、同和教育の指導に自信がなく、間違ったことを教えないか不安だ」と回答した教職員が増えている。 ・若手教員が多くなり、繰り返し人権同和教育の研修を実施していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学2年生職場体験活動の定着を図る。 ・職員研修として現地研修や講師を招いた研修会の継続実施を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
おちやしごと未来塾の開催【企画政策課/教育・保育課】	中学生などを対象とした地元企業を知るためのキャリア教育の機会の提供	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
【企画政策課】 <ul style="list-style-type: none"> ・地元企業について学ぶため、市内中学校1年生、総合支援学校中学部生及び市内高校生を対象に企業ブース見学を実施した。 ・企業ブースには市内企業44社が出展した。 ・中学生にとって最も身近な進路である高校への進学について学ぶため、中学2年生を対象に市内高校生による高校での取組紹介を実施した。 【教育・保育課】 市内の企業や高等学校等の協力を得て実施でき、将来の見通しを持つことができた。	【企画政策課】 <ul style="list-style-type: none"> ・企業ブースを見学した中学生の98%が、事業に参加したことで小千谷市の企業を「よく理解できた」「理解できた」と、アンケートで評価している。 ・一方で、1ブース当たりの見学時間が短いという声が生徒と企業双方から聞かれたため、時間配分等の見直しを行う必要がある。 【教育・保育課】 企業や大学等との連携を続けていくとともに、各学校への訪問など、更に深まりのある関係づくりを求めていく必要がある。	【企画政策課】 アンケート結果を反映し、事業満足度の向上を図りながら、キャリア教育機会の提供によって引き続き地元就職に結び付くよう、事業を推進する。また、市内企業をより深く知ることができるよう時間配分等の見直しを行う。
		【教育・保育課】 1企業あたりのブース見学時間が短いという感想が多い。1企業あたりの見学時間を長く設定するなどの改善策を検討する。

事業名【担当課】	事業概要	
防災教育推進事業【教育・保育課】	震災等の教訓の継承、防災に関する学習資料やおちや震災ミュージアム「そなえ館」などを活用した防災教育の推進、中越大震災の日給食の実施、防災教育講演会(中学3年生対象)	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
「そなえ館」での防災学習の実践や非常食をテーマにした震災の日の給食、防災意識を高める防災講演会の実施を通じて、中越大震災風化させることなく、災害対応の意識を高めることができている。	市の取組だけでなく、各校で中越大震災の日の講話など、震災を風化させない取組を企画していく必要がある。	引き続き、「そなえ館」での防災学習や震災の日の非常食給食、防災教育講演会を実施する。また、防災学習の事前事後指導の充実を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
教育相談事業【教育・保育課】	教育相談員の配置、教育相談体制の充実	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
教育センターでの保護者との相談に加え、隔週で各中学校に巡回相談に出掛け、年間395件の相談を行った。	児童生徒のこころの悩みや保護者の相談に加え、WISC検査など、多岐に渡って学校を支援しており、無くてはならない存在である。	引き続き、児童生徒のこころの悩みや保護者の相談に加え、WISC検査の結果の活用や特別支援コーディネーターとの連携など、多岐に渡る学校支援を進める。

※WISC検査...児童用ウェクスラー式知能検査: 全体的な知能能力や処理能力を図る検査

事業名【担当課】	事業概要	
適応指導教室事業【教育・保育課】	適応指導教室の運営	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
学校や関係諸機関、家庭と連携し、不登校児童生徒の通級に向けた取組を進めた。通級生には学校復帰に向けて力を高めるために学習支援や活動支援を行った。	学校や関係諸機関、家庭との連携を通じ有効な取組を行うことができた。通級生への様々な支援を行い、学校復帰に向けた力を高める場として一定の役割を果たすことができた。	引き続き、学校や関係諸機関、家庭と連携し、不登校児童生徒の通級に向けた取組を進める。通級生には学校復帰や進学に向けた力を高めるための学習支援や活動支援を個々の状況に合わせて行う。

※通級...学校生活に適応できない児童生徒が、心の安定や生活全般の立て直しと自立を図りながら、集団への適応力を高めて学校生活に復帰できるよう、学習や集団生活への適応指導、体験活動などを受けること。

事業名【担当課】	事業概要	
子ども読書活動推進事業(再掲) 【にぎわい交流課】	小中学校図書館担当者連絡会議、学習読書活動支援事業(ブックトーク・おはなし会等)、団体貸出	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
・小中学校学校図書館担当者連絡会(1回)を開催した。 ・小学校等を対象に団体貸出(延べ371件)やミニ移動図書館(5回)、ブックトーク(10回)を実施した。	・子どもの年齢が上がるにつれて読書しない児童生徒の割合が増える傾向にある。 ・子どもに読書習慣が定着するように、家庭での読書活動を推進する取組が必要である。	・子どもの発達段階に合わせた本を選べるように、ブックリスト等による情報発信を行う。 ・家読活動(子どもを中心に家族で同じ本を読み、感想を話し合う取組)に関する情報発信及び推進を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
英語教育推進事業【教育・保育課】	外国語指導助手の配置、ウィンターイングリッシュキャンプ	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
外国語指導助手4名の配置やイングリッシュキャンプの実施により、外国の方とのコミュニケーションの機会を得ることができた。	・小学校は外国語指導助手と英語専科教員がTT授業を実施し、充実した内容となった。 ・イングリッシュキャンプは半日の開催となったが、参加者の満足度が高い充実した内容であった。	・外国語指導助手の4名配置を継続する。 ・外国の方とよりコミュニケーションを図るイングリッシュキャンプの内容を充実させる。

※TT授業...ティーム・ティーチング、複数の教師が協力して行う授業方式

事業名【担当課】	事業概要	
非核平和推進事業【企画政策課】	原爆記録写真展の開催、平和学習研修の実施	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
・非核平和推進事業の一環として以下3事業を実施した。 ①非核平和推進研修 (広島平和記念式典参加・市内中学生12名+引率職員3名) ②被爆体験伝承講話会(来場者315人) ③非核平和ポスター展 ・市民に折り鶴の募集を行い、約1万6千羽が寄せられた。広島平和記念公園に加えて、長崎の平和公園に折り鶴を送った。	・戦争を経験していない世代がほとんどになっており、特に若い世代が非核平和を考える機会となる事業を継続して実施する必要がある。	・非核平和推進研修については、広島平和記念式典の開催方針等を踏まえながら継続して実施する。 ・被爆体験伝承講話会については、市内全中学校の3年生を対象として実施する。 ・非核平和ポスター展については、戦時中の小千谷市の様子についても学ぶことが出来るような方法を検討する。

事業名【担当課】	事業概要	
食育推進事業【教育・保育課】	食に関する指導の充実、小千谷産コシヒカリによる米飯給食や地産地消の実施	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> 小千谷産コシヒカリを学校給食に提供することについて、市とJAで協議を重ね、生産者に発生していた負担分をR5年度から市とJA両方で負担することで覚書を締結し、学校給食米を安定的に提供した。 地元納入業者(けやきばーく)及び生産農家と意見交換の場を設け、小千谷産農産物の納入による地産地消の推進を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> R6年2月に魚沼地区の4JA(JA越後おぢや、JA北魚沼、JA十日町、JA津南町)が合併した。合併した市町村間で学校給食米の経費負担状況が異なっており、今後、JAから負担割合の統一化に向けて方針が示されることが想定される。しかし、各市町村で学校給食米が提供された経緯が異なるため、統一することが難しいという状況にある。 地場産物の学校給食納入が可能な市内業者はけやきばーくに限られており(一部施設のみ他の業者から地場産物の納入あり)、小千谷産農産物の継続的な提供のための検討が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業を継続して実施することで、学校給食米の安定的な確保を図る。 地元納入業者や生産農家等と協議を継続することで、安定的に小千谷産農産物を提供する仕組みづくりや、後継者不足等による地元納入業者減少の課題解決に向けた取組を推進する。

事業名【担当課】	事業概要	
学校給食運営事業【教育・保育課】	安全・安心な学校給食の提供	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> 急激な物価高騰が続くなか、保護者負担を軽減し、栄養バランスや量を保った安定的な学校給食の提供を行うため、各学校の給食費の一部を補助した。 物価が大幅に上昇していることを踏まえ、補助額を大幅に増やした。 	<p>様々な社会情勢の影響から食材料費全体の高騰が続き、今後も給食費への影響が避けられない状況である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> R5年度同様に給食費の補助を行い、バランスの良い給食の提供と給食費の保護者負担の軽減を図る。 学校や給食センターと連携を図りながら適切な食事を提供し、事故のない安心安全な学校給食を実施する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	3
総合計画ページ	P.15		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	1	学校教育の充実
施策	3	特別支援教育の充実
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 就学相談体制の充実 ■ 特別支援教育の充実 ■ 総合支援学校の運営 ■ 生徒への就労支援

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課
特別支援教育研修講座開催回数(市立総合支援学校主催)	回	5	5	5	9	5	180.0	教育・保育課
特別支援教育研修講座延べ参加人数(市立総合支援学校主催)	人	291	294	293	297	320	92.8	教育・保育課
各種特別支援教育研修開催回数(教育委員会主催)	回	5	6	6	6	6	100.0	教育・保育課
各種特別支援教育研修延べ参加人数(教育委員会主催)	人	123	121	132	135	150	90.0	教育・保育課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
就学相談事業【教育・保育課】	就学相談体制の充実	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・R5年度から特別教育支援指導主事を配置し、より専門的な指導助言を行うことができるようになり、各園や各学校との連携が強化された。 ・園から小学校への入学や小学校から中学校への進学に係る就学相談について、年度初めに情報交換の場を設けた。 ・園や小中学校の連携のあり方を研修会で学ぶことで、円滑な就学相談の実施につながった。 	<p>情報交換の場を年度当初に設けることで、円滑な就学相談の実施につながっている。専門相談員が交代することもあるため、就学相談に係る事務手続や専門性向上のための研修実施や特別支援教育に係る情報提供が必要である。</p>	<p>引き続き、円滑な就学相談の実施のため、年度当初に園や小中学校の情報交換の場を設け、指導主事を中心に特別支援教育に関する情報提供を行うとともに、就学相談に係る事務手続について周知をする。</p>

事業名【担当課】	事業概要	
特別支援教育推進事業【教育・保育課】	総合支援学校の中核的機能を活用した、小・中学校の特別支援教育の充実(運営や研修の充実)	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・総合支援地域担当者による保育園や幼稚園、小学校への訪問指導の実施 ・総合支援学校主催の市立学校職員対象の講座の開設 ・総合支援学校と小中学校との円滑な連携が図られている。 	<p>通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒が増加している。それに対応できるよう、教職員の資質能力を向上させる研修の充実が必要である。</p>	<p>総合支援地域担当者と特別支援教育指導主事の役割分担を明確にし、より一層の連携を図る。特別支援教育指導主事が窓口となり、学校のニーズに応える指導支援や研修の充実に努める。</p>

事業名【担当課】	事業概要	
総合支援学校運営事業【教育・保育課】	総合支援学校の運営	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・円滑な通学を目指した通学バスの運行計画策定をする。 ・駐車場の拡張工事を実施し、駐車場が確保された。 ・職員室等の増築工事を実施し、職員室の環境が改善された。 	体育用品や椅子等の保管場所が少なく、体育館の一角をアコーディオンカーテンで仕切って保管しているため、体育館が手狭になっている。	通学バスの円滑かつ安全な運行に努める。
事業名【担当課】	事業概要	
就労支援事業【教育・保育課】	企業及び障がい者就労施設等関係機関と連携した就労支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
高等部1年生から3年生まで前期3週間、後期3週間の職場実習を実施した(下学年は校内実習含む。)。	高等部の生徒数が増えており、職場体験先の確保が課題である。	体験先を確保し、校内実習及び職場実習の充実を図る。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	4
総合計画ページ	P.17		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	1	学校教育の充実
施策	4	教育環境の整備
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 学校施設の整備 ■ 学校給食施設の整備 ■ ICT環境の整備

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課
小・中学校の施設整備数(校数・累計)	校	2	0	1	1	2	50.0	教育・保育課
小・中学校の施設整備数(棟数・累計)	棟	2	0	1	1	3	33.3	教育・保育課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

校外施設を利用した水泳授業の検討を行い、R6年度から市民プールを利用した水泳授業を市内3校で実施することが決まった。

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
学校施設整備事業【教育・保育課】	小・中・総合支援学校の大規模改修	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
小千谷中学校の管理・普通教室棟の長寿命化改良工事を実施し、校舎の耐久性向上と生徒の学習環境改善を行った。	児童生徒数の減少や社会情勢の変化により、校舎の規模や用途に関する検討が必要となっている。	課題を踏まえ、適正な用途を検討したうえで効率的な投資を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
学校給食施設整備事業【教育・保育課】	学校給食施設の整備	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
給食センターのボイラーと空調設備の改修を実施した。	給食センターの機械設備や学校の給食用エレベーターなど、老朽化により改修が必要な箇所が増えている。	改修が必要な箇所について、経費の平準化を図りながら優先順位を付けて順次対応し、給食の安定供給に努める。

事業名【担当課】	事業概要	
ICT環境の整備【教育・保育課】	ICT教育の推進のためのハード面やソフト面での環境整備	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
市内全ての中学校の普通教室に大型提示装置を設置した。 小千谷小学校、小千谷中学校、東小千谷小学校及び東小千谷中学校の学習用ネットワークの健全性を調査した。	ハード面は計画的に整備が進んでいる。 ソフト面は学校によってICTの活用状況に差がある。	ソフト面ではGIGAパソコン※の持ち帰りや学校に対するICT教育支援を進める。 ハード面ではGIGAパソコン更新に向けた情報収集や検討を進める。

※GIGAパソコン...児童生徒が使用する学習用ノートパソコン。R3年4月から1人につき1台貸し出している。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	5
総合計画ページ	P.18		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	1	学校教育の充実
施策	5	育英事業の推進
施策の基本方針	■ 育英事業に対する支援	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(% (R5/R7))	担当課
奨学資金貸与者	人/年	21	16	14	14	30	46.7	教育・保育課
小千谷学生寮入寮者	人/年	24	13	13	20	25	80.0	教育・保育課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
育英事業支援【教育・保育課】	奨学金事業、小千谷学生寮運営事業の継続支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
奨学金事業や小千谷学生寮の利用促進に向けた支援を行った。	<ul style="list-style-type: none"> 奨学金の貸与者は減少又は横ばい傾向にあり、市内及び近隣の高等学校へチラシやポスターの配布し、周知を行った。 小千谷学生寮へ女子学生が入寮した。 	奨学金事業及び小千谷学生寮運営事業の継続支援を行う。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	6
総合計画ページ	P.19		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	2	生涯学習の推進
施策	1	生涯学習事業の推進
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 学習機会の拡充 ■ 自主活動グループの活動支援 ■ 公民館活動の充実 ■ 障がいのある人の生涯学習の推進 ■ 図書館をはじめとする生涯学習施設の整備・活用 ■ 人材育成の推進 <ul style="list-style-type: none"> ■ 情報サービスの充実 ■ 子ども読書活動の推進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課
市民会館利用者数	人	52,781	40,279	51,616	52,801	51,200	103.1	文化スポーツ課
図書館来館者数	人	67,447	50,262	49,616	48,601	-	-	にぎわい交流課
複合施設来館者数	人	-	-	-	-	168,000	-	にぎわい交流課
市民の家「おぢゃ〜る」利用者数	人	15,084	5,698	6,349	8,199	21,000	39.0	にぎわい交流課
勤労青少年ホーム「ホットプラザ」利用者数	人	20,173	8,948	13,459	14,323	19,300	74.2	文化スポーツ課
市民学習センター「楽集館」利用者数	人	35,089	22,693	24,935	27,759	34,000	81.6	文化スポーツ課
公民館学級・講座等開設数(合計)		42	103	92	120	53	226.4	文化スポーツ課
(内訳) 青少年対象		8	32	27	34	11	309.1	
(内訳) 成人対象		4	31	17	23	6	383.3	
(内訳) 中高年対象		1	2	1	1	2	50.0	
(内訳) 高齢者対象		7	14	22	32	7	457.1	
(内訳) 家庭教育		22	24	25	30	22	136.4	
公民館学級・講座等延参加人数(合計)	人	5,064	5,982	5,653	8,258	5,210	158.5	文化スポーツ課
(内訳) 青少年対象		236	744	688	924	240	385.0	
(内訳) 成人対象		309	1,469	592	829	370	224.1	
(内訳) 中高年対象		73	117	611	923	100	923.0	
(内訳) 高齢者対象		2,573	2,409	2,566	4,141	2,600	159.3	
(内訳) 家庭教育		1,873	1,243	1,196	1,441	1,900	75.8	
分館事業開催事業数(合計)		1,900	855	1,211	1,262	1,900	66.4	文化スポーツ課
(内訳) 講習会・講演会・実習等		32	14	23	24	25	96.0	
(内訳) 定期講座		144	52	58	55	140	39.3	
(内訳) 文化・芸術事業等		617	193	300	318	640	49.7	
(内訳) 体育・スポーツ事業		524	300	397	407	650	62.6	
(内訳) レク・娯楽活動		83	29	57	76	75	101.3	
(内訳) 会議		343	172	250	251	270	93.0	
(内訳) その他		157	95	126	131	100	131.0	

分館事業参加人数(合計)		38,861	11,009	15,663	21,969	37,680	58.3	文化スポーツ課
(内訳)講習会・講演会・実習等		681	203	418	570	680	83.8	
(内訳)定期講座		1,495	920	771	737	1,400	52.6	
(内訳)文化・芸術事業等		11,378	1,598	3,671	5,786	11,300	51.2	
(内訳)体育・スポーツ事業		12,152	4,250	4,415	5,745	12,500	46.0	
(内訳)レク・娯楽活動		6,881	1,034	3,011	5,313	6,800	78.1	
(内訳)会議		3,882	1,501	2,183	2,467	3,300	74.8	
(内訳)その他		2,392	1,503	1,194	1,351	1,880	71.9	

(2) その他成果(主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
生涯学習支援事業【文化スポーツ課】	学級・講座の開設、Webを活用した学習形式の実施、障がいの有無に関係ない学習活動の実施、講演会の実施	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> 障がい者の学習機会の充実を図るため、事業所が実施する活動とは別に集合型学習としてポッチャ等のニュースポーツ体験会を計6回開催し、延べ62名が参加した。 スマホ体験会、教室を5つの高齢者学級で開催し、延べ163人が参加した。 市政に関する学習機会の提供として市職員による出前講座を36回開催し、延べ1,103人が参加した。 うたごえ教室を11回開催し、延べ923人が参加した。R6年度からは自主サークルとして活動する。 	<ul style="list-style-type: none"> 障がいの有無や年齢に関係なく参加できることから参加者全員が楽しむことができた。R5年度は、ニュースポーツ体験として実施したが、文化系についても検討したい。 小千谷いきいきガイドや各種講座のチラシによる周知を行っているが、SNSによる効率的な方法を検討する必要がある。 スマホ体験会、教室はスマホの機能を使えなかった高齢者に好評であり、スマホを使った学習機会の提供につながっている。今後も高齢者でもスマホを上手に活用するための教室を開催し、スマホにより「学習の幅を広げる」ことが有効である。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動系だけでなく文化系の事業の実施についても関係事業所と検討したうえで実施する。 スマホ体験会、教室の地区を拡大し、より多くの高齢者がスマホに触れる機会を提供する。 うたごえ教室が自主サークルとして継続的に活動できるように支援する。
事業名【担当課】	事業概要	
人材育成事業【文化スポーツ課】	市内企業と連携した人材活用・育成	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> パワーアップ講座を6～10月までの間、計8回、2月に振り返りの会を開催し計16名が参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> 前年に比べ女性の参加者が増加した。 アンケートを実施したことから、その結果を参考に参加しやすいよう改善する。 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度に引き続き、グループワークやゲームを通し、コミュニケーションの向上やマネジメント・リーダーシップの強化方法を学び、最後にプレゼンを行う。 前年度にプレゼンの準備期間がないとの意見があったことから、準備期間を設け計9回の講座とする。
事業名【担当課】	事業概要	
公民館分館活動支援事業【文化スポーツ課】	出前講座リスト提供、分館活動への助成	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> 分館運営費の助成や物品貸出を実施した。 講師に関する情報提供や事業内容の相談に応じた。 	<ul style="list-style-type: none"> 分館から情報収集する手段を検討する必要がある。 多様なまちづくり団体を育成し、分館ごとの課題を明確にする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、分館関係者会議を地区ごとに開催し、きめ細かな情報収集を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
旧小千谷総合病院跡地整備事業 【にぎわい交流課】	図書館を核とした複合施設の整備	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> 情報環境構築業務受託者とカフェ運営事業者の市民公開プロポーザルを実施した。 市民、民間事業者及び行政の共創の場として小千谷リビングラボ「at! おぢや」を開催しながら、図書館等複合施設の整備を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館等複合施設の整備進捗状況について、市民へ十分に周知する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> R6年3月策定の管理運営計画に基づいて管理運営を行う。 9月28日のグランドオープンに向けて、施設プログラムや市民とのプロジェクトに関する準備を進める。 市民の活動が多様に展開されるように準備及び運営を行う。
事業名【担当課】	事業概要	
生涯学習施設整備事業 【文化スポーツ課】	市民会館設備改修、市民学習センター設備改修	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
【市民会館】 ガスヒートポンプエアコン(1、2、4号機)更新工事 【市民学習センター】 冷温水発生機密閉膨張タンク取替工事	施設の老朽化が進行していることから、計画的に適切な施設整備を進めた。	【市民会館】 <ul style="list-style-type: none"> ガスヒートポンプエアコン(5、7、8号機)更新工事を実施する。 大ホール冷温水発生機修繕工事を実施する。
事業名【担当課】	事業概要	
図書館事業【にぎわい交流課】	読書環境の整備、図書資料の充実、情報活用支援事業	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> 図書以外の資料を展示し情報発信するとともにR6年度開設のひと・まち・文化共創拠点に関する情報発信も行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書だけでなく新しい媒体での資料提供及び情報発信を行っていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ひと・まち・文化共創拠点の開設による新しい媒体での資料提供及び情報発信を行う。 社会ニーズに合わせた資料収集及び提供を行う。
事業名【担当課】	事業概要	
子ども読書活動推進事業(再掲) 【にぎわい交流課】	ブックスタート事業、学校読書活動支援事業、ボランティアによる読み聞かせ活動	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ブックスタート事業は、新型コロナウイルス感染症対策により絵本の配付のみとしていたが、8月に読み聞かせを再開した。 希望のあった小学校においてボランティアや職員によるブックトークや読み聞かせを行った。 各種イベントや定例の「おはなし会」でボランティアによる読み聞かせや語り部活動を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの年齢が上がるにつれて読書をしていない児童生徒の割合が増える傾向にある。 子どもの読書習慣が定着するように、ブックスタート事業後のフォローアップや家庭での読書活動を推進する取組が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ブックスタート事業後のフォローアップ活動として、読み聞かせや情報提供をする。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	7
総合計画ページ	P.23		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	2	生涯学習の推進
施策	2	青少年の健全育成
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 青少年への相談支援 ■ 青少年育成指導体制の確保 ■ 家庭教育に対する支援 ■ 地域ボランティアへの活動支援 ■ 勤労青少年への活動支援と活動拠点施設の検討

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課
青少年体験学習講座開催回数	回	9	11	14	20	15	133.3	文化スポーツ課
青少年体験学習講座参加人数	人	342	377	473	601	500	120.2	文化スポーツ課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
青少年育成事業【文化スポーツ課】	悩み相談、声かけ運動、青少年体験学習の推進	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成キャンプ 1回(小学生30名、中学生ボランティア2名) ・手づくり教室への派遣 11回(324名) ・体験活動 8回(245名) 	R4年度より講座開催数が6回増加し、参加者数が128名増えた。また、体験学習の参加者数の増加を促すために、科学研究に関する相談会を3回(参加者4名)、青少年が対象となるイベントへ青少年育成指導委員の派遣を3回(参加者291名)実施した。	<ul style="list-style-type: none"> ・手づくり教室や体験学習の内容の拡充を図る。 ・体験活動を促す事業を行い、体験学習や体験活動の参加者数を増加させる。

事業名【担当課】	事業概要	
家庭教育地域交流振興事業(再掲) 【文化スポーツ課】	保育園、認定こども園、小・中・総合支援学校などと連携した家庭教育講座の充実	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・2園、9小中学校、2団体における親子で学ぶ機会や子育ての悩みを解決に導く講座開催を支援し、講座の充実を図った。 ・家庭でのお子さんとの関わり方などを学ぶ講座を開催した。 	乳幼児期・少年期における子育ての悩みや親子で学べる学習の機会を提供し、家庭教育の普及や振興を図ることができている。 【R4年度】 講座支援数:19回、参加者数:1,148名 講座開催数:6回、参加者数:48名 【R5年度】 講座支援数:23回、参加者数:1,399名 講座開催数:7回、参加者数:40名	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、家庭教育講座の開催を支援する。 ・SNSやアプリ等を利用した周知を行うことで広く情報を届け、より多くの支援ができるように努める。

事業名【担当課】	事業概要	
地域子どもはぐくみ事業 【教育・保育課】	放課後子ども教室の実施、学校支援地域本部の設置、放課後児童クラブとの連携	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・5小学校で計149回放課後子ども教室を実施した。参加延べ人数は児童2,506人、ボランティア617人であった。 ・各小学校のボランティアに保険をかけ、地域住民の学校ボランティアとしての活動を支援した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの放課後の居場所の確保とボランティアがいきがいを感じる場づくりを行っている。 ・ボランティアの高齢化とボランティア数の確保が課題である。 ・実施会場等の関係から、放課後児童クラブと連携が進んでいないのが現状である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の多くの方からボランティアとして関わっていただけるよう、周知を行う。また、放課後子ども教室のボランティアの資質向上を図るため、研修会を開催する。 ・子どもたちに魅力ある企画の実施を検討する。
事業名【担当課】	事業概要	
勤労青少年への活動支援 【文化スポーツ課】	趣味・教養・キャリア形成等の講座開設・運営、自主活動支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
勤労青少年ホームにおいて講座や教室を全26講座(延べ100回)開催した。	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労青少年の利用者が減少している。 ・社会情勢の変化により、今後のあり方について検討が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労青少年の利用者を増やすため、引き続き、SNS等を活用して広報や周知を行う。 ・近隣に新たに整備する(仮称)防災センターの機能を考慮しながら、今後のあり方を検討する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	8
総合計画ページ	P.25		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	3	文化の振興
施策	1	文化・芸術の振興
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 芸術鑑賞の機会の拡充 ■ 文化団体などの育成支援の継続

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(% (R5/R7))	担当課
芸術文化振興事業参加者数	人	6,725	5,903	8,388	8,712	7,000	124.5	文化スポーツ課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
芸術文化振興事業【文化スポーツ課】	市美術展、市民音楽祭、市民芸能まつり、文芸のつどい、芸術鑑賞会、市民オペラの開催	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・市美術展は自主サークル団体などの活動や市内高等学校の協力により、来場者が昨年度より219名増加した。 ・昨年度からの出演団体の増加数は市民音楽祭が3団体、市民芸能まつりの2団体であった。 ・文芸のつどいの出品数はほぼ横ばい傾向である。 ・舞台芸術公演「おちやファミリーコンサート～あかずきんちゃんがおちやにやってきた～」の開催(参加者:出演者73名、舞台補助11名、観覧者:432名) ・「NHK公開放送 真打ち競演」と「はじめての落語」を開催し、幅広い年代の市民へ古典芸能の鑑賞の機会を提供した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市美術展の市内出品者数の増加には自主サークル団体や初心者の美術教室、文化活動を行う高校生の育成効果が徐々に表れている。 ・文芸のつどいの周知・開催方法を検討する必要がある。 ・舞台芸術公演では市内で活動する伝統芸能やダンス団体等が出演したところ、市民から非常に好評であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市美術展については引き続き、初心者の美術教室や高校生の育成事業を実施し、芸術・文化活動に親しむきっかけを作り、市展出品者数の増加につなげる。 ・文芸のつどいのあり方について、検討を重ねていく。 ・引き続き、主に市内で活動する文化芸術関係団体と連携し、舞台芸術公演を開催する。

事業名【担当課】	事業概要	
文化振興基金事業【文化スポーツ課】	文化団体などへの活動支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの情操教育活動事業補助 ・小千谷市教育研究会「絵本deクラシック」コンサート鑑賞(小学1～3年生計659名の参加、2回による分散開催) ・西脇順三郎を偲ぶ会 記念講演会開催、プチどんぐりフェスタ開催、学びのサロン4回実施、出前講座6回実施 ・ジャズコンサートインおちや実行委員会「ジャズコンサートインおちや2023 熱気爆発! 炎のWATUSI祭り」開催 	<ul style="list-style-type: none"> 市民を対象として文化事業を行う団体の活動を支援している。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、文化事業を行う団体の活動を支援する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	9
総合計画ページ	P.27		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	3	文化の振興
施策	2	文化財等の保存と活用
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 埋蔵文化財の調査・保存 ■ (仮)郷土資料館の整備 ■ 文化財の普及啓発・活用 ■ 後継者の育成

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課
小千谷縮布製作技術習得人数	人	18	23	26	28	28	100.0	にぎわい交流課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

<p>【にぎわい交流課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域アーカイブ活動の推進:地域で文化の継承に取り組む人材との意見交換や活動の記録を行う。地域に眠る文化財や記録類を聞き書きにより保存し、まちあるきや各種講座で公開・活用を行った。 ・文化財を横断した企画展:【R5実績延2,138人】これまで単一の文化財のテーマを中心に展示を行ってきたが、「ふるさとの偉人と古文書・民具」「浮世絵と民具・民話」等関連資料を横断的に公開することで観覧者から好評をいただいた。また、保存団体等関係者と協働した企画展運用に努めている。

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
埋蔵文化財調査事業【にぎわい交流課】	遺跡の把握、諸開発との調整、発掘調査	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
8件の試掘確認調査を行い、北上殿遺跡において縄文時代の集落跡(土坑、縄文土器)、朝日山古戦場において銃弾と戦場の痕跡を確認したほか、小規模な遺跡を新たに発見した。	・朝日山古戦場の成果については、各種展示等にて活用する。 ・試掘確認した遺跡は本発掘調査の要否について、開発事業者と協議が必要となる。また、調査成果について広く周知し、保存に努める必要がある。	開発事業者へ広く周知し、試掘確認調査の協力を求めるとともに、遺跡の保存に努める。その調査成果について発信を行うことで、埋蔵文化財の普及啓発につなげる。
事業名【担当課】	事業概要	
旧小千谷総合病院跡地整備事業【にぎわい交流課】	図書館を核とした(仮)郷土資料館を含む複合施設の整備	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
若柳収蔵庫の考古資料、城内収蔵庫の古文書や写真について、展示に使用できる資料の把握を行い、市民会館ホワイエにおいて資料展示を行った。	市内において未発見資料の確認を行う必要がある。しかし、既存の保有・収集資料でさえ確認作業が困難というのが実態である。	市内における既存の保有・収集資料の確認作業を保存団体等と協働して行う。また、古いモノクロ写真等、市民から関心の高い資料の整理作業を市民と協働して行うことで、市民による主体的な歴史保存につなげる。

事業名【担当課】	事業概要	
文化財普及啓発事業【にぎわい交流課】	文化財関連の市民団体などへの支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
縄文時代の暮らしをテーマとした体験講座の実施、小千谷の歴史に関わる講座や調査ワークショップ、企画展示など、文化財の普及啓発を行い、約2,500人が参加した。	参加者や観覧者アンケートにより満足の声をいただいている。一方で、主体的に事業へ参画する関係人口の増加に努める必要がある。	市民ニーズの高い発掘調査や史跡整備に関わる体験講座を行うことで参加者が次回以降の講師や補助員を務めてくれるような仕組み構築する。

事業名【担当課】	事業概要	
伝統民俗芸能伝承事業【にぎわい交流課】	郷土芸能団体などへの支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
市独自の補助を活用し、伊米神社(桜町)や巫女翁人形操りの祭礼衣装の新調及び修繕を行った。伝統民俗芸能の市民への理解を深めた。	新型コロナウイルス感染症流行の影響で披露等活動の機会を失っており、発表の場を創出する必要がある。	市内外で行われている発表会への参加を促進し、保存活動の場を創出する。また、連絡会議を開催し情報共有を行うことで、保存活動における課題解決の機会を設ける。

事業名【担当課】	事業概要	
小千谷縮布技術伝承者養成事業【にぎわい交流課】	技術伝承者養成講習会などへの支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
・講座: 絣作り、いざり機、仕上げ【7日間】12名参加 うち3名は講習へ ・講習会: 芋績み、絣作り、いざり機、仕上げ【100日間】18名参加 うち2名が講習修了	活動周知により小千谷縮の歴史的重要性について、市内外へ共有する必要がある。また、県内外へ発信を行い、関係人口の増加と幅広い保存活用に努める必要がある。	積極的な情報発信による活動周知を行い、小千谷縮の保存・活用意義等について、市内外へ発信する。講座・講習会等の参加者が今後の活動における関係人口となるよう、意向確認や活動参画を求める機会を設ける。

事業名【担当課】	事業概要	
文化・歴史・産業遺産保存活用事業【にぎわい交流課】	歴史的建造物や景観などの文化財としての指定・保存・活用	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
市へ寄贈を受けた時水地区に存する国登録文化財「習静菴」について、民間事業者へのサウンディング調査及び対話を行い、活用の新たな方法としてサウナ事業を展開した。	調査が完了した10件の建造物について、所有者へ意向確認を行い、保存や活用を推進していく必要がある。	調査が完了した10件の建造物について、国有有形文化財登録に向けた所有者の意向確認を行う。また、登録済の建造物について、活用を促進できるよう、相談機会を設ける。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	10
総合計画ページ	P. 29		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	4	スポーツの振興
施策	1	生涯スポーツ・競技スポーツの振興
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 生涯スポーツの推進 ■ 競技スポーツの推進 ■ 障がい者スポーツの普及 ■ 団体支援、人材育成 ■ 健康・体力づくりの推進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課
週1回以上運動する人の割合	%	31.5	34.9	34.6	-	60.0	-	健康・子育て応援課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
スポーツ振興事業【文化スポーツ課】	選手の活動支援、各種大会やイベントの開催、ジュニア選手育成強化、関係団体との連携	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・関係団体と連携して大会やイベントを開催した。 ・アスリートサポート事業や報奨金制度を活用して、ジュニア選手育成に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に運動をしない層にスポーツ参加を促す工夫が必要である。 ・ジュニア選手の底辺拡大や強化方法の充実が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントへの参加者を増加させるために、イベント内容や情報発信の充実を図る。 ・各種団体と連携して、ジュニア選手育成方法の充実を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
指導者、支援者養成事業【文化スポーツ課】	スポーツ・レクリエーション指導者やボランティア養成講座の開催	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> 専門種目の講習会のほか、パワハラ防止を含めた全般的な指導者講習会を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導者を含めて、スポーツに関わる層が高齢化している。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導者全般に関わる講習内容の充実と、人材発掘を含めた指導者の充実を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
健康づくり事業【健康・子育て応援課/文化スポーツ課】	関係団体や機関と連携し、運動の継続を図る事業の開催	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> 健康ポイント事業は、健康教室や体力ヘルスチェック測定会を実施し、75人がポイント達成した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康ポイント事業における目標達成者の大半が健康教室参加者となっている。 ・健康教室への参加者を増やすために事業全体の周知や関係機関との連携を図っていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの人の参加を促すために事業の見直しを行う。 ・幅広い世代の市民が参加する取組となるように工夫をしていく。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	11
総合計画ページ	P.31		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	4	スポーツの振興
施策	2	体育施設の整備
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 体育施設の整備・充実 ■ 屋外運動公園の改修・設備更新

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(% (R5/R7))	担当課
体育施設利用者数(合計)	人	274,496	205,701	252,323	267,473	268,400	99.7	文化スポーツ課
(内訳)総合体育館	人	183,033	144,797	169,482	187,069	177,500	105.4	
(内訳)市民プール	人	14,148	7,589	9,883	14,337	13,700	104.6	
(内訳)東小千谷体育センター	人	20,178	12,023	15,567	18,662	19,500	95.7	
(内訳)白山運動公園(野球場)	人	3,384	2,937	4,265	2,463	3,300	74.6	
(内訳)白山運動公園(庭球場)	人	10,623	7,169	11,025	10,623	10,300	103.1	
(内訳)白山運動公園(陸上競技場)	人	4,617	2,715	4,360	3,661	4,300	85.1	
(内訳)白山運動公園(多目的広場)	人	7,849	6,656	8,214	7,993	7,600	105.2	
(内訳)白山運動公園(グリーンヒル白山)	人	9,501	5,303	8,171	7,235	9,200	78.6	
(内訳)信濃川河川公園(野球場)	人	1,071	1,429	2,023	1,728	2,100	82.3	
(内訳)信濃川河川公園(多目的グラウンド)	人	2,827	2,950	5,553	3,663	3,400	107.7	
(内訳)千谷運動公園(野球場)	人	2,074	1,057	1,448	1,096	2,000	54.8	
(内訳)千谷運動公園(庭球場)	人	4,568	3,200	2,577	3,240	4,500	72.0	
(内訳)千谷運動公園(多目的広場)	人	2,780	1,764	2,241	535	2,700	19.8	
(内訳)南部スポーツ広場	人	3,890	2,862	3,857	2,805	3,800	73.8	
(内訳)片貝スポーツ広場	人	4,592	3,250	3,657	2,363	4,500	52.5	

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
総合体育館整備事業 【文化スポーツ課】	設備更新・修繕	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
総合体育館:バスケットボールゴール更新(サブアリーナ)やトレーニングルームの空調機器インバータ交換、駐車場外灯のLED化改修、市民プラザの光電分離型感知器交換等を実施した。	築25年以上が経過し、老朽化が進んでおり、今後も計画的な改修が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・総合体育館:館内LED化改修や防災監視盤更新、発電機部品交換、冷温水発生機部品交換を実施する。 ・市民プール:50mプールろ過ポンプ更新やウォータープレイシステムポンプ・制御盤更新を実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
屋外体育施設整備事業 【文化スポーツ課】	整備方針策定・設備改修	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
白山運動公園野球場の照明塔ボルト等交換工事を実施した。	施設の老朽化や競技人口の減少等のため、整備方針に基づいた整備を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外体育施設整備方針に基づく整備計画を精査する。 ・白山運動公園の第三庭球場のライン修繕と受電設備接地抵抗改修を実施する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	12
総合計画ページ	P.34		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり(福祉、健康、医療)
基本方針	1	子育て環境の充実
施策	1	子どもを産み育てやすい環境の整備
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 安心して妊娠・出産・子育てができる支援環境の充実 ■ 医療費助成事業の推進 ■ ベビー・ファースト運動の推進 ■ 母子健康事業の充実 ■ 地域子育て支援拠点事業の充実 ■ ファミリー・サポート・センター事業の推進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率 (%) (R5/R7)	担当課
産後(退院後1か月間)に助産師や保健師等から十分な指導やケアを受けることができたと思う人の割合	%	95.0	87.9	91.6	92.8	97.0	95.7	健康・子育て応援課
今後もこの地域で子育てをしたいと思う親の割合	%	95.0	93.9	93.3	94.3	97.0	97.2	健康・子育て応援課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
医療費助成事業【健康・子育て応援課】	子ども医療費助成、不妊治療費助成、妊産婦医療費助成	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
子ども医療費助成や妊産婦医療費助成を拡充し、無償化を実施した。子ども医療費助成額は91,742千円、延べ利用件数は47,229件であった。妊産婦医療費助成額は2,658千円、延べ利用件数は621件であった。不妊不育治療費助成事業は延べ45件助成し、約5割において妊娠が成立した。	子ども医療費助成については新型コロナウイルス感染症流行による受診控えが解消され、受診件数及び助成額が増加した。妊産婦医療費助成については所得制限の撤廃に伴い利用件数が大幅に伸び、妊産婦の疾病の早期発見と早期治療の促進及び妊娠期から産後の経済的負担の軽減に繋がった。不妊治療及び不育治療は検査も含めて高額な自己負担が生じるため、引き続き、経済的負担の軽減を図る必要がある。	子ども医療費助成及び妊産婦医療費助成は継続的に実施する。不妊不育治療費助成事業は制度の周知を行いながら継続する。

事業名【担当課】	事業概要	
母子保健事業【健康・子育て応援課】	妊婦健康診査・歯科検診、うぶごえ教室の開催、妊産婦・新生児訪問指導、乳幼児健康診査、養育支援訪問事業、産後ケア事業、産前産後サポート事業	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
子育て世代包括支援センターにおいて妊娠届出時のマタニティ面談を実施し、妊産婦・新生児訪問などを通して、妊娠期から産後の状況の把握や各種保健事業の情報提供が必要に応じて関係機関と連携して支援した。うぶごえ教室やBPプログラム、子育てサロンのほかに、産後ケア訪問型を開始し、妊娠中から産後の支援を充実させた。産後の母親の健康管理のために産婦健康診査2回分の費用助成を行った。3歳児健康診査においては、弱視の早期発見のために屈折検査を導入した。	・子育て世代包括支援センターにおける妊娠届出時のマタニティ面談と関係機関との連携等により早期に不安等を把握し、支援することで産後うつや虐待の予防に取り組んだ。 ・産後うつの早期発見や産婦の孤立防止、育児不安軽減のためにサポート体制を充実させ、支援につながりやすい仕組みを構築する必要がある。 ・健やかに子どもを産み育てるために、妊娠中から子育て期における母親と子どもの健康の保持増進に努める必要がある。	引き続き、子どもや母親が心身ともに健康に過ごせるよう、各種母子保健事業を実施する。 新たな取組として新生児聴覚検査と1か月児健康診査の費用助成を開始し、聴覚障がい等の早期発見と、新生児期から乳幼児期にかけての健康の保持増進を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
ベビー・ファースト運動【健康・子育て応援課】	ベビー・ファースト運動の啓発、駐車場マタニティマーク設置費補助	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
妊娠届出時にマタニティキーホルダーとマタニティエコバッグを配布した。広報誌でベビー・ファースト運動の周知を行った。日本青年会議所が提唱するベビーファースト運動にも参画した。	地域全体で子育てを支える意識を高めるために、ベビー・ファースト運動の啓発や妊婦へのマタニティマークの活用推進を継続する必要がある。	広報誌やポスターでベビー・ファースト運動の啓発や駐車場マタニティマーク設置費補助の周知を図る。妊娠届出時のマタニティキーホルダーやマタニティエコバッグの配布を継続する。

事業名【担当課】	事業概要	
地域子育て支援拠点事業【健康・子育て応援課】	地域子育て支援拠点事業の運営、子育て教室の開催、子育てなんでも相談の実施、SNSの活用による子育て情報の発信及び相談	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
・すこやか子育て教室 3講座 113組 218人 ・子育て講座 13講座 101組 135人 ・子育てなんでも相談 13回 28人 ・子育て相談 793件 (来館時750件 予約16件 電話27件) ・親子ふれあいあそびの動画、わんパークのイベント情報の配信 120回	子育ての孤立化を予防するために、保護者交流や相談の場、親子ふれあい遊びを提供してきた。SNSのイベント情報配信からの参加も多い。相談件数は増加しており、情報社会でインターネットなどから多くの情報を得ることができるがゆえに不安を抱える親も多く、今後も子育ての孤立化や不安を軽減するために、相談しやすい環境作りが求められる。	引き続き、親子の遊びと相談の場を提供するほか、SNSによるわんパークのイベント情報等の発信を行い、子育て家庭を支援する。

事業名【担当課】	事業概要	
ファミリー・サポート・センター事業【健康・子育て応援課】	提供会員養成講座の開催	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
提供会員養成講座を6月、10月に開催した。 ・修了者 8人 ・提供会員 150人(両方会員含む) ・活動件数 396件	R5年度の活動件数は前年度に比べて増加している反面、提供会員は減少している。引き続き、多様化する依頼内容に対応できる提供会員の養成が必要である。	育児援助の依頼者のニーズは多様化しており、今後求められるニーズに合った提供体制を確保するため引き続き、事業の周知と提供会員養成講座を開催する。

事業名【担当課】	事業概要	
図書館等複合施設整備事業【にぎわい交流課】	子どもが安全で安心して遊ぶことができる屋内施設の整備	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
ひと・まち・文化共創拠点「ホントカ。」において約400㎡の屋内広場を整備した。	R5年5月末に竣工し、R6年9月28日グランドオープン予定である。	地域おこし協力隊と協力して施設内の屋内広場やこどもとしょかん、アンカーなどを活用したプログラムや市民や地域とのさまざまなプロジェクトを展開することで、子どもの遊び場としての機能の可能性を広げていく。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	13
総合計画ページ	P.37		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり(福祉、健康、医療)
基本方針	1	子育て環境の充実
施策	2	子育て支援の充実
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 子育てを支援する地域社会づくりの推進 ■ 子どもの貧困への支援 ■ 保育サービスの充実 ■ 保育施設の適正配置の推進 ■ 放課後児童クラブ(学童保育)への支援 ■ ひとり親家庭への支援 ■ 関係機関との連携による児童虐待とDVへの対応

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標(後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課
保育施設の適正配置推進による保育園及び認定こども園の定員数に対する入園児数の割合	%	73.5	69.7	69.1	69.1	80.0	86.4	教育・保育課
学童クラブ(通年型)設置数	団体	10	11	11	11	12	91.7	教育・保育課

(2) その他成果(主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
保育サービスの充実 【教育・保育課/健康・子育て応援課】	早朝・延長保育、一時保育、土曜日の延長保育、病児病後児保育、通園費補助、医療的ケア児の支援体制の検討	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
【教育・保育課】 ・早朝保育(利用実人数:8園28人) ・土曜日を含む延長保育(利用実人数:375人) ・一時保育(預かり児童延人数388人) 【健康・子育て応援課】 ・病児病後児保育室:病児病後児保育室の利用料の減額や周知により登録者数及び利用人数が増加した。 ・わんパーク:乳幼児一時預かりを利用してもらい、保護者の私用やリフレッシュの時間が確保できた。	【教育・保育課】 早朝保育や土曜日を含む延長保育、一時保育を実施し、子育てと仕事の両立を支援した。また、通園費補助により保護者の経済的負担の軽減を図った。 【健康・子育て応援課】 ・病児病後児保育室:登録者数は126名、利用者数は延べ142名でR4年度に比べて登録者数が82名、利用延べ人数が36名増加した。R4年度は同じ方の利用が多かったが、R5年度は新規利用者が増加した。これに伴いキャンセルも増えたため予約の調整が煩雑になった。 ・わんパーク:利用者は延べ436人であった。R4年度に比べて112人増加した。前日17時までの予約が必要だが、当日申込みの問い合わせがあり利用できなかった事例が数件あった。	【教育・保育課】 ・引き続き、早朝・延長保育の一部を無償化による子育て支援を行う。 【健康・子育て応援課】 ・病児病後児保育室:引き続き、広報やホームページ、保育園、認定こども園、わんパーク等での周知を行う。今後予想されるニーズの高まりに備えて受入体制を整える。 ・わんパーク:引き続き、施設について周知を行い、適切な利用方法を知ってもらう。

事業名【担当課】	事業概要	
認定こども園支援事業【教育・保育課】	施設整備費補助、運営費補助(再掲)	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
国や県の補助金を活用し、安定的な運営を支援した。	国や県の補助金を有効活用し、私立認定こども園の安定的な運営支援を行った。	引き続き、国や県の施設整備費や運営費に係る補助制度を有効活用できるよう、認定こども園に情報提供するとともに、国や県、市による認定こども園に対する運営費補助を行い、認定こども園の安定的な運営を支援する。
事業名【担当課】	事業概要	
保育施設の適正配置の推進【教育・保育課】	保育施設の適正配置の推進、保育サービスの向上	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
R2年度に策定した保育園適正配置基本方や地域別・年齢別の児童数に基づき、適正配置実施計画について検討した。	出生数の年による変動幅が大きいため、児童数の推計が難しく、適正配置実施計画の策定に苦慮している。	保育施設の老朽化が進んでいるため、地域別・年齢別児童数の推計に基づき、保育施設の適正配置について検討する。
事業名【担当課】	事業概要	
放課後児童健全育成事業【教育・保育課】	設置団体への運営費補助、空き教室等の活動場所の確保支援、放課後子ども教室との連携	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
・通年開設11クラブ ・長期休業期間のみ開設1クラブ	西小千谷地区においてクラブの規模に対する利用人数が多いことから、受入体制の確保と保育の質を上げていくことが必要である。	受入体制を確保するため、R6年4月から新規で通年開設クラブを1クラブ開設し、和泉小学校学童の長期休業期間における学校利用を行う。引き続き、学童クラブの設置団体へ運営費の補助を行うとともに利用者の環境整備を進める。
事業名【担当課】	事業概要	
ひとり親家庭支援事業【健康・子育て応援課】	児童扶養手当の支給、医療費助成、就労支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
受給者への手当の支給及び医療費の助成を行った。また、物価高騰対策として低所得の子育て世帯への子育て世帯生活支援特別給付金の支給を行った。	ひとり親世帯は時間的・経済的負担が大きく、加えて今般の物価高騰の影響を大きく受けている。就労者は多いが、子育てするために経済的な支援を必要としない程度まで自立できる方は少ない。	就労支援やキャリアアップのための制度周知に加え、ひとり親にとって重要な養育費の確保支援に関する国や県の制度の周知に努める。
事業名【担当課】	事業概要	
児童虐待・DV防止ネットワーク事業【健康・子育て応援課】	小千谷市子どもを守る地域連絡会参画団体の連携強化	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
・小千谷市子どもを守る地域連絡会の関係機関による代表者会議を1回、実務者会議を3回、個別検討会議を4回実施し、連携強化・支援状況等の共有に努めた。 ・関係機関職員のスキルアップ及び連携強化のため、児童虐待防止研修会を実施した。	児童が所属する認定こども園や保育園、小中高等学校等の関係機関と連携し、虐待を受けている可能性のある児童の早期発見に努めている。また、相談内容も複雑化・多様化してきていることから関係機関職員の対応能力の向上にも努め、相談支援体制を強化していく必要がある。	関係機関の組織変更や人事異動を考慮し、各種会議等を通じて、小千谷市子どもを守る地域連絡会の周知や関係機関の連携強化に引き続き努める。

事業名【担当課】	事業概要	
子どもの貧困対策 【教育・保育課/福祉課】	就学援助制度、子どもの学習支援・生活支援事業	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<p>【教育・保育課】 就学援助について、児童生徒が主額するために必要な費用を負担することが困難な方に対して学用品費などを支給した。</p> <p>【福祉課】 貧困の連鎖の防止のため、「子どもの学習・生活支援事業」を実施し、支援が必要な子ども1人に対して延べ29回支援を行った。</p>	<p>【教育・保育課】 生活困窮家庭に対して就学に必要な学用品費などを支給することで教育の機会均等が図られた。</p> <p>【福祉課】 支援した子どもが進学したり学習習慣が定着したりするなど、一定の成果を上げているが、今後、関係機関と連携しながら、さらなる事業の周知が必要である。</p>	<p>【教育・保育課】 引き続き、生活困窮家庭に対して学用品費等の支給を行い、子どもの貧困支援を行う。</p> <p>【福祉課】 引き続き、支援が必要な子どもに対して事業を実施し、貧困の連鎖の防止に取り組む。関係機関と連携し、支援が必要な子どもの把握や事業の周知に努める。</p>

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	14
総合計画ページ	P.40		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり(福祉、健康、医療)
基本方針	2	健康づくりの推進
施策	1	健やかな体づくりの推進
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 健康づくりの推進 ■ 生活習慣病予防対策の推進 ■ 母子保健事業(乳幼児期・学童思春期)の推進 ■ 食育の推進 ■ 歯科保健の推進 ■ 感染症予防対策の推進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標(後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(% (R5/R7))	担当課
特定健康診査実施率	%	57.7	58.8	60.8	60.8	65.0	93.5	健康・子育て応援課
特定保健指導実施率	%	35.9	27.0	27.7	28.3	45.0	62.9	健康・子育て応援課
がん検診受診率(胃がん)	%	24.7	20.6	20.5	18.9	28.0	67.5	健康・子育て応援課
がん検診受診率(大腸がん)	%	35.9	30.5	31.1	29.6	37.0	80.0	健康・子育て応援課
がん検診受診率(肺がん)	%	50.2	39.6	39.6	38.6	55.0	70.2	健康・子育て応援課
がん検診受診率(子宮頸がん)	%	37.4	35.6	35.1	32.7	39.0	83.8	健康・子育て応援課
がん検診受診率(乳がん)	%	44.7	46.1	41.2	40.5	46.0	88.0	健康・子育て応援課
朝食を毎日食べる成人の割合*	%	83.4	-	81.2	-	90.0	-	健康・子育て応援課
1年間に治療や健診で歯科医院を受診した人の割合(20歳以上)*	%	44.3	-	45.3	-	50.0	-	健康・子育て応援課

*基準値H29年度(健康づくり意識調査年度)

(2) その他成果(主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
健康づくり推進事業 【健康・子育て応援課】	健康福祉まつり、町内健康づくり事業、保健推進員・食生活改善推進委員の活動支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・R4年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のために健康福祉まつりの代替イベントとして「おぢや健康講演会」を開催した。併せて、実行委員会構成団体による健康測定体験やヘルシースイーツの試食提供を行った。 ・保健推進員自主活動は43町内で実施し、970人が参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果より、講演会の満足度は99.1%と好評であったが、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に変更となったことから今後はイベント形式で開催する。会場の規模に合わせて、実施内容や関連団体との調整を行っていく必要がある。 ・保健推進員自主活動はR5年度に本格的に再開し、実施回数や参加者数が大きく改善した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の自主的な健康づくりの推進と意識の向上を図るため、健康や子育てに関するイベントの開催を検討する。 ・保健推進員自主活動を開催し、健康に関する情報発信や普及・啓発を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
健康教育事業【健康・子育て応援課】	生活習慣病予防・糖尿病予防・歯科疾患予防・健康ポイント事業(フレイル・ロコモ予防)	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病予防事業等各種事業のほか保健推進員自主活動や出前講座等の機会を利用して健康づくりに関するテーマで実施した。 ・健康ポイント事業では地域会場や夜間、土曜日に健康教室を開催し、運動習慣定着に向けた実践・啓発を行った。 	<p>新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、集団に向けた啓発活動がようやく再開できる状況となってきた。引き続き、健康に関心も持ち実践に向けた行動がとれるよう働きかけていく必要がある。</p>	<p>引き続き、健康増進や生活習慣病予防の実践が図れるよう、媒体等も工夫しながら各種事業に取り組む。</p>
事業名【担当課】	事業概要	
健康相談事業【健康・子育て応援課】	特定健康診査結果説明会、糖尿病予防相談会	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診結果説明会は個別相談として実施し、指導率は経年で見ると、微増している。 ・健診結果が要医療者の対象になった方には、健診結果を送付する際に特定健診結果説明会の案内を同封し、参加を促した。 	<p>健康相談は生活習慣を見直すための意識づけとなる大事な機会であり、行動変容のきっかけとして効果的である。また、早期受診や重症化予防にもつながることから、指導率向上の取組が必要である。</p>	<p>R5年度と同様、個別相談形式で実施する。指導率向上のため、健診結果送付時に特定健診結果説明会の案内を受診者全員に同封し、参加勧奨をする。</p>
事業名【担当課】	事業概要	
訪問指導事業【健康・子育て応援課】	各種健診結果の要指導者等への訪問指導	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣予防のための要医療者訪問や健診未受診者訪問、がん検診要精検者訪問など、生活改善や受診勧奨のための訪問指導を行った。 ・今年度から新たに高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施し、75歳以上で健診結果が要医療となった方等に対して訪問による保健指導を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問での受診勧奨によりがん検診要精検者の受診率を維持することができ、医療受診につなげられた。継続した保健指導が必要なケースは、臨時看護師による定期訪問につなげている。 ・健診後の家庭訪問後、医療機関の受診や生活習慣の改善につながった者がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、健診後の事後フォロー体制として家庭訪問等で生活改善や適切な受診行動がとれるよう指導する。 ・精密検査未受診者等には必要に応じて再訪問や電話等での受診勧奨を行う。
事業名【担当課】	事業概要	
健康診査事業【健康・子育て応援課】	特定健康診査、血糖検査、肝炎ウイルス健診、骨粗鬆症健診、人間ドック	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査は新型コロナウイルス感染症流行前の水準には届かないものの、受診者数は徐々に戻りつつある。 ・肝炎ウイルス検診や骨粗鬆症検診はフレイル予防のための運動器科学講座や健康ポイント事業とタイアップして実施した。 ・人間ドックは30歳以上の希望する市民を対象に費用の一部を助成した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診はレディース健診(胸部レントゲン検査、特定健康診査)の申込者数が増加傾向にあり、ニーズが伺える。 ・骨粗鬆症検診は働き盛り世代の受診率を向上させる取組が必要である。 ・人間ドックは年間を通じた受診体制を確保しており、R4年度より55人減少したものの、2,328人が受診した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査はR5年度と同様、レディース健診の枠を設けて受診しやすい体制とする。 ・骨粗鬆症検診と肝炎ウイルス検診は働き盛り世代の受診率向上を目指し、同時受診が可能な休日検診日を設ける。 ・人間ドックはR5年度と同様に、多く市民が受診しやすい体制を維持する。

事業名【担当課】	事業概要	
がん検診事業【健康・子育て応援課】	胃がん・大腸がん・肺がん・子宮頸がん・乳がん検診	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・肺がん検診は山間部の地域で単独実施日を設けることで受診しやすい体制設備を行った。 ・乳がん検診は施設での単独実施日を設け、待ち時間の少ない体制設備を行った。 ・乳がん検診や子宮頸がん検診は、無料クーポン対象の未申込者に対して再通知を行ったことで、新たに乳がん検診8人、子宮頸がん検診1人の受診につながった。 	<p>全てのがん検診で休日検診を実施しており、69歳以下の受診者の割合が高い。平日の検診へ行きづらい働く世代の受診機会になっている。</p> <p>がん検診の受診率は減少傾向にあることから、保健事業を通じて一次予防や検診受診の必要性を継続して普及啓発する必要がある。</p>	<p>引き続き、日曜検診や総合健診、がんセット検診、肺がん検診・乳がん検診の単独検診を実施することで受診しやすい体制整備を行う。</p>

事業名【担当課】	事業概要	
母子健康事業(乳幼児期・学童思春期) 【健康・子育て応援課】	乳幼児期・学童思春期の健康づくり、メディアコントロール意識啓発	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健康診査において育児状況や生活習慣を把握し、個別に保健指導を実施した。 ・乳幼児期・学童思春期の各期において生活習慣のアンケート調査を実施した。 ・子どもの健康づくり連絡会や学童思春期保健連絡会において関係機関と共有し、生活リズムの改善について子どもや家庭に啓発した。 	<p>生活習慣のアンケート調査結果から、子どもの朝食摂取率の向上や適切な睡眠時間の確保が課題であることが分かった。メディア利用時間も含めた生活リズムの改善に向けて、引き続き取り組む必要がある。</p>	<p>乳幼児期からの生活習慣確立のため、乳幼児健診等を通じて養育者の意識付けを図るとともに、関係機関と連携した啓発を継続する。</p>

事業名【担当課】	事業概要	
食育推進事業【健康・子育て応援課】	食生活改善運動、食生活改善推進委員の育成、食に関する実態把握及び普及啓発、地産地消の推進	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・親子の食育教室は、3年ぶりに対面開催し、4組11人が参加した。 ・保健所と協働し、「食を切り口とした子育て世代応援事業」として認定こども園において食育講座の開催やアンケート調査を実施した。 ・食生活改善推進委員活動として、デイホームでフレイルや減塩に関する講話を行った。 ・食生活改善推進委員の養成講座を開催し、3人が入会した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代において食育に関する意識や望ましい食習慣(朝食摂取、野菜摂取、減塩の取組)を実践している割合が低い。 ・高齢者において低栄養の予防に引き続き取り組む必要がある。 ・食生活改善推進委員は減少傾向にあることから、会員数の増加や活動の充実に向け取り組む必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、世代に応じた食育の推進(望ましい食習慣の理解・実践)に向けて、各事業を通じて普及・啓発を継続していく。 ・食生活改善推進委員協議会活動は、限られた会員の中で負担感なく活動が続けたいけるよう、またやりがいを持って活動ができるように取り組んでいく。

事業名【担当課】	事業概要	
歯科保健事業【健康・子育て応援課】	幼児歯科検診、妊婦歯科検診、成人歯科検診、後期高齢者歯科健診、むし歯予防教室	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・2歳児歯科検診において歯科衛生士による保健指導再開やむし歯予防で年長児を対象にした染め出しを行い、具体的な適切なブラッシング方法について保健指導を実施した。 ・生涯を通じた歯科検診の推進のため、妊婦や成人、後期高齢者の歯科検診を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受診率の低い40歳代、50歳代に重点において成人歯科検診の受診勧奨を行ったが、受診率が減少した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成人歯科検診では対象者への個別受診勧奨を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
感染症予防事業【健康・子育て応援課】	予防接種、結核健診、新たな感染症への防疫対策、インフルエンザ予防接種助成事業の拡充	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度を進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスワクチン接種を継続した。 ・子宮頸がん予防ワクチンは従来の2価ワクチン、4価ワクチンに加えて、9価ワクチンが定期接種の対象として公費(無料)で接種可能になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスワクチン接種について国の特例臨時接種の最終年度となった。 ・子宮頸がん予防ワクチンの接種勧奨が再開してから2年目を迎え、9価ワクチンも定期接種に加わったことから接種者が増加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種予防接種の勧奨を継続し、感染症の罹患と重症化を予防する。 ・新型コロナウイルスワクチン接種の定期接種化を推進する。 ・子宮頸がん予防ワクチンのキャッチアップ接種対象年齢の定期接種期間がR6年度で終了するため接種率の向上を図る。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	15
総合計画ページ	P.43		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり(福祉、健康、医療)
基本方針	2	健康づくりの推進
施策	2	健康長寿の推進
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 健康保持・増進対策の推進 ■ 地域支援事業の推進 ■ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施 ■ 感染症予防対策の推進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課
特定健康診査受診率(75歳以上)	%	24.3	23.6	25.9	27.6	25.0	110.4	健康・子育て応援課
インフルエンザ予防接種率(65歳以上)	%	52.1	53.0	53.0	52.1	67.0	77.8	健康・子育て応援課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
健康増進事業【健康・子育て応援課】	健康寿命延伸・フレイルとロコモ予防医学講座、健康診査、がん検診、健康教育、健康相談、訪問指導、人間ドック	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・各種検診及び人間ドックは適切な新型コロナウイルス感染症予防体制を整備し、健康管理の重要性を周知して実施した。 ・糖尿病性腎症重症化予防対策の一環として糖尿病治療中断者への訪問を行い、受診勧奨や生活指導を実施した。 	引き続き、健診後の事後フォローとして特定健診結果説明会や訪問指導、特定保健指導などの機会において、要医療者への受診勧奨や重症化予防のための保健指導を行う必要がある。また、健診未受診者に対して訪問やはがきなどによる受診勧奨を行い、健康管理の意識づけが必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・健康増進事業と高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施により、全ての年代に切れ目なく生活習慣病予防事業を実施することで、健康寿命延伸や介護予防を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
介護予防・日常生活支援総合事業、 包括的支援事業【福祉課】	一般介護予防事業、介護予防・生活支援サービス事業、認知症施策、生活支援体制整備事業（地域支え合い事業）	
①R5年度の実施状況 （具体的な取組内容・成果）	②現状分析 （現状・課題等）	③R6年度の進め方 （取組・改善策等）
<p>・介護予防普及啓発事業を実施した。 【各種介護予防講座】 150回 延2,390人</p> <p>・要支援認定者及び事業対象者を対象に、訪問型及び通所型介護予防サービス、住民主体による支援、専門職等による短期集中予防事業などを実施した。 【体しゅっきり教室】 実人数32人 延318人 【アクアチャレンジ教室】 実人数7人 延56人 【口腔機能向上事業】 実人数18人 延47人 【住民主体の支援】 実人数15人 延430人</p> <p>・地域リハビリテーション活動支援事業を実施した。 【創作活動実践講座(作業療法士)】 9回 145人 【転倒予防実践講座(理学療法士)】 3回 32人</p> <p>・高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施した(フレイル予防事業)。 5会場 延10回 延116人</p> <p>・認知症の対応や理解促進のため、「認知症予防と介護の市民講座(参加人数107人)及び「認知症徘徊模擬訓練(参加人数63人)」を開催した。</p> <p>・認知症支援ガイド(ケアパス)の作成や出前講座、認知症サポーター養成講座、認知症カフェの開催などを通して認知症施策を推進した。</p> <p>・支え合い組織の一覧表「地域支え合いマップ」を更新し、普及啓発に努めた。</p> <p>・地域支え合いの理解と組織立ち上げを支援するために第2層生活支援コーディネーターを10人配置し、町内会等の各種団体への啓発やネットワークづくりに向けて新任民生委員・児童委員、介護支援専門員との情報交換を行った。</p>	<p>・R4年度に比べて介護予防普及啓発講座や通所型介護予防サービスの参加者数が増加し、介護予防と社会参加につながっている。</p> <p>・高齢化率は年々上昇しており、横ばいで推移していた要介護認定率は新型コロナウイルス感染症流行による外出自粛の影響もあり上昇傾向にある。</p> <p>・総人口の減少や高齢者人口はピークを迎えたが後期高齢者人口の比率は上昇していく見込みであり、介護予防事業や生活支援サービスのニーズは高まることが推測される。高齢になる前から健康づくりと介護予防、重症化防止にむけて住民への意識啓発と関係者との連携が必要である。</p> <p>・高齢者の「通いの場」において高齢者の保健事業と介護予防を一体的に取り組むフレイル予防事業を開始した。フレイル自己チェックなどを活用してフレイル状態への気づきや予防のための意識、行動変容を促す工夫を行った。</p> <p>・共生と予防を両輪とした認知症への理解促進の取組が必要である。</p> <p>・団塊の世代がすべて75歳以上となる2025年に向けて、介護や支援が必要になっても支え合いや助け合いにより、地域全体で高齢者を支える地域包括ケアシステム体制の構築を推進している。</p>	<p>・引き続き、介護予防事業や認知症対策などの各種事業を実施する。</p> <p>・複数の疾患や加齢に伴うフレイルなど、高齢者の特性を踏まえた介入が介護予防では重要であり、通いの場等へ積極的な関与を行い、健康教育及び健康相談を実施する。</p> <p>・高齢者の保健事業と介護予防の一体的な取組によりデータを活用しながら、介護が必要な状態になる前からのセルフケアや早期受診の行動につながる効果的な取組を進める。</p> <p>・引き続き、認知症の対応や理解促進のため「認知症予防と介護の市民講座」や「認知症徘徊模擬訓練」を開催する。</p> <p>・住民主体による生活支援への手助けを行う第2層生活支援コーディネーターを10人配置し、地域支え合いの啓発を強化し、生活支援体制の充実に取り組む。</p>

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	16
総合計画ページ	P.45		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり(福祉、健康、医療)
基本方針	2	健康づくりの推進
施策	3	心の健康づくりの推進
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 精神保健対策の推進 ■ 自殺予防対策の推進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課
ストレスを感じる人の割合	%	94.3	-	-	-	65.0	-	健康・子育て応援課
ストレスの解消ができてい・何とかできてい人の割合	%	61.5	-	66.5	-	70.0	-	健康・子育て応援課
各種相談会を知っている人の割合	%	32.4	-	62.6	-	50	-	健康・子育て応援課

※基準値H29年度(健康づくり意識調査年度)

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

ひきこもりや不登校当事者の支援を考える会において意見交換や研修会などを開催し、当事者の居場所の設置に向けた検討に取り組んだ。

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
精神保健事業【健康・子育て応援課】	精神障がい地域包括ケア連絡会、心の健康講演会、精神保健福祉相談会、訪問指導	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・精神障がい地域包括ケア連絡会を3回開催し、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を検討した。 ・ひきこもりへの理解をテーマに心の健康講演会を開催し、138人が参加した。 ・臨床心理士による心の相談会を4回開催し、6件の相談に対応した。また、保健師による面談25件、電話71件、訪問338件の相談に対応した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心の健康相談会は不登校やひきこもり、精神疾患の悩みを抱える家族に対して対応方法や気持ちの受け止め方などの相談を行い、家族支援にもつながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもりを地域から理解してもらうための心の健康講演会を開催する。 ・相談内容が多様化しているため、基幹相談支援センターや保健所職員等と連携し、同行訪問をしながら心の不調を抱えた方の在宅生活を支援する。

事業名【担当課】	事業概要	
自殺対策強化事業【健康・子育て応援課】	いのちとこころの支援連絡会、地域見守り体制の推進、ゲートキーパーの養成、相談窓口の周知	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・いのちとこころの支援連絡会で自殺対策計画の進捗管理を行いながら対策を検討しており、自殺率は減少傾向にある。 ・地域住民を対象としたゲートキーパー養成講座は21人が参加した。また、子どものSOSへ気付き、適切に対応する人材を育成するため、教職員等支援者を対象とした講座を実施し、22人が参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺率の高い高齢者や働き盛り世代(特に男性)への普及啓発や支援が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いのちとこころの支援連絡会において現状や課題を共有しながら、さらなる自殺率減少に向けて第2期自殺対策計画の策定を進める。 ・働き盛り世代へのアプローチと地域での見守り体制を推進するため、保健推進員と協働してゲートキーパー養成講座を開催する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	17
総合計画ページ	P.47		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり(福祉、健康、医療)
基本方針	3	医療体制の充実
施策	1	地域医療の充実
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域医療の充実 ■ 診療所の開設等支援 ■ 感染症予防対策の推進 ■ 新たな感染症対策の推進 ■ 夜間・休日診療の確保 ■ 在宅医療と介護の連携の推進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(% (R5/R7))	担当課
診療所の新規開設数(計画期間中の累計)	件	—	0	1	1	1	100.0	健康・子育て応援課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
中核医療機関支援事業 【健康・子育て応援課】	厚生連小千谷総合病院への運営費助成	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
厚生連小千谷総合病院の安定的な運営及び病院機能の充実(医師及び看護師、医療技術者の確保)のための助成を行った。	病院開設以来25診療科を維持し、地域の中核医療機関として安定的な医療提供体制を維持している。	引き続き、厚生連小千谷総合病院の病院機能の充実強化による安定的な医療提供体制維持のための助成を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
救急医療専用病床運営事業 【健康・子育て応援課】	救急医療専用病床を保有する病院への運営支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
厚生連小千谷総合病院における救急医療専用病床6床の確保を支援し、運営費を助成した。	救急医療専用病床の確保により今後も地域医療の充実と市民が安心できる医療体制を確保する必要がある。	救急医療体制の充実のため、厚生連小千谷総合病院への支援を継続する。

事業名【担当課】	事業概要	
小児医療専用病床運営事業 【健康・子育て応援課】	小児医療専用病床を保有する病院への運営支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
厚生連小千谷総合病院における小児専用病床7床の確保を支援するため、運営費を補助した。	地域医療の充実や安心して子供を産み育てていく上で必要な小児の医療提供体制を確保していく必要がある。	小児医療専用病床を確保するため、支援を継続する。
事業名【担当課】	事業概要	
医師・医療従事者の人材確保 【健康・子育て応援課】	大学寄附講座による医師派遣、実習生の受け入れ及び指導者研修	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
新潟大学との協定に基づく寄附講座を実施した。 ・期間:2021.10.1～2024.9.30 ・寄附金額:60,000千円(3年間)	新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら、多職種による連携会議で情報共有を行いフレイル予防の取組を進めることができた。	9月末で寄附講座設置の協定が終了となるため、次期協定締結への対応を進める。また、R6年4月に開設した新たな寄附講座の対応を進める。
事業名【担当課】	事業概要	
診療所開設等支援事業 【健康・子育て応援課】	診療所の新規開設等への支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
耳鼻咽喉科の新規開設1件、補助金20,000千円の支援を実施した。	耳鼻咽喉科1件の新規開設に寄与した。	・R4年度からR5年度までの間に2件の耳鼻咽喉科を新規で開設したことから、耳鼻咽喉科を指定診療所から外す。 ・引き続き、診療所の開設支援を継続する。
事業名【担当課】	事業概要	
在宅医療・介護連携推進事業 【福祉課】	在宅医療介護連携協議会、多職種連携研修会、在宅医療・介護連携に関する相談支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療介護連携協議会(2回)や実務者会議(6回)を開催した。「わたしの思い生き方ノート」の作成についてワーキング部会を6回開催し、看取り支援の場面に通じるACP(人生会議)の普及啓発や連携体制の強化を図った。 多職種連携研修会(Web型)において実践報告「在宅看取りにおける多職種連携」と情報提供「わたしの思い生き方ノート」を実施し、61人が参加した。 市民講演会では、もしもの時のACP(人生会議)～わたしの思いを伝えよう～をテーマに開催し、133人が受講した。 在宅医療に関する実態把握調査を実施した。調査人数(本人及びその家族)1,034人 在宅医療・介護連携相談支援業務委託を実施した。相談件数16件 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療と介護の一体的な連携を推進するために関係者間で情報共有や意見交換のできる会議や研修会等を開催することにより、連携を深めていく必要がある。 もしもの時に望む医療やケアについて家族や医師などとあらかじめ話し合う「ACP(人生会議)」というプロセスを市民へ普及する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療介護連携協議会や実務者会議、多職種連携研修会、入退院支援連携勉強会を継続開催し、連携体制の強化に取り組む。 在宅医療や介護に関する市民講演会を開催し、市民へ意識啓発を行う。 「おぢや入退院支援連携ガイド」を見直し、安心して生活の場に戻れる入退院支援を推進する。 「わたしの思い生き方ノート」を活用してACP(人生会議)の普及・啓発を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
感染症予防事業 【健康・子育て応援課】	予防接種、結核検診、新たな感染症への防疫対策	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
新型コロナウイルス感染症のワクチン接種は国の臨時特例接種として最終年度となり、当市では集団接種会場を複数設けるなど市民の利便性に配慮し、安心して受けることができる接種機会を提供した。	新型コロナウイルス感染症のワクチン接種はR3年度からR5年度まで国の特例臨時接種として実施された。今後発生するかもしれない新たな感染症に対して、今回の経験を踏まえた対応を検討していく必要がある。	R6年度から定期接種化となる新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について、受診体制の整備を行う。
事業名【担当課】	事業概要	
小児救急医療運営事業 【健康・子育て応援課】	中越子ども急患センターの運営支援、普及啓発	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
小児救急診療運営のための経費に対して支援を行い、市内小児の急患の重症化防止につながった。	小児救急に対応する事業者の維持運営を支援するとともに、市民への普及啓発を行う必要がある。	引き続き、小児救急診療の運営を支援する。
事業名【担当課】	事業概要	
休日夜間救急医療運営事業 【健康・子育て応援課】	長岡休日・夜間急患診療所への運営支援、普及啓発	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
休日・夜間の救急診療運営のための経費に対して支援を行い、市内の急患の重症化防止につながった。	平日夜間や休日に対応する事業者の維持運営を支援するとともに、市民への普及啓発を行う必要がある。	引き続き、休日・夜間の救急診療の運営を支援する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	18
総合計画ページ	P.49		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり(福祉、健康、医療)
基本方針	4	支えあう福祉社会づくり
施策	1	障がい者福祉の充実
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 障がい者計画及び障がい(児)福祉計画の推進 ■ 相談支援体制の強化 ■ 就労支援体制の推進 ■ 障がい者施設整備に対する支援 ■ 障がい者理解の促進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課
障がい者施設の整備数(計画期間中の累計)	件	—	1	1	1	3	33.3	福祉課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
障害者自立支援給付事業【福祉課】	居宅介護、生活介護、就労移行支援、就労継続支援、施設入所支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
障がいのある方の自立した生活のために、障がい福祉サービスの利用計画に基づき、適正なサービス提供を行った。 【実績】※実利用者数 ・居宅介護:30人 ・生活介護:92人 ・就労移行支援:9人 ・施設入所支援:53人	関係事業所との連携等により、障がい福祉サービスの利用計画作成やサービス提供を行うことができたが、サービス提供事業所における人員確保が課題となってきた。引き続き、適切な障がい福祉サービスの提供ができるよう、提供体制を確保していく必要がある。	障がいのある方の自立した日常生活を支えるため、関係機関との連携や人員確保策の検討を行うなど、障がい福祉サービスの提供体制の確保に努める。

事業名【担当課】	事業概要	
地域生活支援事業【福祉課】	相談支援、日中一時支援、移動支援、日常生活用具給付支援、コミュニケーション支援事業、成年後見制度利用支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
・障がいのある方の自立支援及び福祉の増進を図るため、各種地域生活支援事業を実施した。 ・基幹相談支援センターを中心に市内相談支援事業所と連携しながら必要な情報提供や助言、障がい福祉サービスの利用支援等を実施した。 ・日常生活用具給付等事業については、580件の給付を行った。 ※R5相談実績(前年度との比較) ・市内事業所:11,416件(+24件) ・基幹相談支援センター:2,214件(+11件)	・相談支援については相談内容の複雑化や件数増加の傾向があるが、基幹相談支援センターが中心となり市内相談支援事業所との連携や後方支援、相談支援専門員のスキル向上を図ることにより、必要な対応ができています。 ・引き続き、相談内容の複雑化や相談件数の増加傾向に対応できるよう相談支援体制を維持する必要があります。	・障がいのある方が住み慣れた地域で自立した生活を送るために、引き続き各種事業を実施する。 ・相談支援事業所の協働体制等、複雑化、増加する相談支援ニーズに対応するための体制整備に努める。

事業名【担当課】	事業概要	
在宅障がい者支援事業【福祉課】	外出支援サービス(タクシー券利用助成等)、住宅改修費補助、通所サービス事業 所通所費助成	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
・在宅障がい者支援の各種事業を実施した。 ・申請のあった対象者に対して、タクシー券を交付した。(379人 利用率:54.88%)	障がい者が在宅で生活できるように、引き続き、各種事業を実施する必要がある。また、必要な人が助成を受けられるよう、制度の周知が必要である。	引き続き、各種事業を実施する。また、必要な人が助成等を受けられるよう、サービスガイドブックやホームページ、広報おぢやを通じて制度の周知に努める。
事業名【担当課】	事業概要	
障がい福祉施設整備事業費補助事業【福祉課】	施設整備費補助	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
当市において不足している障がい福祉サービスを充足するために施設整備費補助事業を実施したが、施設整備の実績はなかった。	社会福祉法人等に施設整備費補助事業の周知を行い、活用を促す必要がある。	引き続き、当該補助事業を実施するとともに、その周知に努める。
事業名【担当課】	事業概要	
健康福祉まつり【福祉課】	障がい福祉サービス事業所・団体の活動PR、障がい者の作品展示、自主作品の販売	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
新型コロナウイルス感染症の流行によりR5年度は健康福祉まつりは開催されなかった。	健康福祉まつりは開催されなかったが、小千谷市自立支援協議会講演会において市内の障がい福祉施設の活動紹介や自主製品の販売を行った。障がいや障がいのある方への理解を深めることにより、障がいのある方が社会へ参加する機会を確保する必要がある。	・健康福祉まつりが再開された場合は、障がいや障がいのある方に対する理解を深める機会として活用する。 ・障がい福祉サービス事業所等と連携して、活動紹介や自主製品の販売の機会の確保に努める。 ・広報誌や市ホームページで障がいや障がいのある方への理解に関する啓発を行う。
事業名【担当課】	事業概要	
意思疎通支援事業【福祉課】	手話通訳者(奉仕員)・要約筆記者(奉仕員)派遣、手話奉仕員養成講座	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
・聴覚障がい者の意思疎通を円滑にするために、手話奉仕員と要約筆記奉仕員の派遣事業を実施した。また、手話奉仕員の育成支援を行った。 ・窓口における意思疎通を円滑にするために、市役所に加えて健康・こどもプラザあすえ〜るに「みえる通訳」をR6年2月から設置した。 【意思疎通支援事業実績】 個人派遣53回、実利用者7人、講演会派遣8回 【手話奉仕員養成講座】 ※基礎課程 修了者5人 【みえる通訳活用実績】 利用者5件	・新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、講演会等の開催が再開される傾向にあり、講演会等での意思疎通支援事業の利用実績が4回から8回に増加した。 ・「みえる通訳」の増設により相談や説明等、窓口における意思疎通支援の充実を図ることができている。 ・聴覚障がい者との円滑なコミュニケーションのため、引き続き事業を実施する必要がある。	聴覚障がい者とのコミュニケーションを支援するため、引続き手話奉仕員等の派遣や「みえる通訳」の活用を行う。また、手話奉仕員養成講座の実施や要約筆記奉仕員養成講座の受講支援を行うなど、意思疎通支援を実施するための人材の育成と確保に努める。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	19
総合計画ページ	P.52		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり(福祉、健康、医療)
基本方針	4	支えあう福祉社会づくり
施策	2	生活困窮者への支援
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 包括的支援の推進 ■ 早期支援の実施 ■ 地域支援体制の確保

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課
(掲載項目なし)								

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
自立相談支援事業【福祉課】	生活困窮者の実情把握及び個々の支援プラン策定による包括的支援の実施	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
自立相談支援員を配置し、生活困窮者の相談支援を行うとともに、生活困窮者に対する支援のあり方について各分野(弁護士、ハローワーク等)の専門委員で構成される生活困窮者支援調整会議を3回開催し、支援状況について多角的な視点と深い知見による助言と指導を受けた。	生活困窮者は複合的な問題を抱えていることが多く、今後も関係機関と連携して支援に取り組む必要がある。	引き続き、自立相談支援員を配置し、生活困窮者の相談支援を行う。また、定期的に生活困窮者支援調整会議を開催し、支援状況や支援のあり方について助言と指導を受けながら事業を実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
住居確保給付金の支給【福祉課】	離職による住居及び就労の確保に向けた支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
延べ3人に対して給付金の支給及び就労支援を実施した。	新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行による社会経済活動の回復により、事業の申請者は減少した。今後も法令に基づき適切に支援を実施する必要がある。	引き続き、法令に基づき適正に事業を実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
就労準備支援事業【福祉課】	就労に必要な知識及び能力向上のために必要な訓練の実施	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
就労に向けた第一歩として本人のやる気を取り戻し、ひきこもりを防止するため、農業管理センターで内職作業に取り組んでもらい、延べ325人に対して支援を実施した。	支援の結果、一般就労につながったケースもあったが、障がい等の理由により就労が難しい場合は障がい者支援施設につなげるなど、関係機関と連携して本人の状態に応じた支援を行う必要がある。	引き続き、就労準備支援員を配置し、就労に向けた支援を実施する。障がい等の理由により一般就労が難しいケースについては、障がい者支援施設につなげるなど、関係機関と連携し本人の状態に応じた支援を行う。
事業名【担当課】	事業概要	
家計改善支援事業【福祉課】	家計収支に関する課題の評価・分析及び必要な情報提供・助言等の実施	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
債務問題解決のために延べ9人に対して家計の再建支援を実施した。	生活困窮者は債務問題を抱えているケースが多いことから、社会福祉協議会や弁護士等の関係機関と連携し、引き続き支援を行っていく必要がある。	引き続き、家計改善支援員を配置し、生活困窮者に対する家計の再建支援を行う。債務問題を抱えているケースが多いことから、社会福祉協議会や弁護士等の関係機関と連携し、支援を行う。
事業名【担当課】	事業概要	
子どもの学習・生活支援事業(再掲) 【福祉課】	生活困窮世帯の子どもの学習支援、生活習慣・育成環境の改善に関する助言等の実施	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
貧困の連鎖を防止するため、「子どもの学習・生活支援事業」を実施し、支援が必要な子ども1人に対して延べ29回支援を行った。	支援した子どもが進学したり学習習慣が定着したりするなど、一定の成果を上げているが、今後、関係機関と連携しながら、さらなる事業の周知が必要である。	引き続き、支援が必要な子どもに対して事業を実施し、貧困の連鎖の防止に取り組む。関係機関と連携し、支援が必要な子どもの把握や事業の周知に努める。
事業名【担当課】	事業概要	
生活保護受給者等就労自立促進事業 【福祉課】	ハローワークと連携した就労支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
ハローワークと連携して事業を実施し、就職の目標者数21人に対して19人が就職した。	ハローワークとの連携による「生活保護受給者等就労自立促進事業」を実施することで、就労支援を効果的に実施できている。今後もハローワークと連携した就労支援が必要である。	ハローワークとの連携による事業の実施により、生活保護受給者や生活困窮者への就労支援を効果的に実施した。引き続き、ハローワークと連携した就労支援を行う。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	20
総合計画ページ	P.53		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり(福祉、健康、医療)
基本方針	4	支えあう福祉社会づくり
施策	3	高齢者福祉の充実
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 高齢者福祉計画・介護保険事業計画の推進 ■ 生きがい対策の推進 ■ 地域包括ケアシステムの推進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(% (R5/R7))	担当課
デイホーム団体数	団体	10	10	10	10	10	100.0	福祉課
デイホーム会場数	会場	27	27	28	26	29	89.7	福祉課
デイホーム延べ利用人数	人/年	19,443	17,318	17,919	18,485	21,000	88.0	福祉課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
生きがい対策事業【福祉課】	生きがい対応型デイサービス、ふれあいいいききサロン事業補助	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の閉じこもり予防や介護予防のための「デイホーム」を地域に委託して実施した(10団体26会場)。 ・市内39会場で実施された「ふれあいいいききサロン事業」の事業費を補助した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デイホームやふれあいいいききサロンは、介護予防や健康づくりなどを目的とした地域主体の高齢者の通いの場、集いの場である。定期的な外出や交流が閉じこもりや介護予防、認知症予防に繋がっている。 ・山間地において利用者の減少により開催会場数を縮小した団体がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、「デイホーム」を実施する。 ・フレイル予防のために高齢者の通いの場で健康教育及び健康相談を実施する。 ・「ふれあいいいききサロン事業」の円滑な事業運営のために事業費を補助し、活動を支援する。
在宅生活支援事業【福祉課】	通院等支援サービス事業、介護手当、高齢者住宅整備事業補助金	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が住み慣れた住宅で安心して生活を送り、介護者の精神的・経済的負担を軽減するため、各種事業を実施した。 ・通院等支援サービス券交付 330人 ・介護手当支給 372人 ・高齢者住宅整備事業補助金 4件 	<ul style="list-style-type: none"> 介護者の精神的・経済的負担の軽減が図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙や介護支援専門員会議や地域包括ケア会議などを通じて各種在宅生活支援サービスを周知し、必要なサービスを提供する。 ・引き続き、介護保険証の発送時(新規・更新)に「高齢者福祉サービス一覧」を同封し、各種在宅生活支援サービスの周知を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
活動支援事業【福祉課】	老人クラブ活動への補助、敬老会への補助	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の社会参加活動や健康づくり事業など、各種活動費に補助を行った。(市内65の単位老人クラブと市老人クラブ連合会に補助) ・高齢者を敬い、地域との繋がりや高齢者が集う場所や機会を確保してもらうことを目的として各町内会等が開催する敬老会に補助を行った。(市内66会場、6,994人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手不足もあり、年々単位老人クラブ数が減少している。 ・高齢化に伴い、敬老会対象者(75歳以上)が増加している中で敬老会運営側も高齢化している。 ・新型コロナウイルス感染症の収束により集合開催を実施する町内が増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業費を補助し、高齢者が生きがいづくりや仲間づくり、健康づくりなどの活動を通じて、地域貢献など多様な社会活動へ参加する機会を支援する。 ・敬老会開催の課題を踏まえ、各町内の取組事例についての情報を提供し、町内等の実態に合わせた開催方法を検討してもらう。

事業名【担当課】	事業概要	
地域支援事業(包括的支援事業)【福祉課】	地域包括支援センターの運営、認知症施策の推進、生活支援体制整備事業(地域支え合い事業)	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターの運営と認知症施策を推進した。(相談延件数:2,811件 相談実人数:751人) ・認知症支援ガイド(ケアパス)の作成や出前講座、認知症カフェ、認知症予防と介護の市民講座、徘徊模擬訓練などを開催し、認知症の対応や理解促進を図った。 ・各地域における支え合い組織を一覧にした「地域支え合いマップ」を更新し、普及啓発に努めた。 ・地域支え合いの理解と組織の立ち上げを支援するため、第2層生活支援コーディネーターを10人配置し、町内会等の各種団体への啓発や新任民生委員、児童委員及び介護支援専門員とのネットワークづくりを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が住み慣れた住宅で安心して生活を送ることができている。 ・身寄りのないひとり暮らしの高齢者が増加傾向であり、成年後見制度の利用が増加していくことが予想される。 ・地域支え合いの周知が不十分であり、理解促進に向けた取組が必要である。 ・活動の担い手が不足しており、地域での組織立ち上げが進まない現状がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者見守り相談サービス事業については、民生委員・児童委員がひとり暮らしの高齢者宅に訪問する機会を活用して普及啓発を行う。 ・成年後見制度利用支援事業については庁内関係課等で構成する成年後見制度利用支援ネットワーク連絡会を活用し、権利擁護が必要な高齢者の制度利用につなげる。 ・生活支援コーディネーターが町内組織と連携を図り、高齢者の困りごとの把握やその解決に向けた活動を推進する。また、民生委員・児童委員、介護支援専門員とともに生活支援の課題解決に向けた取組を進める。

事業名【担当課】	事業概要	
地域支援事業(任意事業)【福祉課】	高齢者見守り相談サービス事業、成年後見制度利用支援事業	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<p>高齢者が住み慣れた住宅で安心して生活を送り続けられるよう、各種事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者見守り相談サービス利用 112台(3月末時点設置数) ・成年後見制度市長申立件数 2件 ・成年後見制度利用支援事業(補助金) 3件 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が住み慣れた住宅で安心して生活を送ることができている。 ・身寄りのないひとり暮らしの高齢者が増加傾向であり、成年後見制度の利用が増加していくことが予想される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者見守り相談サービス事業については、民生委員・児童委員がひとり暮らしの高齢者宅に訪問する機会を活用して普及啓発を行う。 ・成年後見制度利用支援事業については庁内関係課等で構成する成年後見制度利用支援ネットワーク連絡会を活用し、権利擁護が必要な高齢者の制度利用につなげる。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	21
総合計画ページ	P.56		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	1	商工業の振興
施策	1	商業の振興
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 商業の活性化支援 ■ 起業や開業に対する支援 ■ 小千谷産品の開発やブラッシュアップに対する支援 ■ 市場開拓と販路拡大に対する支援 ■ ふるさと納税制度の活用による小千谷産品の販路拡大

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課
相談件数(起業や開業)	件/年	10	14	21	27	10	270.0	商工振興課
補助制度利用累計件数(起業や開業)	件	5	4	9	13	20	65.0	商工振興課
補助制度利用累計件数(商品開発や品質向上など)	件	4	5	9	10	12	83.3	商工振興課
補助制度利用件数(展示会などへの出展)	件/年	10	9	16	11	15	73.3	商工振興課
ふるさと納税リピーター数	人	4,187	8,408	10,674	13,010	6,000	216.8	企画政策課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

<p>【商工振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業支援 <p>創業塾(商工会議所主催:参加者10名、R4年度6名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小千谷産品の開発・ブラッシュアップ支援 <p>ブラッシュアップ相談会:2回開催(1回目:1事業所、2回目:3事業所)</p>
--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
<p>商店街空き店舗活用支援事業 【商工振興課】</p>	<p>商店街の空き店舗を活用した起業や開業における初期投資に対する支援</p>	
<p>①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)</p>	<p>②現状分析 (現状・課題等)</p>	<p>③R6年度の進め方 (取組・改善策等)</p>
<p>R5年度支援件数:2件</p>	<p>本町商店街において店舗利活用状況調査を行い、創業希望者へ提供する空き店舗情報の整備を行った。</p>	<p>本町商店街における店舗利活用状況調査結果を活用し、商店街の空き店舗における開業件数の増加を図る。 また、東大通、中央通及び平成の各商店街における店舗利活用状況調査を進める。</p>
事業名【担当課】	事業概要	
<p>商店街にぎわいづくり支援事業 【商工振興課】</p>	<p>商店街振興組合などが実施するにぎわいを創出する事業や新たな顧客を獲得するための活動に対する支援</p>	
<p>①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)</p>	<p>②現状分析 (現状・課題等)</p>	<p>③R6年度の進め方 (取組・改善策等)</p>
<p>R5年度支援件数:1件 ・平成商店街</p>	<p>多くの商店街が本事業を活用し、賑わいの創出へつながる事業を実施している(H30年度事業開始)。 R3年度:5件、R4年度:2件、R5年度:1件</p>	<p>今後も支援事業を進めていくとともに、商店街等連絡会議などの機会を利用して、各商店街からにぎわいづくり支援に対するニーズを収集する。</p>

事業名【担当課】	事業概要	
開業促進事業【商工振興課】	市内での起業や開業に関する相談や初期投資に対する支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
R5年度相談支援件数:27件 R5年度初期投資支援件数:4件 起業スクール:1回開催(参加者7名) 起業セミナー:1回開催(参加者12名)	創業塾を年2回開催にするなど、市内創業への支援を推進したことで、相談から創業や開業につながる実績を残すことができた。引き続き、相談から創業や開業まで連携した支援が必要である。	引き続き、創業に関する支援や情報を展開し、創業意欲の醸成を図る。また、現在市での創業融資がないことから、他自治体の創業融資について情報収集し、制度研究を進める。

事業名【担当課】	事業概要	
地場産品開発支援事業【商工振興課】	小千谷産品の新規開発や品質向上などに対する支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
R5年度支援件数:1件 ・商品開発:1件(R4年度3件) ・商品改良:0件(R4年度1件)	申請者が固定化している傾向が見られるため、本支援事業に対する認知度を向上させる取組が必要である。	広報やメルマガでの事例紹介による商品開発促進の機運醸成を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
国内・海外販路開拓支援事業【商工振興課】	新商品にPRや販路拡大を目的とする国内外の展示会や見本市などへの出展に対する支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
R5年度支援件数:11件 ・海外0件、国内11件 (R4年度支援件数:16件)	R4年度と比べて支援件数が減少しているため、展示会の案内及び本支援事業に対する認知度を向上させる取組が必要である。	支援件数の増加を図るため、メルマガや広報での情報展開を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
ふるさと納税推進事業【企画政策課】	ふるさと納税制度の返礼品の充実拡充による小千谷産品のPRと販路拡大に対する支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
・R5年度ふるさと納税実績 件数:16,485件 納税額:609,430千円 ・寄附拡大に向けてマーケティング調査や返礼品ページ改修、広告運用を実施した。	件数、納税額ともに過去最高となり、小千谷産品のPRと販路拡大につなげることができた。一方で、目標としていた6.5億円には至らなかったため、さらなる情報発信方法等の見直しが必要である。	小千谷産品のブランディング強化や新規返礼品の開拓、情報発信方法の改善を実施し、更なる販路拡大を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
制度融資事業【商工振興課】	中小企業の経営安定、設備投資などによる経営基盤の強化に対する融資	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
市制度融資貸付状況(R6年3月末時点): 27件 新型コロナウイルス感染症関連保証認定件数 ・セーフティネット保証:50件 ・危機関連保証:0件	・円滑な融資支援事業に伴い、中小企業における経営安定及び経営基盤の強化が図られたものであり、引き続き支援が必要である。 ・新型コロナウイルス感染症・物価高騰等対策特別融資については、ゼロゼロ融資(実質無利子・無担保融資)の据置期間終了に伴う借換が増加したことから、R4年度と比較して微増した。	現在市での創業融資がないことから、他自治体の創業融資について情報収集し、制度研究を進める。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	22
総合計画ページ	P.56		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	1	商工業の振興
施策	2	基幹産業の強化
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 技術継承のための人材育成 ■ 新技術開発と経営基盤の強化 ■ 販路開拓や拡大に対する支援

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課
「テクノ小千谷名匠塾」受講生の技能検定合格者数 (平成21年度以降の累計)	人	172	192	202	214	230	93.0	商工振興課
補助制度利用累計件数(産学金官の連携によるもの)	件	5	2	3	3	16	18.8	商工振興課
補助制度利用件数(展示会などへの出展)	件/年	10	9	16	11	15	73.3	商工振興課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
テクノ小千谷名匠塾支援事業【商工振興課】	高い熟練技術の継承を目的とした人材育成を行うテクノ小千谷名匠塾の活動に対する支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
技能検定合格者数:8名(R4年度:10名) (名匠塾における累計合格者数:214名)	名匠塾の受講者から例年多くの技能検定合格者を輩出しており、高い技術力の継承が進められている。 R3年度:20名、R4年度:10名、R5年度:8名	市内企業が持つ技術の継承と人材育成にとって重要な取組であることから、引き続き支援を行う。
事業名【担当課】	事業概要	
ものづくり未来創造チャレンジ支援事業【商工振興課】	企業と高等教育機関などが連携して行う研究開発(経済産業省、中小企業庁採択事業)に対する支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
R5年度支援件数:0件 (R4年度支援件数:0件)	R5年度において研究開発に対する補助制度の利用はなかった。 R3年度:2件、R4年度:0件、R5年度:0件	市内企業と大学や研究機関等との連携による新技術の研究及び製品開発の促進を図るものであり、支援件数の増加を図るため、メルマガや広報での情報展開を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
ものづくり研究・開発支援事業【商工振興課】	企業と高等教育機関などが連携して新技術研究に取り組み製品開発を進める事業に対する支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
R5年度支援件数:0件(R4年度:1件)	市内企業と研究機関との連携による新技術の研究及び製品開発の促進が図られているが、R5年度において補助制度の利用はなかった(R元年度より支援)。R3年度:2件、R4年度:1件、R5年度:0件	市内企業と研究機関との連携による新技術の研究及び製品開発の促進を図るものであり、引き続き支援を行う。
事業名【担当課】	事業概要	
産学官連携推進事業【商工振興課】	コーディネータの配置による産学官のマッチングとネットワーク構築支援、産学金官の交流と連携を創出するための研究会の開催	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
R5年度企業訪問件数:60件(R4年度:49件) ・セミナー開催:17回	産学官連携推進員による企業と高等教育機関等とのマッチングやネットワークの構築により、多くの研究開発等の取組につながっている。	産学官連携推進員による企業と高等教育機関等とのマッチングやネットワークの構築により、多くの研究開発等の取組につながっていることから、引き続き支援を行う。
事業名【担当課】	事業概要	
国内・海外販路開拓支援事業(再掲)【商工振興課】	新技術、新製品のPRや販路拡大を目的とする国内外の展示会や見本市などへの出展に対する支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
R5年度支援件数:11件 ・海外0件、国内11件 (R4年度支援件数:16件)	R4年と比べて支援件数が減少しているため、展示会の案内及び本支援事業に対する認知度を向上させる取組が必要である。	支援件数の増加を図るため、メルマガや広報での情報展開を行う。
事業名【担当課】	事業概要	
制度融資事業(再掲)【商工振興課】	中小企業の経営安定、設備投資などによる経営基盤の強化に対する融資	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
市制度融資貸付状況(R6年3月末時点): 27件 新型コロナウイルス感染症関連保証認定 件数 ・セーフティネット保証:50件 ・危機関連保証:0件	・円滑な融資支援事業に伴い、中小企業における経営安定及び経営基盤の強化が図られたものであり、引き続き支援が必要である。 ・新型コロナウイルス感染症・物価高騰等対策特別融資については、ゼロゼロ融資(実質無利子・無担保融資)の据置期間終了に伴う借換が増加したことから、R4年度と比較して微増した。	現在市での創業融資がないことから、他自治体の創業融資について情報収集し、制度研究を進める。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	23
総合計画ページ	P.61		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	1	商工業の振興
施策	3	企業立地の推進
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 企業立地用地などの確保 ■ 企業立地の促進 ■ 新たな労働形態への対応

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課
産業団地造成箇所(累計)	か所	1	1	1	1	2	50.0	商工振興課
産業団地への誘致件数(累計)	件	2	2	2	2	3	66.7	商工振興課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

テレワークステーションおぢや内へのサテライトオフィス進出件数(累計):2件

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
新産業団地造成事業【商工振興課】	新たな産業団地の計画、造成	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
造成事業の事業主体の見直しや民間開発を促進するための施策整備を進めた。	事業リスクの低減を図るため、引き続き企業訪問等によるニーズの把握や民間活力の活用を検討を進める必要がある。	市内外の企業における立地動向の情報把握に努め、引き続き民間開発を促進するための施策整備を進める。

事業名【担当課】	事業概要	
企業立地促進事業【商工振興課】	固定資産税の課税免除、用地取得と就業者雇用に対する補助金交付、空き工場などの情報提供	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
固定資産税課税免除:6件	市内事業者等へ当課メルマガにより周知を行ったが、支援策を活用する事業者が限られており、引き続きプッシュ型の周知が必要である。	企業の設備投資等の情報把握に努め、適切な支援を実施していくとともに、引き続きプッシュ型の支援制度周知により設備投資を促進する。

事業名【担当課】	事業概要	
テレワーク環境整備事業【商工振興課】	新たな働き方に対応する受入環境の調査、検討、情報発信など	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
テレワークステーションおぢや 延べ利用者数:3,494名	延べ利用者数は増加しているものの、限られた方の利用に留まっているため、引き続き周知が必要である。また、新たな働き方に対応する受入環境の整備を進めるため、施設利用者やイベント等の参加者のニーズを把握する必要がある。	SNSやホームページ等を活用した情報発信や、定期的なイベント等の開催により利用促進を図るとともに、施設利用者やイベント等の参加者のニーズを把握し、施設運営に生かしていく。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	24
総合計画ページ	P.63		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	2	農林業の振興
施策	1	担い手の育成と経営の安定
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 新たな担い手の育成 ■ 地域における営農体制の構築 ■ 地域特性を活かした複合化・多角化経営の推進 ■ 農畜産物の高付加価値化の推進 ■ 多様な農産物生産と加工、販売の強化 ■ 農業機械導入に対する支援 <ul style="list-style-type: none"> ■ スマート農業の推進 ■ 環境保全型農業の推進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課
担い手などの農地利用集積面積	ha	1,723	1,855	1,989	2,066	2,100	98.4	農林課
重点園芸作物の栽培面積	ha	35.6	35.1	33.9	33.0	40.0	82.5	農林課
重点園芸作物の栽培者数	人	112	102	101	92	120	76.7	農林課
スマート農業の累計取組件数(本市の補助事業を活用したもの)	件	2	21	24	26	13	200.0	農林課

※重点園芸作物:カリフラワー、メロン、すいか、にんじん、ささげ豆、さといも、花卉(かき)、養液トマト

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
担い手育成総合支援事業【農林課】	農業経営に関する支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
農業経営に必要な研修会や個別相談会を農業者に周知案内し、参加を促した。	多くの研修会が設けられており、農業経営に必要な知識等が習得できる体制が整っている。	引き続き、農業者へ研修機会の周知案内を行い、農業経営に必要な知識等の習得を支援する。
事業名【担当課】	事業概要	
農業次世代人材投資資金事業【農林課】	新規就農者に対する助成	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
一定要件を満たした新規就農者2名に対して経営支援及び資金交付を行った。	認定新規就農者に対する経営支援として就農後の定着を図っている。	関係機関及び関係団体と連携して積極的に就農相談を受け付け、事業要件を満たす対象者には資金事業を活用し、次世代を担う農業者を育成する。

事業名【担当課】	事業概要	
農地中間管理事業、機構集積協力金交付金事業【農林課】	農地中間管理機構と連携した農地の集積、集約に対する支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
機構集積協力金の支援実績がなかった。	機構集積協力金のうち、これまで支援実績のあった経営転換協力金の交付要件が厳しくなったため、対象者がいなかった。	継続して農地中間管理事業の周知を図り、農地の集積や集約を推進し、支援につなげる。
事業名【担当課】	事業概要	
米政策支援事業【農林課】	経営所得安定対策、新たな米政策などに対する支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
農業者の経営所得安定のために、小千谷市農業再生協議会を通じて、農業者の取組に対する支援を行った。	全国で主食用米の在庫過多の状況が続いており、地域においても需要に応じた米生産が求められていることから、継続した支援が必要である。	引き続き、全国的な主食用米の在庫過多の状況に対応した支援が必要となっている一方で、今後の米の市場動向等を注視し、地域にとって必要な施策を継続する。
事業名【担当課】	事業概要	
農林水産業総合振興事業【農林課】	農業生産機械、施設などに対する整備支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
2つの経営体に対して生産機械の導入支援を行った(そば乾燥調製設備1式・トラクター1台)。	国や県の補助要件を満たすことができない農業者からの相談案件が多い。	補助要件を満たし、中心的な地域の担い手が事業活用できるよう、支援を継続する。
事業名【担当課】	事業概要	
農業経営基盤強化支援利子助成補助金【農林課】	農地の取得や農業機械の購入に対する利子助成	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
農業経営改善計画の達成に必要な長期投資の利子助成を8件行った。	長期投資が必要となる農業者の負担軽減が図られている。	長期投資が必要となる農業者の負担軽減のために事業を継続する。
事業名【担当課】	事業概要	
環境保全型農業直接支払交付金事業【農林課】	有機農業や堆肥を利用した土づくりなど環境保全型の営農活動に対する支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
1団体の環境保全型農業の取組みに対して助成を行い、24人の農業者が活動した。	補助要件を満たす取組み取組が少なく、申請者が減少している。	引き続き、環境保全型農業に取組む農業者に対して支援を行いつつ、環境に配慮した農業の意義等を周知していく。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	25
総合計画ページ	P.66		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	2	農林業の振興
施策	2	農業生産基盤整備の推進
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ ほ場の整備促進 ■ 農業用施設の機能回復支援

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(% (R5/R7))	担当課
水田の区画整理整備率(30a以上)	%	59.4	60.9	60.9	61.4	61.0	100.7%	農林課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
ほ場整備事業【農林課】	県営ほ場整備事業に対する負担金	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
上片貝や若栃、塩殿、前島宮島、芋坂時之島、真人北部若栃において県営事業が実施された。	ほ場整備計画地区は複数あるが、事業要件等により事業化できない地区がある。	県営事業以外による事業実施を検討しながら、支援を継続する。

事業名【担当課】	事業概要	
基盤整備促進事業【農林課】	水利施設整備に対する補助	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
小千谷土地改良区及び信濃川左岸土地改良区が実施した施設設備の補修等に対して補助金を交付した。	老化による施設の設備更新が増加しており、今後も継続して事業者からの要望が見込まれる。	引き続き、国庫補助事業に対して上乗せ助成を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
土地改良施設維持管理適正化事業【農林課】	農業用施設の機能回復や整備などに対する補助	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
小千谷土地改良区及び信濃川左岸土地改良区が実施した施設設備の補修等に対して補助金を交付した。	老化による施設の設備更新が増加しており、今後も継続して事業者からの要望が見込まれる。	引き続き、新潟県土地改良事業団体連合会の適正化事業の採択を受けた事業に対して助成を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
多面的機能支払交付金事業【農林課】	農業用施設の長寿命化の推進	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度を進め方 (取組・改善策等)
1広域協定、4組織の農業用施設長寿命化の活動に対して補助金を交付した(取組面積1,795ha)。	取組面積の拡大を図っているが、市内の多くのエリアで取組が進んでおり、増加率は鈍化している。	当該事業を活用することの多い県営ほ場整備実施済みの地区に対して働きかけを行う。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	26
総合計画ページ		P.67	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	2	農林業の振興
施策	3	農村の振興
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 農村の多面的機能の維持と活用 ■ 中山間地域の農業の維持 ■ 農用地利用計画の見直し ■ 農村の環境整備にかかわる人材の確保

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(% (R5/R7))	担当課
農地維持活動面積	ha	1,953	2,045	2,057	2,066	2,050	100.8	農林課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
多面的機能支払交付金事業(再掲) 【農林課】	農地を維持するための共同活動の推進	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
1広域協定、6組織の農地維持活動に対して補助金を交付した(取組面積2,066ha)。	取組面積の拡大を図っているが、市内の多くのエリアで取組が進んでおり、増加率は鈍化している。	当該事業を活用することの多い県営ほ場整備実施済みの地区に対して働きかけを行う。
事業名【担当課】	事業概要	
中山間地域等直接支払事業 【農林課】	耕作放棄地の増加抑制や人材確保のための活動に対する補助	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
6広域協定、5集落協定の農業生産活動に対して補助金を交付した(取組面積1,147ha)。	取組面積は年々拡大してきており、新規の事業活用を検討している地区もある。	事業活用を検討している地区に対して、引き続き情報提供などの支援を行う。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	27
総合計画ページ	P.69		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	2	農林業の振興
施策	4	森林の維持
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 森林の維持、保全 ■ 特用林産物の生産体制の確立 ■ 緑化推進活動に対する支援

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課
森林整備意向調査実施面積	ha	0	13.6	13.6	13.6	100.0	13.6	農林課
緑化活動団体	団体	4	9	3	3	5	60.0	農林課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要		
治山事業【農林課】	荒廃地の復旧や災害予防、保全対象地の保護		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)	
・真人町において下刈りを実施した。 ・片貝町において護岸工を実施した。 ・南荷頃において谷上工の補修を実施した。	治山施設の老朽化が進んでおり、修繕等の必要箇所が増加傾向にある。	引き続き、危険箇所や施設の破損等の情報を速やかに県に報告し、事業化につなげる。	
事業名【担当課】	事業概要		
森林整備地域活動支援事業【農林課】	適切な森林整備活動に対する支援		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)	
実施なし	間伐の取組は減少傾向にある。	民間の森林整備活動に対する支援のあり方について検討を進める。	
事業名【担当課】	事業概要		
特用林産物生産支援事業【農林課】	きのこ生産事業の品質向上と低コスト化を推進する事業に対する支援		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)	
実施なし	H28年度に低コスト化の施設整備に対する支援を行っており、生産者の要望は毎年確認している。	引き続き、生産者に対して情報提供を行い、支援の実施につなげる。	

事業名【担当課】	事業概要	
緑化運動推進事業【農林課】	公益社団法人にいがた緑の百年物語緑化推進委員会などが行う緑化推進活動に対する支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
3団体が植樹を実施した。また、8団体の樹木維持管理に対して資材費に対する支援を行った。	全町内会に植樹等要望調査を実施した結果、実施団体が増加傾向にある。	全町内への要望調査を継続し、支援の実施につなげる。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	28
総合計画ページ	P.71		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	3	地域特性を活かした産業の育成
施策	1	独創性・創造性豊かな産業の育成
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 伝統産業のPR ■ 複合経営型アグリビジネスの構築促進 ■ 起業、第二創業に対する支援 ■ 産学金官の連携

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(% (R5/R7))	担当課
アグリビジネス新規開発品目数	団体	14	16	16	16	19	84.2	農林課
相談件数(起業や開業)	件/年	10	14	21	27	10	270.0	商工振興課
補助制度利用累計件数(起業や開業)	件	5	4	9	13	20	65.0	商工振興課
補助制度利用累計件数(産学金官の連携によるもの)	件	5	2	3	3	16	18.8	商工振興課
補助制度利用件数(展示会などへの出展)	件/年	10	9	16	11	15	73.3	商工振興課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

<p>【商工振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業支援 創業塾(商工会議所主催:参加者10名、R4年度6名) ・小千谷産品の開発・ブラッシュアップ支援 ブラッシュアップ相談会:2回開催(1回目:1事業所、2回目:3事業所)

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
伝統産業振興支援【商工振興課】	伝統工芸団体への運営、事業に対する支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
R5年度における支援件数は4件(R4年度支援件数:4件) ・織物同業協同組合 ・仏壇振興事業 ・地場産業振興事業 ・伝統的工芸品月間事業	引き続き、伝統産業の振興に係る相談や支援の継続が必要である。	引き続き、補助金等による伝統産業の振興に係る相談や支援を継続する。
事業名【担当課】	事業概要	
アグリビジネス育成支援事業【農林課】	地域資源を活用したアグリビジネスの商品開発や販路開拓に対する支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
アグリビジネス創出の可能性を持つ農業関係団体等に対して国県事業等の情報提供を行った。	農家の女性団体が行う小規模な取組や法人等団体組織で行う意欲的な取組を後押しするために有効である。	農業者の法人化等の支援や農作物加工のできる農業管理センターの調理実習室の利用促進によりアグリビジネス創出の可能性を高める。

事業名【担当課】	事業概要	
起業・開業支援事業(再掲) 【商工振興課】	市内での起業や開業に対する支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
R5年度相談支援件数:27件 R5年度初期投資支援件数:4件 起業スクール:1回開催(参加者7名) 起業セミナー:1回開催(参加者12名)	創業塾を年2回開催にするなど、市内創業への支援を推進したことで、相談から創業や開業につながる実績を残すことができた。引き続き、相談から創業や開業まで連携した支援が必要である。	引き続き、創業に関する支援や情報を展開し、創業意欲の醸成を図る。また、現在市での創業融資がないことから、他自治体の創業融資について情報収集し、制度研究を進める。

事業名【担当課】	事業概要	
ものづくり未来創造チャレンジ事業(再掲) 【商工振興課】	企業と学術機関が連携して行う研究開発(経済産業省、中小企業庁採択事業)に対する支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
R5年度支援件数:0件 (R4年度支援件数:0件)	R5年度において研究開発に対する補助制度の利用はなかった。 R3年度:2件、R4年度:0件、R5年度:0件	市内企業と大学や研究機関等との連携による新技術の研究及び製品開発の促進を図るものであり、支援件数の増加を図るため、メルマガや広報での情報展開を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
ものづくり研究・開発支援事業(再掲) 【商工振興課】	起業や経営体と学術機関が連携して行う新技術の研究と製品開発に対する支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
R5年度支援件数:0件(R4年度:1件)	市内企業と研究機関との連携による新技術の研究及び製品開発の促進が図られているが、R5年度において補助制度の利用はなかった(R元年度より支援)。 R3年度:2件、R4年度:1件、R5年度:0件	市内企業と研究機関との連携による新技術の研究及び製品開発の促進を図るものであり、引き続き支援を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
産学官連携推進事業(再掲) 【商工振興課】	コーディネータの配置による産学官のマッチングとネットワーク構築支援、産学金官の交流と連携を創出するための研究会の開催	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
R5年度企業訪問件数:60件(R4年度:49件) ・セミナー開催:17回	産学官連携推進員による企業と高等教育機関等とのマッチングやネットワークの構築により、多くの研究開発等の取組につながっている。	産学官連携推進員による企業と高等教育機関等とのマッチングやネットワークの構築により、多くの研究開発等の取組につながっていることから、引き続き支援を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
国内・海外販路開拓支援事業(再掲) 【商工振興課】	新技術、新製品のPR、販路拡大を目的とする国内外の展示会、見本市などへの出展要請	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
R5年度支援件数:11件 ・海外0件、国内11件 (R4年度支援件数:16件)	R4年度と比べて支援件数が減少しているため、展示会の案内及び本支援事業に対する認知度を向上させる取組が必要である。	支援件数の増加を図るため、メルマガや広報での情報展開を行う。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	29
総合計画ページ	P.73		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	3	地域特性を活かした産業の育成
施策	2	錦鯉産業の振興
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 市の魚「錦鯉」のPR ■ 販路拡大に対する支援 ■ 鯉ヘルペスウイルス(KHV)病への対策強化 ■ 経営基盤の強化 ■ 教育や観光との連携

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課
市内錦鯉海外輸出国数	ヶ国	22	20	21	23	26	88.5	農林課
市内錦鯉海外輸出件数	件	228	227	212	400	250	160.0	農林課
市内錦鯉海外輸出尾数	尾	215,484	390,724	312,096	273,892	570,000	48.1	農林課
市内錦鯉海外輸出金額	千円	509,400	804,000	723,718	1,003,550	700,000	143.4	農林課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

<ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」の新潟東港寄港において錦鯉水槽展示を行い、国内外の乗客約2,000人に対して小千谷市産錦鯉のPR活動を行った。 ・ホテル椿山荘東京(東京都文京区)において錦鯉の追加放流を行い、県外でのPR活動を行った。(いずれも小千谷市錦鯉漁業協同組合から協力を得て実施したもの。)

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
市の魚「錦鯉」PR事業【農林課】	小千谷市錦鯉漁業協同組合が行う広報宣伝事業に対する補助	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
G7新潟財務大臣・中央銀行総裁会議の会場となった朱鷺メッセ内において小千谷市産錦鯉の展示を行い、主要各国の要人に国魚錦鯉の魅力を伝えた。	・不測の事態が発生した場合においても安定した輸出ができる体制の整備が必要である。 ・錦鯉を通じた経済・文化の国際交流の促進等により、海外市場への販路拡大が必要である。	新潟県等が開催を予定している「(仮)錦鯉発祥の地 見学ツアー」において錦鯉の放流や餌やり体験を実施し、錦鯉の魅力と発祥の地をPRする。

事業名【担当課】	事業概要	
東京駅前常盤橋プロジェクト錦鯉PR事業【農林課】	東京駅前常盤橋プロジェクト広場に設置される錦鯉鑑賞池を活用した錦鯉のPR	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
TOKYO TORCH2周年まつりや桜まつりなど4件のイベントにおいて錦鯉水槽を展示し、錦鯉のPR活動を行った。	R5年9月から隣接するTorch Tower (B棟)の新築工事が着工している。完成予定のR9年度末までは工事による影響を踏まえたPR活動を行っていく必要がある。	・「小千谷市の錦鯉が泳ぐ池」としてGoogleマップに登録されているため、このような材料を活用するなど効果的な情報発信に取り組む。 ・常盤橋関連イベントに継続して出展する。 ・関連団体への働きかけを行い、物販の拡充を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
養殖錦鯉魚病検査対策事業【農林課】	KHV病の検査費用に対する補助	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
R5年度検査数 【輸出】前期31件、後期31件 【国内】前期14件、後期18件	KHV病への対策強化、まん延防止により、魚病対策への信頼性を保ち、出荷販売促進が図られている。	KHV病のまん延防止により、錦鯉の出荷や販売促進が図られることから、継続して実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
経営基盤強化事業【農林課】	品評会の開催や販路開拓や拡大事業に対する補助	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
農地の一時転用に対する支援の一環として、新潟県と手続に関する内容の意見交換を行い、今後の取扱い(手続きの緩和など)について生産者に説明した。	生産者の高齢化や後継者不足が懸念される一方で、海外市場において需要が高まっている。一生産者が需要に応えられる生産基盤の確保、拡大が求められる。	関係者との情報交換により耕作放棄地などがある地域の調査を行い、養鯉業者とつながるよう検討し、農地の一時転用に対する手続を支援する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	30
総合計画ページ	P.75		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	4	就業機会の確保
施策	1	就業支援の強化と人材育成
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 若者の就業機会の確保 ■ U・Iターンに対する支援 ■ キャリア教育に対する支援 ■ 中小企業における人材育成 ■ 再就職希望者に対する支援 ■ 就労支援情報の発信

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(% (R5/R7))	担当課
新規就農者数(累計)	人	12	21	25	27	30	90.0	農林課
学生(高校生～大学生)の市内就職者数	人/年	調査なし	107	159	150	40	375.0	商工振興課
インターンシップ参加者の市内就職者数(累計)	人	調査なし	32	40	59	30	196.7	商工振興課
15歳～29歳の転入者数	人/年	292	280	355	304	300	101.3	商工振興課
中小企業人材育成研修支援事業の対象者数	人/年	32	19	37	31	35	88.6	商工振興課
「テクノ小千谷名匠塾」受講生の技能検定合格者数(H21年度以降の累計)	人	172	192	202	214	230	93.0	商工振興課
シルバー人材センター会員数	人	389	378	382	383	407	94.1	福祉課
障がい者の一般就労への移行者数	人/年	2	0	3	5	5	100.0	福祉課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

<p>【商工振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長岡地域若者サポートステーションにおける若者の相談件数:15件(うち新規7件)

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
「おぢや・夢・ミライ応援団」による就労支援事業【商工振興課】	産学官の連携により、若者の地元就労を促進	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ受入調査:市内企業159社 ・インターンシップ受入仲介:11名 ・おぢやしごと未来塾開催:1回 	市外の高等教育機関へ周知を行ったことから、インターンシップの受入仲介がR4年度から10名増加した。	R5年度に引き続き、高等教育機関へ就職支援事業の周知を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
「小千谷未来パスポート」によるU・Iターン促進事業【商工振興課】	首都圏などの高等教育機関との連携により、若者のU・Iターン就労を促進	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
・U・Iターン学生就職活動支援事業補助金申込:3件 ・長岡地域定住自立圏事業:3回 (インターンシップガイダンス・高校生のための企業フェス・就職ガイダンス)	・U・Iターン学生就職活動支援事業補助金の制度を拡充し、チラシ等を用いて周知を強化した。 ・長岡地域定住自立圏事業との連携により、広域的な市内企業の認知向上が図られた。	U・Iターン学生就職活動支援事業補助金の認知向上のため、企業ガイドブックや就職支援サイト、各種SNSを活用して周知を図る。
事業名【担当課】	事業概要	
キャリア教育推進事業【商工振興課】	小学生から高校生までを対象とした企業見学、職場体験などに対する支援と企業ガイドブックの配布	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
・企業見学バスツアー開催:3回 ・企業ガイドブックの配布 ・就職支援サイトのリニューアル ・就職支援SNSアカウントの運営(インスタグラム)、開設(YouTube、TikTok) ・企業見学(市内中学校5校):2校 ・学生と市内企業の座談会(ぼっぷとーく)開催:6回	・各世代の学生に対し、企業ガイドブックの配布やバスツアーの開催などにより、学生に対するキャリア教育の推進が図られた。 ・企業ガイドブックや就職支援サイト、各種SNSの活用により、市内企業の認知向上が図られた。	引き続き、市内企業の認知向上を図るため、各世代の学生に対するキャリア教育推進事業を実施する。
事業名【担当課】	事業概要	
農業次世代人材投資資金事業(再掲)【農林課】	新規就農者に経営に対する助成	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
一定要件を満たした新規就農者2名に対して経営支援及び資金交付を行った。	認定新規就農者に対する経営支援として就農後の定着を図っている。	関係機関及び関係団体と連携し積極的に就農相談を受け付け、事業要件を満たす対象者に資金事業を活用し、次世代を担う農業者を育成する。
事業名【担当課】	事業概要	
中小企業研修支援事業【商工振興課】	中小企業大学校三条校、公益財団法人にいがた産業創造機構(NICO)が実施する研修の受講に対する補助	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
研修受講者数:31名(R4年度:37名)	受講者数はR4年度と比べて減少したものの、新型コロナウイルス感染症流行前の受講者数(35件程度)と同水準の実績となった。	市内企業の研修補助による人的資源の強化を図るものであり、引き続き支援を継続していく。
事業名【担当課】	事業概要	
テクノ小千谷名匠塾支援事業(再掲)【商工振興課】	高い熟練技術の継承と人材育成に取り組むテクノ小千谷名匠塾の活動に対する補助	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
技能検定合格者数:8名(R4年度:10名) (名匠塾における累計合格者数:214名)	名匠塾の受講者から例年多くの技能検定合格者を輩出しており、高い技術力の継承が進められている。 R3年度:20名、R4年度:10名、R5年度:8名	市内企業が持つ技術の継承と人材育成にとって重要な取組であることから、引き続き支援を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
長岡地域若者サポートステーション 【商工振興課】	若者の就業による自立を目的とした「地域若者サポートステーション事業」の広報協力及び小千谷サテライト(出張相談)の開設協力	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度を進め方 (取組・改善策等)
・小千谷サテライトの実施:12回(月1回) ・市ホームページへの掲載及び町内回覧文書への同封	小千谷サテライトでの相談から進路(就職含む)決定につながる実績があった。	相談者の進路(就職含む)決定という実績も出ていることから、引き続き支援を行う。
事業名【担当課】	事業概要	
国際交流環境整備事業 【にぎわい交流課/文化スポーツ課】	外国語による生活情報の提供、外国語パンフレットの配布、外国人のための日本語教室の開催	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度を進め方 (取組・改善策等)
市内在住外国人の生活に必要な情報提供などの事業を実施した。	日本語学習を必要とする外国人に対して教室の存在が十分に周知されていない。	他課と連携し、日本語学習を必要とする外国人の情報収集を徹底し、事業の周知を図る。
事業名【担当課】	事業概要	
障害者自立支援給付事業(再掲) 【福祉課】	就労移行支援、就労継続支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度を進め方 (取組・改善策等)
障がいのある方に対して就労に必要な知識の習得や能力向上のために必要な訓練を行った。 【実績】※実利用者数 ・就労移行支援:9人 ・就労継続支援:A型7人、B型124人	障がいのある方の就業期間の確保と、企業における障がいに対する理解の促進を図る必要がある。	市内の相談支援事業所や企業、総合支援学校と連携した情報発信等により、障がい者雇用の理解と推進を図り、実習先や就業機会の確保に努める。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	31
総合計画ページ	P.78		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	4	就業機会の確保
施策	2	労働環境の整備
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 働き方改革の推進 ■ ワーク・ライフ・バランスの推進 ■ 勤労青少年の活動支援

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課
労働環境の整備に関する情報提供のための企業訪問数	件/年	24	22	24	20	25	80.0	商工振興課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
労働環境の整備に関する情報の提供【商工振興課】	働き方改革やワーク・ライフ・バランスなど労働環境の整備に関する情報提供や労働相談窓口などの紹介	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・ワーク・ライフ・バランス広報 (ホームページ及び広報おぢやへの掲載) ・企業訪問件数:20件 	<p>ホームページや広報誌への掲載だけでなく、企業訪問による周知強化を図っている。 企業訪問周知件数(R3年度:22件、R4年度:24件、R5年度:20件)</p>	引き続き、企業訪問による周知強化に努める。

事業名【担当課】	事業概要	
勤労青少年の自己啓発活動支援事業(再掲)【文化スポーツ課】	首都圏などの高等教育機関との連携により、若者のU・ターン就労を促進	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
勤労青少年ホームでの講座や教室を全26講座(延べ100回)開催した。	<p>事業参加者の固定化が進んでいるため、新規参加者を増加させる取組が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSを活用した広報周知を行い、新規利用者の獲得を図る。 ・クラブ活動など利用者の自主的な活動支援を行う。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	32
総合計画ページ	P. 80		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	1	都市空間の創出
施策	1	中心市街地の活性化
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 小千谷市立地適性化計画の推進 ■ 市街地の都市機能整備 ■ 中心市街地への居住誘導 ■ 商業の活性化支援(再掲)

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課
居住誘導区域の人口集積率※	%	56.9	57.3	58.0	58.1	58.2	99.8	建設課

※全人口に占める居住誘導区域の人口割合

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
立地適正化計画の推進【建設課】	立地適正化計画に基づく居住や都市機能の誘導方針による推進	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・居住誘導区域の人口集積率 58.1% ・都市機能:図書館複合施設(R6年度供用開始予定)建設工事着手 ・居住:宅地開発支援補助金交付決定 2件 	図書館複合施設整備による都市機能の誘導や宅地開発支援による居住の誘導に向けた取組を実施している。	関連する計画に位置付けられた施策などを着実に実行し、居住及び都市機能の誘導を促進する。

事業名【担当課】	事業概要	
都市機能集約事業【建設課】	西小千谷地区:旧小千谷総合病院跡地整備事業(図書館等複合施設整備事業)、東小千谷地区:防災拠点施設等整備事業((仮称)小千谷市防災センター整備事業)	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・図書館等複合施設の実施設計が終了し、建設工事に着手した。 ・(仮称)小千谷市防災センター整備事業については、パブリックコメントを実施した。また、設計競技により基本計画及び仕様書に沿った設計案を選定し、基本設計・実施設計を進行している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館等複合施設整備事業では施設オープン後の運営を見据えて、人と人をつなぎ、共創する場としてリビングラボを継続実施しながら、施設整備を進めている。 ・(仮称)小千谷市防災センター整備事業については、緊急防災・減災事業債の適用事業期間がR7年度までとなり、R6年度秋の工事着工に向けて、現在実施設計に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館等複合施設整備事業では引き続き、リビングラボを土台として、官民連携で生まれる様々な可能性を考えて行動し、まちに活気を生み出す拠点づくりを行う。 ・(仮称)小千谷市防災センター整備事業については、基本設計及び実施設計を終了し、工事に着手する。

事業名【担当課】	事業概要	
住宅取得支援事業【建設課】	住宅取得に対する補助	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
補助金申請件数 88件(うち子育て世代83件) ・新築住宅 61件(うち転入17件) ・建売住宅 5件(うち転入3件) ・中古住宅 22件(うち転入10件)	申請者数は堅調に推移している。年度後半に中古住宅購入が増える傾向にあり、特に中古住宅購入者への周知が必要である。	対象者へ確実に情報が届くよう、広報紙やホームページ、SNS等を活用し、制度の周知徹底を図る。
事業名【担当課】	事業概要	
宅地開発支援事業【建設課】	宅地の整備に対する補助	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
・補助金交付決定数:2件 ・整備完了区画:22区画(うち12区画はR4年度からの繰越事業) ・区画数累計:50区画(R3年度:25区画、R4年度:3区画、R5年度:22区画)	・R4年度に補助金交付要件の緩和と補助対象経費の追加を行ったことにより、小規模開発においても活用可能な補助金となっている。 ・良好な居住環境の提供が分譲後の売行きにもつながっている。 ・R6年度も本補助金の活用が見込まれている。	・引き続き、周知や丁寧な事前相談を行い、補助制度の活用を促す。
事業名【担当課】	事業概要	
商店街にぎわいづくり支援事業(再掲) 【商工振興課】	商店街振興組合などが実施するにぎわいを創出する事業や新たな顧客を獲得するための活動に対する支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
R5年度支援件数:1件 ・平成商店街	多くの商店街が本事業を活用し、賑わいの創出へつながる事業を実施している(H30年度事業開始)。 R3年度:5件、R4年度:2件、R5年度:1件	今後も支援事業を進めていくとともに、商店街等連絡会議などの機会を利用して、各商店街からにぎわいづくり支援に対するニーズを収集する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	33
総合計画ページ	P.82		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	1	都市空間の創出
施策	2	地域公共交通の充実
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 路線バスの運行の維持 ■ 中山間地域における公共交通網の維持 ■ 鉄道の利用促進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課
市内路線バス運行路線数	路線	10	10	10	9	10	90.0	にぎわい交流課
コミュニティバス運行路線数	路線	1	1	1	1	1	100.0	にぎわい交流課
乗合タクシー運行路線数	路線	2	2	2	3	2	150.0	にぎわい交流課
生活交通(バス・乗合タクシー)運行路線のうち小千谷駅停車路線数	路線	12	12	12	12	12	100.0	にぎわい交流課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
生活交通確保対策事業 【にぎわい交流課】	過疎地域路線バス、廃止路線代替バス、循環バスの運行に対する補助	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
廃止路線代替バスや循環バスの運行に対する補助	循環バスの利用者が減少し続けており、公共交通機関としての役割を果たしきれていない。	循環バスに代わる交通手段の提供に向け、実証実験や交通事業者との調整を行いながら最適な交通手段を研究する。

事業名【担当課】	事業概要	
コミュニティバス等運行支援事業 【にぎわい交流課】	コミュニティバス、乗合タクシーの運行に対する補助	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
コミュニティバスや乗合タクシーの運行に対する補助	中山間地域の公共交通の確保について、現状に合わせた移動手段の提供が必要である。	利便性向上に向けた取組を行い、運行を継続していく。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	34
総合計画ページ	P.83		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	1	都市空間の創出
施策	3	居住環境の向上
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 宅地の供給 ■ 公園の整備と適正管理を推進 ■ 公営住宅の適正な戸数確保と長寿命化 ■ 空き家等対策の推進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(% (R5/R7))	担当課
宅地の整備に対する補助区画数(累計)	区画	-	5	28	50	30	166.7	建設課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要		
宅地開発支援事業(再掲)【建設課】	宅地整備に対する補助		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)	
<ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付決定数:2件 ・整備完了区画:22区画(うち12区画はR4年度からの繰越事業) ・区画数累計:50区画(R3年度:25区画、R4年度:3区画、R5年度:22区画) 	<ul style="list-style-type: none"> ・R4年度に補助金交付要件の緩和と補助対象経費の追加を行ったことにより、小規模開発においても活用可能な補助金となっている。 ・良好な居住環境の提供が分譲後の売行きにもつながっている。 ・R6年度も本補助金の活用が見込まれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、周知や丁寧な事前相談を行い、補助制度の活用を促す。 	

事業名【担当課】	事業概要		
都市公園施設整備事業【建設課】	施設の補修、設備の更新		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)	
<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した樹木の剪定 ・トイレ等付属物の維持管理及び修繕 	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した設備や樹木の維持管理、修繕等に多額の費用を要する。また、将来的にトイレのバリアフリー化等の検討が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理や修繕を行う。 ・トイレのバリアフリー化等の検討を行う。 	

事業名【担当課】	事業概要	
公営住宅施設設備事業【建設課】	施設の補修、設備の更新	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度を進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> 外部改修工事(日吉団地住宅) 下原木造住宅(3棟)解体 	高齢者や障がい者が安心して暮らせる住宅の整備と雪国の暮らしに適さない老朽住宅の整理が必要である。	引き続き、老朽化した施設整備の更新と老朽住宅の整理を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
空き家バンク運営事業【商工振興課】	空き家情報の提供と登録物件の斡旋	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度を進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> 空き家新規登録物件:17件 空き家成約件数:10件 	<ul style="list-style-type: none"> 移住や住替え要望が増加している。 購入した中古物件に大規模な改造を行うことで資産価値を高め、売却または賃貸運営によって収益化していく投資が増加している。 	効果的な情報発信により物件の登録数の増加を図り、空き家利活用を促進させる。

事業名【担当課】	事業概要	
空き家等対策事業【防災安全課】	危険な空き家に関する啓発と適正管理の促進	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度を進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> 危険空家1件を特定空家に認定し、所有者に対し助言、指導及び勧告を行った。 危険空家所有者へ対応を促す文書を送付した。 	今後も空家の増加が予想され、空き家バンクへの登録など、危険な状態になる前の対応を啓発する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> 所有者による改善が見込めない場合は、特定空家1件を行政代執行により除却する。 引き続き、市民への啓発を進めるとともに、危険空家所有者に対して状況改善を求める働きかけを継続的に実施する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	35
総合計画ページ	P.85		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	2	快適な生活基盤の整備
施策	1	道路網の整備と維持管理
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 市道・橋りょうなどの整備と維持管理 ■ 国・県道の整備促進 ■ 自動運転技術への対応

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課
市道橋点検件数(累計)	橋	167	38	105	106	179	59.2	建設課
舗装修繕路線率 [※]	%	45.8	47.9	49.0	64.0	50.0	128.0	建設課

※小千谷市道路舗装修繕計画に基づく、修繕を必要とする路線数に占める舗装修繕路線数の割合

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
道路整備事業【建設課】	市道の新設・改良、国・県道の整備を促進するための働きかけ	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
幹線である旭町東栄線と山谷吉谷線の道路改良工事を実施した。城川7号線の冠水対策工事に着手した。	円滑な交通と歩行者の安全確保が必要である。また、異常気象に伴う道路側溝の溢水箇所が増加していることから、道路整備や排水路の断面確保等の対策が急務である。	R5年度に工事着手した路線の早期完工を目指すとともに、引き続き県と連携し、市内のインフラ整備の促進に努める。

事業名【担当課】	事業概要	
道路舗装修繕事業【建設課】	舗装路面の劣化が著しい市道の点検と修繕	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
西小千谷1号線など、道路修繕計画に基づき劣化や損傷の著しい箇所の舗装修繕を実施した。	町内要望箇所やパトロール巡視等による緊急度などを勘案し、道路修繕計画に基づき修繕を実施している。	道路修繕計画に基づき、劣化や損傷の著しい箇所の舗装修繕を実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
橋りょう長寿命化修繕事業【建設課】	市道橋の定期的な点検と修繕	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
市管理の橋梁177橋のうち、川井大橋の点検と修繕実施設計を実施した。	橋梁長寿命化修繕計画に沿って点検と修繕を実施している。	橋梁長寿命化修繕計画に基づく点検及び修繕を実施する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	36
総合計画ページ	P.87		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	2	快適な生活基盤の整備
施策	2	自然と調和し災害に強い河川の整備
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 一級河川の整備促進 ■ 準用河川と普通河川の整備 ■ 水辺の環境美化活動に対する支援

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課
河川整備事業実施箇所(準用河川)	箇所	0	1	2	0	2	0.0	建設課
河川整備事業実施箇所(普通河川)	箇所	0	0	0	1	1	100.0	建設課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
一級河川の整備促進(国、県管理河川)【建設課】	信濃川や表沢川などの整備事業の促進、茶郷川の河川整備計画策定の促進	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
表沢川について、放水路区間が完成し、残工事实施にあたり支障となる鉄塔移設の協議を実施した。茶郷川について、河川整備計画策定に向けて流域協議会及び住民説明会を開催し、治水協議会や地権者、県などの関係者と協議を実施した。	表沢川について、早期完工を県に要望していく必要がある。茶郷川については、河川整備計画の完成と早期着工に向けて国や県との協議を継続するとともに、引き続き地権者の合意形成に努める必要がある。	表沢川について、R6年度に鉄塔の移設を行い、完工が予定されていることから、県と連絡を密にし情報共有を図る。茶郷川については、国や県との継続協議及び地権者や関係者との合意形成に向けた協議を継続する。
事業名【担当課】	事業概要	
河川整備事業(市管理河川)【建設課】	準用河川と普通河川の整備	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
地元要望に基づき現地の詳細確認を行い、河川整備を1箇所実施した。	現在進行中の一級河川表沢川の河川改修が完了した後は、上流部の普通河川表沢川の整備が必要となる。	現地の詳細確認を行った上で河川整備を進める。
事業名【担当課】	事業概要	
環境美化活動支援事業【建設課】	河川環境の保全や美化活動に自主的に取り組む団体に対する支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
一級河川や準用河川の除草業務を関係町内及び団体等から実施していただいた。また、茶郷川治水協議会を通じて、環境整備協議会の活動を支援した。	河川環境の保全や美化に取り組む団体を増やし、河川環境の保全や美化活動に対する市民の意識啓発に努める必要がある。	河川環境の保全や美化活動に対する市民の意識啓発に努める。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	37
総合計画ページ	P.89		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	2	快適な生活基盤の整備
施策	3	都市ガスの安定供給
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 家庭用燃料電池の導入可能性の検討 ■ 需用家サービスの向上 ■ 震災に強い施設整備の推進と保安対策の徹底 ■ ガス事業の民営化の検討

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課
ガス管の耐震化率	%	45.8	46.6	47.4	47.8	47.8	100.0	ガス水道局

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
ガスの需要拡大【ガス水道局】	PR活動の強化、進出企業への営業などによる需要の拡大	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
チラシによるガス機器販売フェア(特別価格による販売)を小千谷管工事協同組合協力のもと10月から11月にかけて開催した。	人口減少や省エネ機器の普及による都市ガス需要の更なる減少が見込まれることから、営業活動の強化と一層の需要家サービスの向上が課題となっている。	関係部署と情報連携を図り、供給区域への進出企業には即座にニーズに応じたガス供給の提案を進め、ガス未使用の既存企業に対しても需要開発を図る。
需要家サービス向上【ガス水道局】	顧客ニーズの把握と即応体制の強化	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
ガス衣類乾燥機料金の割引に関する相談受付等を実施し、更なる需要家サービスの向上に努めた。	電気やプロパンガスなどの他エネルギーとの競争が激化する中、更なる営業力の強化が課題となっている。	他エネルギーとの競争に加え、人口減少も一層進みガス需要の減少が見込まれることから、顧客のニーズを把握し、消費者目線での需要家サービスの向上を進める。
ガス供給設備整備事業【ガス水道局】	本支管耐震化工事、需要家保安対策(経年内管更新の推進)	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
・L=1,498mの本支管耐震化工事を実施した。 ・需要家工事等の工事により、10本の老朽内管を削減した。	本支管耐震化工事や老朽内管の削減による保安対策の更なる推進及び安定した保安体制の計画的な構築が必要となっている。	本支管耐震化工事や老朽内管の削減を計画的に進め、震災などの災害に強い施設整備の推進を図る。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	38
総合計画ページ	P.91		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	2	快適な生活基盤の整備
施策	4	上水道の安定供給
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 震災に強い施設整備の推進 ■ 安定取水の確保 ■ 資産の適切な管理

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課
水道本支管の耐震化率	%	21.3	21.8	22.4	22.8	23.4	97.4	ガス水道局

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
上水道施設耐震化事業【ガス水道局】	主要施設の耐震化工事	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
上水道施設の耐震化を進めるため、国の補助金を活用し、取水塔水管橋の耐震化工事を施工した。	安定給水の確保及び震災などの災害に強い施設の維持を図るため、計画的に設備の更新を進める必要がある。	・国の補助金を活用し、焼田川水管橋の耐震化工事に係る実施設計を策定する。 ・安定給水の確保及び震災などの災害に強い施設の維持を図るため、計画的に施設の更新を進める。

事業名【担当課】	事業概要	
上水道施設整備事業【ガス水道局】	配水管布設、老朽化管路布設替	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
安定供給の確保と保安対策の強化により地震などの災害でも給水を確保するため、L=1,534mの水道管布設替・新設を実施した。	安定給水の確保及び経年管の削減による保安対策の更なる推進を図るため、安定した保安体制の計画的な構築が必要となっている。	安定給水の確保及び老朽管の布設替を計画的に進め、震災などの災害に強い給水施設整備を推進する。

事業名【担当課】	事業概要	
安定取水確保【ガス水道局】	信濃川取水箇所付近の河床調査	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
近年、信濃川の水位が低下していることから、安定取水のため、取水塔廻りの浚渫作業を実施した。	各地点において河床の変動が見られることから、安定取水を確保するため、引き続き監視を進める必要がある。	安定取水を確保するため、引き続き監視を進め、状況に応じて必要な対策を講じる。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	39
総合計画ページ	P.92		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	2	快適な生活基盤の整備
施策	5	下水道施設の適正な維持管理
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 下水道施設の適正な維持管理 ■ 水洗化率の向上 ■ 合併処理浄化槽の普及促進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課
公共下水道事業の水洗化率	%	94.6	95.6	95.9	96.1	95.0	101.2	ガス水道局
農業集落排水事業の水洗化率	%	97.4	97.5	97.5	97.9	97.5	100.4	ガス水道局
合併処理浄化槽の設置数(累計)	基	332	311	312	315	348	90.5	環境共生課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
流域下水道事業【ガス水道局】	流域下水道維持管理負担金	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
新潟県流域下水道施設の維持管理費について、当市分を負担した。	近隣自治体との共同処理によりコスト低減を図っている。今後、流域下水道施設の老朽化による更新工事の増加に伴い、更なる負担の増加が懸念される。	県及び近隣自治体と共同処理している流域下水道について、関係機関と連携を図り、より一層のコスト低減に努める。

事業名【担当課】	事業概要	
公共下水道整備事業【ガス水道局】	汚水管渠補修工事、長寿命化計画による機能強化	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・開発行為などにより下水道管渠の整備が必要となった箇所において、下水道管布設工事を実施した。 ・H29年度作成のストックマネジメント計画により点検を実施した。 	事業は概成しているため、大規模な整備事業の計画はないが、施設の維持管理を効率的に計画し実施していく必要がある。	長寿命化計画に基づき施設の維持管理を効率的に計画し、実施するとともに整備区域内における水洗化率の向上を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
農業集落排水整備事業【ガス水道局】	汚水管渠補修工事、長寿命化計画による機能強化	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・新たな汚水管の布設及び補修工事は無かった。 ・最適整備構想により処理場の更新工事を計画的に実施した。 	事業は概成しているため、大規模な整備事業の計画はないが、施設の維持管理を効率的に計画し、実施していく必要がある。	長寿命化計画に基づき施設の維持管理を効率的に計画し、実施するとともに整備区域内における水洗化率の向上を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
合併処理浄化槽整備事業【環境共生課】	合併処理浄化槽設置補助	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
衛生班長会議での説明や広報おぢやへの掲載などにより合併処理浄化槽設置整備事業補助金の周知を実施し、3基の設置に対して補助金を交付した。	既存住宅の取壊しや新規住宅着工棟数の減少に伴い、合併処理浄化槽を新規で設置する住宅は減少している。	広報等を活用して合併処理浄化槽設置整備事業補助金の周知を継続して行い、普及促進を図る。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	40
総合計画ページ	P.94		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	3	土地利用の推進
施策	1	都市計画の推進
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 都市計画マスタープランの見直し ■ 快適に暮らせる宅地の供給促進 ■ 都市計画道路の整備

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課
宅地の整備に対する補助区画数(累計)	区画	-	5	28	50	30	166.7	建設課
都市計画道路の改良率	%	69.1	71.8	71.8	71.9	71.3	100.8	建設課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
都市計画マスタープランの中間見直し【建設課】	都市計画基礎調査による都市の現況や都市化の動向などを把握及び社会情勢の変化に対応した見直し	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画の基礎調査を実施した。 ・R6年度に予定している都市計画マスタープランの中間見直しに向けて、基礎的情報の収集をR4年度からR5年度にかけて実施した。 	まちづくりの各分野において具体的な計画や事業、施策を確認する必要がある。	これまでに収集した基礎情報を基にして、都市計画マスタープランの中間見直しを行う。

事業名【担当課】	事業概要	
宅地開発支援事業(再掲)【建設課】	宅地の整備に対する補助	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付決定数:2件 ・整備完了区画:22区画(うち12区画はR4年度からの繰越事業) ・区画数累計:50区画(R3年度:25区画、R4年度:3区画、R5年度:22区画) 	<ul style="list-style-type: none"> ・R4年度に補助金交付要件の緩和と補助対象経費の追加を行ったことにより、小規模開発においても活用可能な補助金となっている。 ・良好な居住環境の提供が分譲後の売行きにもつながっている。 ・R6年度も本補助金の活用が見込まれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、周知や丁寧な事前相談を行い、補助制度の活用を促す。

事業名【担当課】	事業概要	
都市計画道路整備事業【建設課】	本町小栗田線の整備促進、木津小千谷停車場線などの整備	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度を進め方 (取組・改善策等)
<p>木津小千谷停車場線について、歩道整備に伴う側溝改良工事L=340mを実施した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本町小栗田線について、一定区間の整備が完了した(県事業)。 ・木津小千谷停車場線について、事業計画期間を短縮できるペースで進捗している。 ・将来整備する路線の選定が必要である。 	<p>木津小千谷停車場線について、早期完工に向けて事業を継続する。</p>

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	41
総合計画ページ		P.96	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	3	土地利用の推進
施策	2	国土調査の推進
施策の基本方針	■ 計画的かつ効率的な調査の推進	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(% (R5/R7))	担当課
地籍調査進捗率	%	26.48	26.69	26.77	26.84	27.02	99.3	建設課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

・地籍調査の成果から修正された登記簿と現代の測量技術を用いて作成された公図が法務局に備え付けられることにより、土地境界の保全や課税の公平性、公共事業の計画又は推進が期待される。さらに近年では災害復旧の迅速化が図られることで、有用性が高まっている。

・比較的土地の活用や異動が多い地区の事業実施により今後の土地の利活用において、土地の調査の省力化や効率化が期待できる。

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
国土調査事業【建設課】	国土調査法に基づく地籍調査	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> 第32計画区(本町1・城内1・元町・日吉2)の地籍簿や地籍図を作成し、成果を確認した。 第33計画区(千谷川1～2・元町・本町1・城内2)の現地立会いや測量を行った。 第35計画区(城内2)の事前調査を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 能登半島地震による影響で、第33計画区の原因作成と地籍測定業務を繰越した。 地籍の小さい筆が多い市街地の調査であるため、進捗率の伸び率が小さい。 能登半島地震の影響により基準点の値が大きく変化したため、地震発生前の測量成果データを使用するために再度検証測量を実施する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 国の国土調査事業十箇年計画に基づき、県が作成する事業計画のもと、確実な事業進捗を図る。 認証申請を行うための補正(検証測量)を実施した上で、認証の再申請を行う。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	42
総合計画ページ	P.98		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	5	自然を活かした調和と安心のまちづくり(防災、環境、克雪)
基本方針	1	安全な市民生活の確保
施策	1	危機管理体制の強化
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 中越大震災の経験と教訓の継承 ■ 防災意識の啓発と組織強化 ■ 風水害に備える意識の啓発と情報発信 ■ 大規模災害の緊急応急対策や復旧作業のための体制強化 ■ 原子力防災知識の向上 ■ 各種計画・各種マニュアルの見直し <ul style="list-style-type: none"> ■ 防災施設整備の検討 ■ 耐震改修の促進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課
自主防災会による訓練実施数	回	29	14	22	22	40	55.0	防災安全課
緊急情報メール配信サービス登録者数	件	4,824	5,412	5,494	5,541	5,500	100.7	防災安全課
戸建住宅の耐震化率	%	74.6	75.6	75.7	75.9	85.0	89.3	建設課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
防災訓練実施事業【防災安全課】	総合防災訓練・地区別防災訓練・原子力防災訓練の実施	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
自助や共助による災害初動体制の強化を目的とする地区別防災訓練(岩沢地区)を実施した。	訓練参加者が自主防災組織の役員に偏る傾向があり、若者の参加を促す必要がある。 また、親子で参加できるような仕組みを作る必要がある。	・自主防災会や消防団、防災関係機関の相互の連携強化と自助や共助による災害初動体制の強化を目的とした総合防災訓練を実施する。 ・誰でも参加でき、楽しめるような体験型訓練を増やす。
事業名【担当課】	事業概要	
中越大震災ネットワークおぢや研修事業【防災安全課】	中越大震災ネットワークおぢやを通じた住家の被害認定調査などの研修の実施による災害時の対応力の向上と相互支援が可能となるネットワークの構築	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
6月と9月に会員向け研修会を開催した(実地研修会に94名、オンライン研修会に99名が参加)。被災地において研修の成果が発揮されている。	会員数が90となり研修会の需要は高まっているが、事務負担が大きく、通常業務に影響を及ぼしている。	一部業務の外部委託を含め、負担軽減策を検討しつつ、例年の規模により研修会を実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
(仮称)防災センター整備事業 【防災安全課】	備蓄倉庫や支援物資の集配場所、避難所、防災学習の機能を備えた防災施設の整備	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度を進め方 (取組・改善策等)
(仮称)防災センター整備事業について、パブリックコメントを実施した。また、設計競技により基本計画及び仕様書に沿った設計案を選定し、基本設計・実施設計を進行している。	緊急防災・減災事業債の適用事業期間が令和7年度までであるので、令和6年度7年度で(仮称)防災センターを整備する計画である。	基本設計・実施設計を終了し、令和6年秋に工事に着手する。 また、平時は体育館としての使用が主であり、施設の管理等について検討を始める。
事業名【担当課】	事業概要	
木造住宅耐震診断・改修・設計等補助事業【建設課】	木造住宅耐震診断費補助、耐震改修設計・工事費補助、部分補強費補助	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度を進め方 (取組・改善策等)
補助事業申請件数 3件 (耐震診断2件、耐震改修設計1件、工事費補助1件)	対象建築物の所有者の多くが高齢者であり、耐震化への意欲が低いことや資金面が要因となり、利用件数が増加しないと考えられる。	耐震診断及び改修の必要性を認識してもらったため、全町内会へ回覧を依頼する(周知を住宅所有者に限定しない。)

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	43
総合計画ページ	P.101		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	5	自然を活かした調和と安心のまちづくり(防災、環境、克雪)
基本方針	1	安全な市民生活の確保
施策	2	消防・救急体制の充実
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 消防車両、装備、消防施設の充実と関係機関との連携 ■ 住宅防火対策の推進 ■ 救急体制の強化 ■ 消防団員の確保と活動しやすい環境の整備

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課
火災出火率/1万人	件	4.26	2.64	2.67	2.42	2.56	-	消防本部
出火件数	件	15	9	9	8	9	-	消防本部
死傷者数	人	4	2	1	2	0	-	消防本部
死傷者数(死者数)	人	0	1	0	0	0	-	消防本部
住宅用火災警報器設置率	%	87.0	81.0	85.0	77.0	98.0	78.6%	消防本部
住宅用火災警報器設置率(条例適合設置率)	%	65.0	62.0	58.0	60.0	95.0	63.2%	消防本部

※住宅用火災警報器設置率は、条例適合設置と一部設置を含むものをいい、条例適合設置率は火災予防条例に基づき設置が義務付けられている住宅部分すべてに設置されているものをいう。

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
消防施設整備事業【消防本部】	消防車両などの充実、通信指令施設の更新、消防水利施設の設備、広範囲大規模火災対応訓練の実施	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
消防団積載車(二俣)1台を更新、耐震性貯水槽(城内)1基を新設し、消防力の充実を図った。	広範囲大規模火災対応のため、長岡消防との合同訓練の実施や小千谷重機会との災害応援協定を締結し、防災力の強化を図ることができている。	小千谷市総合防災訓練(西地区:小千谷総合病院)において自主防災会、消防団、魚沼地区生コン組合及び小千谷重機会と連携する訓練を企画し、課題を検証する。

事業名【担当課】	事業概要	
住宅防火対策推進事業【消防本部】	住宅用火災警報器の適合設置率の向上、住宅防火モデル地区の指定、高齢者に対する防火指導	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
・住宅用火災警報器の条例適合設置率の向上に向け、住宅防火モデル地区(旭町)に対して説明会を実施した。 ・市ホームページや広報誌、「わが街NAVI」等を活用し、普及啓発活動を行った。	・住宅用火災警報器の設置率向上が急務である。 ・設置から10年以上経過している機器の更新や定期的な点検について、市民に対して周知する必要がある。	更なる条例適合設置率の向上のため、市ホームページへの掲載や出前講座等を活用して、普及啓発活動を展開する。

事業名【担当課】	事業概要	
救急業務高度化推進事業【消防本部】	救急車・高度救命資器材の充実、救急(救命)講習の推進、救命サポート事業の促進	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度を進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> 救急講習会(普通救命講習14回51名、救急講習入門含む46回、856名受講)を開催した。 救命サポート事業については市内120事業所から賛同をいただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症が5類へ移行され、救急講習会の実施回数及び受講者が増加している。 救命サポート事業は昨年と同数となっている。 	<p>新型コロナウイルス感染症流行以前と同様の事業内容に戻し、救命率向上のため救急(救命)講習会の実施及び予防救急の啓発を行い、救命率の向上につなげる。</p>

事業名【担当課】	事業概要	
消防団整備事業【消防本部】	消防団員の加入促進、活動環境の整備	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度を進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> 消防団員の年額報酬引き上げを行い処遇改善を図った。 消防団員活動服を15年ぶりに更新し、高視認性活動服を導入し、夜間活動時等の安全性の向上となったほか、消防団員のイメージアップにつながった。 消防団員実員数585名 (R6年3月31日調査時点、前年比12名減) 	<p>消防団員数の減少に歯止めがかからず、地域防災力の低下が懸念されるため、PR活動によるイメージアップや事業内容等の見直し等を実施し、団員の負担軽減を検討する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> SNSや市役所、大型商業施設の電子掲示板を活用して消防団員のPR活動を実施する。 R8年度から施行される第五次消防団整備計画に向けて、条例定数や車両数、事業内容等の見直しについて検討を始める。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	44
総合計画ページ	P.103		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	5	自然を活かした調和と安心のまちづくり(防災、環境、克雪)
基本方針	1	安全な市民生活の確保
施策	3	交通安全と防犯の推進
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 交通安全の推進 ■ 交通安全施設の整備 ■ 防犯の推進 ■ 消費者行政の推進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(% (R5/R7))	担当課
交通事故発生件数	件	54	47	29	41	50	-	防災安全課
交通事故による死傷者数(死者)	人	3	0	0	1	0	-	防災安全課
交通事故による死傷者数(傷者)	人	62	57	37	46	60	-	防災安全課
消費生活相談の開設日数	日	240	240	240	240	240	100%	市民生活課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
交通安全推進事業【防災安全課】	交通安全運動の実施、交通安全教室の実施などの啓発活動	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
交通安全運動や交通安全教室を実施し、交通ルールへの順守と正しい交通マナーの実践を促進した。	R5年に発生した交通事故のうち、高齢者の死傷事故が5割以上を占めているため、今後も高齢者に対する交通安全活動に注力する必要がある。また、自転車乗車用ヘルメット着用の努力義務化について、周知啓発する必要がある。	各種交通安全運動などの機会を捉えて周知啓発を実施するほか、引き続き交通安全教室を実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
交通安全施設整備事業【防災安全課】	カーブミラー資材支給、道路区画線整備、ガードレール設置・修繕	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
交通安全協会各支部から延べ12件のカーブミラー資材支給申請があり、支給を行った。	交通安全協会等関係機関と連携し、危険個所の改善を継続していく必要がある。	交通安全協会等関係機関と連携し、カーブミラー資材支給等を通して、危険個所の改善を継続する。

事業名【担当課】	事業概要	
防犯対策事業【防災安全課】	防犯灯設置のための補助、通話録音装置の貸与、犯罪被害防止のための啓発活動	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
防犯灯や防犯カメラ設置、防犯活動のための補助、通話録音装置貸与等を実施し、犯罪被害の防止のための啓発を進めた。また、犯罪被害者等見舞金支給制度を開始した。	特殊詐欺被害の防止に努めているが、新たな詐欺手口について知識を得ることや周知をしていくことが求められている。	引き続き、防犯灯や防犯カメラ設置、防犯活動のための補助、通話録音装置貸与等を実施する。また、市内で不審電話等が発生した際にSNSやHPを活用し、迅速な注意喚起に努める。

事業名【担当課】	事業概要	
消費者行政事業【市民生活課】	消費生活相談・無料法律相談の開設、消費生活被害防止のための啓発活動	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・63件の消費生活相談に対応した。 ・高齢者や総合支援学校の生徒を対象とした啓発講座を開催した。 ・市内の高校生及び「おぢやつつみwithWISH」利用の若年層を対象に啓発冊子の配付を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数が年々減少している(R4:78件→R5:63件)。 ・高齢者や成人年齢引き下げに対応した啓発に引き続き注力する必要がある。 ・SNS(ソーシャルネットワークサービス)による詐欺被害の相談が増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活相談窓口のさらなる周知を行う。 ・高齢者の被害防止のための啓発活動のほか、成人年齢引き下げに対応した若年層への啓発を継続して行う。 ・SNSによる詐欺被害防止の啓発に取り組む。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	45
総合計画ページ	P.105		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	5	自然を活かした調和と安心のまちづくり(防災、環境、克雪)
基本方針	2	自然と共生する循環型社会の推進
施策	1	自然環境との共生
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 自然や生態系の保全と啓発 ■ 快適な生活環境の保全と創造 ■ 環境に関する調査・監視の実施 ■ 地球環境に関する啓発 ■ 有害鳥獣対策の推進 ■ 省エネルギーの推進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(% (R5/R7))	担当課
森林の保全運動参加者数	人	349	295	350	316	300	105.3	農林課
省エネ設備(LED照明)導入施設数	施設	9	9	9	10	11	90.9	建設課
多自然型水路の整備延長	人	2,813	2,835	2,835	2,835	2,900	97.8	建設課
小千谷猟友会会員数	人	18	18	19	21	18	116.7	環境共生課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
環境啓発事業【環境共生課】	環境基本計画の年次報告作成と公開、環境意識の啓発	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・年次報告書「小千谷市の環境」を小千谷市環境審議会委員の意見を踏まえて作成し、公表した。 ・広報誌や出前講座を通じて、環境に対する意識啓発を図った。 	環境審議会委員から指摘のあった事項(環境基準を超えている指標等)や未対応事項への対策を行う必要がある。	引き続き、環境基本計画に基づき関係課による環境保全や環境意識の啓発等の事業を進める。
省エネルギー設備導入推進事業【環境共生課】	公共施設における省エネルギーの推進、低燃費・低排出ガスの公用車の導入	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
R5年度は総合体育館や保育園(9園)、学校給食センターなどの照明をLEDに改修した。	市の事務や事業における温室効果ガス排出量の削減目標(2030年度に2013年度比50%削減)達成には、更なる省エネの取組が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・順次、公共施設の照明のLED化を進める。 ・低燃費、低排出ガスの公用車導入については、車両更新時に電気自動車への更新を検討する。

事業名【担当課】	事業概要	
環境うるおい事業基金事業 【企画政策課】	信濃川の河川環境の維持向上など、環境との調和を図るための事業の実施	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
市民生活と環境との調和を図るため、基金を活用して環境保全対策事業などを実施した。 ・事業数:9事業	河川環境をはじめとした自然環境の維持向上や環境との調和を図るために必要な事業を実施することができている。	引き続き、基金を活用して環境保全対策事業等を実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
有害鳥獣対策事業 【農林課/環境共生課】	関係機関との連携による、有害鳥獣の捕獲、駆除を行う人材の確保・育成に対する支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・わなや銃器による捕獲、駆除を行った。 ・人材の確保や育成に対する支援として、「小千谷市有害鳥獣捕獲担い手緊急確保事業補助金」を創設した。2件の申請があり、2名が新たに猟友会へ入会した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目撃情報及び被害情報の件数と比較して、捕獲、駆除の件数が少ない。 ・少雪の影響でイノシシなどの個体数増加が懸念される。 ・クマによる給餌器被害が増加傾向にある。 ・補助金の創設が新たな担い手の確保につながっているが、若手の人材確保や育成には時間を要する。 	<p>【農林課】</p> <p>引き続き、関係機関との連携により適正かつ計画的な有害鳥獣の捕獲や駆除を行う。また、研修機会の提供等を図り、今後も継続して人材の確保や育成に努める。</p> <p>【環境共生課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携により効率的かつ効果的な捕獲や駆除を計画的に行う。 ・R5年度に創設した補助金について継続的に周知を行い、人材の確保や育成に努める。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	46
総合計画ページ	P.108		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	5	自然を活かした調和と安心のまちづくり(防災、環境、克雪)
基本方針	2	自然と共生する循環型社会の推進
施策	2	資源リサイクルの推進
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ ごみの減量化と再資源化の推進 ■ 不法投棄対策の推進 ■ 衛生施設の適正管理と今後の基本方針策定

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標		単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課	
ごみ排出量	燃やすごみ	t	11,050	10,881	11,156	10,623	7,988	-	環境共生課	
	埋め立てごみ	t	838	849	804	771	574	-	環境共生課	
	資源ごみ	t	2,149	1,982	1,960	1,808	2,589	-	環境共生課	
	計	t	14,037	13,712	13,920	13,202	11,151	-	環境共生課	
資源物集団回収量	古紙類	新聞	t	170	129	134	99	296	33.4	環境共生課
		雑誌・チラシ	t	245	183	183	132	426	31.0	環境共生課
		ダンボール	t	98	86	89	71	171	41.5	環境共生課
		牛乳パック	t	1	0	0	0	2	0.0	環境共生課
		計	t	514	398	406	302	895	33.7	環境共生課
	金属類	アルミ	t	2	1	1	1	3	33.3	環境共生課
		スチール	t	1	1	1	1	2	50.0	環境共生課
		計	t	517	400	408	304	900	33.8	環境共生課
	古紙分別回収量	新聞	t	119	133	122	122	202	60.4	環境共生課
		雑誌・チラシ	t	237	218	207	206	403	51.1	環境共生課
ダンボール		t	115	125	120	126	195	64.6	環境共生課	
計		t	471	476	449	454	800	56.8	環境共生課	
一人1日あたり排出量		g	1,099	1,109	1,140	1,095	900	-	環境共生課	
リサイクル率		%	18.4	17.1	16.5	16.0	23.0	69.6	環境共生課	

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
ごみ減量化・再資源化事業【環境共生課】	3R運動、古紙の分別回収、おぢやのごっつお食べ切り運動、資源物集団回収に対する支援、生ごみ処理機器の購入に対する補助	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> 資源物集団回収で古紙類302t、金属類1.5tの計303.5tを回収した。 3R運動については、ごみそのものを減らすため、様々な媒体で取組を周知している。 古着や靴、鞆、食器類等のリサイクル回収では古着類を10t、食器類を4t回収した。 おぢやのごっつお食べ切り運動は旅館組合及び飲食連合会合へのポスター掲示依頼と、市HPでの啓発により実施した。 生ごみ処理機器購入費補助については、電動生ごみ処理機1台と堆肥化容器14台の購入に対して補助金を交付した。 	<ul style="list-style-type: none"> ごみ排出量や資源ごみの量が減少し、全体的に減量となった。 家庭系ごみが著しく減少し、事業系ごみの減少幅が少ないことについては、新型コロナウイルス感染症が収束し、家庭外での活動が増加したことによる影響だと考えられる。 生ごみ処理機器購入費補助金の申請件数が少ないため、PRの工夫や補助対象機器の見直しなど、引き続き申請件数増加につながる取組が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ごみの増減については、社会情勢や人口動態によっても左右されるため、引き続き、ごみの減量化とリサイクルの推進につながる意識啓発を様々な媒体を活用して実施する。 事業系ごみが減少しないことがごみ総排出量の底上げにつながっていることから、事業所に対する啓発を強化する。 生ごみ処理機器購入費補助金の申請件数増加のため、小千谷市生ごみ処理減量化対策補助金交付要綱をより活用しやすい制度に改正するとともに販売店舗等と連携したPRや広報の回数を増やす等、PR強化に努める。

※3R運動...Reduce(リデュース:ごみの発生を抑えること)、Reuse(リユース:物を繰り返し使うこと)、Recycle(リサイクル:ごみを資源として再利用すること)に取り組むこと

事業名【担当課】	事業概要	
環境衛生向上事業【環境共生課】	ごみ収集場所の整備に対する補助、不法投棄やごみの野焼きの監視、ごみゼロ運動	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ごみ収集場所7か所に対して補助金を交付した。 不法投棄巡回パトロールを実施したほか、衛生班長連絡協議会と連携して不法投棄実態把握調査を実施し、原状回復に努めた。 野焼きに関して、禁止の啓発や関係機関と連携して現場指導を行った。 4月と5月の最終日曜日(一斉清掃行動日)にごみゼロ運動を実施し、5,545人の参加があった。また、その他の日(4~11月まで)にも4,420人の参加があり、年間で合計9,965人の参加があった。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境衛生向上のために様々な手法で意識啓発を図り、環境美化につなげることができている。 大小問わず、不法投棄やごみの野焼きが後を絶たないことから、関係機関と連携し、減少につながる取組を実施する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄やごみの野焼きが後を絶たないことから、パトロールの強化や意識啓発を工夫する等、減少につながる取組を実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
衛生施設整備事業【環境共生課】	ごみ・し尿処理施設の設備更新、焼却灰などの最終処分委託、施設整備基本方針の策定	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> R元年度に策定した長寿命化総合計画に基づき焼却処理施設及び不燃ごみ処理施設の計画的な維持修繕を実施した。 し尿処理施設維持修繕については、H24年3月に策定した長寿命化計画に基づき維持修繕を行った。 焼却灰や不燃残渣については、全量を県外の最終処分場に委託搬出した。 時水清掃工場の老朽化に伴い、次期焼却処理施設基本構想を策定した。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常的に各処理施設の設備の営繕に努め、概ね良好な状態を維持している。 老朽化が著しい衛生センター清流園の今後の施設整備方針について検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、長寿命化計画等に基づく施設維持に努める。 次期焼却処理施設基本構想に基づく検討を進め、用地選定を行う。 衛生センター清流園の今後の施設整備方針やし尿処理の今後の在り方について検討を進める。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	47
総合計画ページ	P.111		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	5	自然を活かした調和と安心のまちづくり(防災、環境、克雪)
基本方針	2	自然と共生する循環型社会の推進
施策	3	再生可能エネルギーの推進
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域特性を活かした再生可能エネルギーの導入 ■ 再生可能エネルギーによる地域産業の活性化 ■ 環境に関する意識の醸成

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課
公共施設における再生可能エネルギー導入施設数	施設	1	1	2	2	3	66.7	環境共生課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
再生可能エネルギー導入推進事業【環境共生課】	公共施設・地域産業における再生可能エネルギー設備の導入、環境に配慮した公用車の導入、雪冷熱を活用した地域産品ブランド化と都市間交流の推進	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
図書館等複合施設に地中熱と貯雪を利用する空調設備及び太陽光発電設備の導入準備を進めた。	市の事務や事業における温室効果ガス排出量の削減目標(2030年度に2013年度比50%削減)達成には、更なる再エネの導入が必要である。	図書館等複合施設に地中熱と貯雪を利用する空調設備及び太陽光発電設備を導入する。
事業名【担当課】	事業概要	
環境啓発事業【環境共生課】	再生可能エネルギーに関する学習・教育機会の充実	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
新潟県と連携し、「しゃっこいまつり」でブースを出展して参加者に脱炭素の意識啓発を行った。	再エネ設備の導入効果を市民や事業者等にPRする必要がある。また、個人でもできる脱炭素の取組を周知する必要がある。	再生可能エネルギー設備の導入効果をPRし、理解促進を図る。また、新潟県と連携し、市民に向けた啓発事業を行う。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	48
総合計画ページ	P.113		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	5	自然を活かした調和と安心のまちづくり(防災、環境、克雪)
基本方針	3	暮らしやすい雪国生活の推進
施策	1	冬期間交通の確保
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 機械除雪体制の整備 ■ 消雪パイプリフレッシュ事業の推進 ■ 消雪パイプ整備事業の実施 ■ 流雪溝の安定使用のための対策の推進 ■ 雪崩危険箇所における安全対策の推進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(% (R5/R7))	担当課
消雪パイプ布設替え延長(H21からの累計)	施設	14.2	16.0	16.6	17.2	19.0	90.5	建設課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

消雪パイプのノズル等の修繕 25,117,356円

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
除雪機械更新事業【建設課】	ロータリ除雪車などの更新	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
凍結防止剤散布車を購入した(1台 22,839千円)。	・R5年度に凍結防止剤散布車(1台)を更新した。 ・購入後30年を経過したドーザが2台あり、動作状況をみながら更新の検討を進める必要がある。	引き続き、除雪機械の更新を検討する。

事業名【担当課】	事業概要	
消雪パイプ整備事業【建設課】	消雪パイプ未整備路線における新設	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
新規布設597m 24,849,000円 (西部工業団1号線、末広町山屋線) 増設126m 7,344,700円 (元町千谷線ほか6路線)	・利用組合等が新規に井戸を削井し、水量を確保した上で市が消雪パイプを布設している。 ・既設路線のうち、交差点など雪の消えが悪い箇所のメインパイプを増設している。	交差点部など雪の消えが悪い箇所について、メインパイプ増設を実施する予定である。

事業名【担当課】	事業概要	
消雪パイプリフレッシュ事業【建設課】	経年劣化した消雪パイプの布設替え	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
布設替620.65m 33,117,700円 (鴻巣町裏線)	計画的に消雪パイプリフレッシュ事業(布設替)を実施している。	本町山本山線の消雪パイプリフレッシュ事業を実施する予定である。
事業名【担当課】	事業概要	
融雪施設整備助成事業【建設課】	消雪パイプの電気料や消雪用井戸の掘替えなどに対する補助	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
電気料補助 335件 36,450,000円 井戸掘替え等補助 14件 16,173,000円	予算計上外の新規の井戸掘替え等の要望への対応については、次年度に予算を確保し実施している。	予算計上をしていない井戸のポンプ交換等の要望については、優先順位をつけて実施する。
事業名【担当課】	事業概要	
流雪溝安定使用対策事業【建設課】	取水障害対策や送水管更新などの促進	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
漏水のあったJR導水管路や弥生団地流雪溝の取水口を修繕した。	ポンプや管路が老朽化しているが、その取替えには高額な費用がかかるため、不具合が生じた箇所を優先的に修繕している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプや管路で不具合が生じた個所を優先的に修繕していく。 ・新しいひ生揚水機場が供用開始となるが、元町揚水機場において取水不良が生じていることを県に伝えて、早期建替えにつなげる。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	49
総合計画ページ		P.115	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	5	自然を活かした調和と安心のまちづくり(防災、環境、克雪)
基本方針	3	暮らしやすい雪国生活の推進
施策	2	雪国生活の充実
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 雪と親しみ、雪と共生する意識の醸成 ■ 克雪住宅の普及促進 ■ 高齢者対応型投雪口の整備 ■ SOS雪おろし支援事業における作業会員の確保

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課
※一戸建住宅数:10,230戸								
克雪住宅普及率(補助制度利用件数)	件	2,771	2,821	2,844	2,860	3,100	92.3	建設課
克雪住宅普及率	%	27.9	28.0	28.0	28.0	31.2	89.7	建設課
高齢者対応型投雪口設置数	か所	399	420	445	469	450	104.2	建設課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

【建設課】
命綱固定アンカー普及促進事業:補助申請件数6件

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
克雪フェア開催【建設課】	克雪フェアの継続実施	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・初めて防災公園において開催した。 ・除雪機試乗体験等を行った。 ・利雪や克雪に対する意識啓発のため「体験」を主軸にイベントを組み立て、親子連れをメインに来場があった(来場者数7,000人)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来場者が会場に滞留する時間を延ばすために、広大な敷地を有効活用する必要がある。 ・利雪や克雪に対する意識啓発をより促すイベント内容の検討が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利雪と克雪に対する意識向上のため、時勢のニーズにあったイベント内容に見直し、充実を図る。 ・市制施行70周年及び中越地震震災復興記念祭との連携を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
克雪すまいづくり支援事業【建設課】	融雪型、落雪型、耐雪型などの住宅屋根の整備に対する補助	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
補助申請件数:16件 (融雪式2件、落雪式11件、耐雪式3件)	暖冬小雪傾向にある中、屋根雪処理に対する意識が低下しており、豪雪時の屋根雪下ろしの危険性について周知を図る必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・屋根雪下ろし時の危険性を含め、克雪住宅化の必要性を発信する。 ・引き続き、制度の周知を図り、事業を推進していく。

事業名【担当課】	事業概要	
除雪支援事業【福祉課】	低所得者の高齢者世帯、母子世帯、障がい者世帯などに対する除雪サービス券の交付などの支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<p>高齢者世帯への除雪援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象世帯 372世帯 ・実施世帯 44世帯 ・延実施世帯 107世帯 <p>障がい者世帯への除雪援助※</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象世帯 17世帯 ・実施世帯 0世帯 ・延実施世帯 0世帯 <p>母子世帯への除雪援助※</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象世帯 3世帯 ・実施世帯 0世帯 ・延実施世帯 0世帯 <p>※社会福祉協議会での実施事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員・児童委員と連携し、支援が必要な世帯の把握に努める必要がある。 ・高齢者世帯や高齢者ひとり世帯は増加傾向にあり、引き続き除雪援助が必要である。 ・高齢者世帯については、除雪業者一覧のリーフレットを作成し、配布した。除雪の依頼が可能な業者を周知することで、安全で安心な除排雪体制を拡充した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬期間における生活の安全確保のため、自力で除雪が困難な高齢者世帯や障がい者世帯、母子世帯などを対象として引き続き、除雪支援を行う。 ・除雪業者一覧のリーフレット作成と配布を継続する。
事業名【担当課】	事業概要	
高齢者対応型投雪口設置事業【建設課】	高齢者などが利用しやすい観音開き型の投雪口の設置	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<p>投雪口の設置調査を24箇所で行い、24箇所に観音開き型の投雪口を設置した。</p>	<p>近年の極端な降雪状況の中、日中において高齢者や女性だけとなる世帯の実情を考慮し、対応している。</p>	<p>設置基準を基に対象世帯を設定するとともに、各町内からの要望状況(考慮すべき事情)を踏まえながら、事業を推進する。</p>

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	50
総合計画ページ	P.118		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	6	ふれあい、にぎわい、暮らし続けたいまちづくり(交流、市民参加)
基本方針	1	交流・移住・定住の推進
施策	1	移住・定住人口の拡大
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 移住・定住情報の発信 ■ 移住に関するニーズの把握と移住者に対する支援 ■ U・Iターンの推進 ■ 地域おこし協力隊制度の活用

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(% (R5/R7))	担当課
移住定住情報ポータルサイト閲覧件数	件/月	207	2,038	2,182	1,190	2,500	47.6	商工振興課
空き家バンク新規登録件数	件/年	7	10	11	17	10	170.0	商工振興課
空き家バンク成約件数	件/年	5	8	5	10	10	100.0	商工振興課
地域おこし協力隊受入者数	人	18	22	24	28	30	93.3	にぎわい交流課
地域おこし協力隊定住者数	人	15	17	19	21	25	84.0	にぎわい交流課
転入者に対する住宅取得補助件数	件/年	24	19	19	30	25	120.0	建設課
学生(高校生～大学生)の市内就職者数	人/年	-	107	159	150	40	375.0	商工振興課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
移住・定住PR事業【商工振興課】	移住定住情報ポータルサイトによる情報発信	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
市ホームページを随時更新した(移住ポータルサイトはR3年度から市ホームページへ統合)。	ニーズやターゲットに即した情報を発信することや更新頻度及び情報発信件数の少なさが課題である。	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズに即した内容となるように関連事業との連携を図る。 ・SNSの更新頻度向上を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
移住者・転入者支援事業【商工振興課】	移住サポーターの委嘱	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
移住サポーター2名委嘱(相談件数0件)	<ul style="list-style-type: none"> ・移住サポーター制度の周知が不足している。 ・サポート内容が移住希望者のニーズに即していない。 	制度の必要性を検証するとともに、発信媒体(SNS)の見直しを行う。

事業名【担当課】	事業概要	
移住支援事業【商工振興課】	移住セミナー・移住相談会などの開催、移住希望者に対するマンツーマンでの対応	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
移住相談会・セミナーへの参加6回(うちオンライン参加2回 計7日)	引き続き、移住検討者は増加傾向にあり、漠然と移住を考えている層を取り込むためにも、移住セミナーへの継続参加が必要である。	セミナー等の積極的参加を通じて、新型コロナウイルス感染症収束後の移住希望者のニーズや意識、動向を把握するとともに当市の知名度向上と移住施策への反映に努める。
事業名【担当課】	事業概要	
空き家バンク運営事業(再掲) 【商工振興課】	空き家情報の提供と登録物件の斡旋	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
・空き家新規登録物件:17件 ・空き家成約件数:10件	・移住や住替え要望が増加している。 ・購入した中古物件に大規模な改造を行うことで資産価値を高め、売却または賃貸運営によって収益化していく投資が増加している。	効果的な情報発信により物件の登録数の増加を図り、空き家利活用を促進させる。
事業名【担当課】	事業概要	
定住促進事業(再掲)【建設課】	転入者や子育て世代に対する住宅取得補助	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
補助金申請者件数 88件 ・転入者 30件(うち子育て世代26件) ・子育て世代 57件(上記転入者を含まない)	申請者数は目標値を超えた。引き続き、制度の周知に努めたい。	対象者へ確実に情報が届くように広報紙やホームページ、SNS等を活用し、制度の周知徹底を図る。
事業名【担当課】	事業概要	
地域おこし協力隊推進事業 【にぎわい交流課】	地域おこし協力隊の活用による移住・定住促進事業	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
・活動隊員6人(企業連携型含む) ・地域おこし協力隊退任後の定住率72.7%(R5年度末16人/22人) 【参考】全国平均64.9%(R5.3.31)	全国平均より高い定住率を維持できている。受入団体とコミュニケーションを密に取り、良好な関係を築いている。	目標の9人採用に向けて受入団体と相談しながら募集内容の具体化を図る。目に留まるPR活動を行う。
事業名【担当課】	事業概要	
「おぢや夢・ミライ応援団」による就労支援事業(再掲)【商工振興課】	産学官の連携により、若者の地元就労を促進	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
・インターンシップ受入調査:市内企業159社 ・インターンシップ受入仲介:4名 ・おぢやしごと未来塾開催:1回	市外の高等教育機関へ周知を行ったことにより、インターンシップの受入仲介がR4年度から3名増加した。	R5年度に引き続き、高等教育機関へ就職支援事業の周知を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
「小千谷未来パスポート」によるU・Iターン促進事業(再掲)【商工振興課】	首都圏などの高等教育機関などとの連携により若者のU・Iターン就労を促進	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度を進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・U・Iターン学生就職活動支援事業補助金申込:3件 ・長岡定住自立圏事業:3回 (インターンシップガイダンス・高校生のための企業フェス・就職ガイダンス) 	<ul style="list-style-type: none"> ・U・Iターン学生就職活動支援事業補助金の制度を拡充し、チラシ等を用いて周知を強化した。 ・長岡定住自立圏事業との連携により市内企業の認知向上が図られた。 	<p>U・Iターン学生就職活動支援事業補助金の認知向上のため、企業ガイドブックや就職支援サイト、各種SNSを活用して周知を図る。</p>

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	51
総合計画ページ	P.121		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	6	ふれあい、にぎわい、暮らし続けたいまちづくり(交流、市民参加)
基本方針	1	交流・移住・定住の推進
施策	2	都市間交流の推進と関係人口の拡大
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 関係人口の拡大 ■ 多様な都市間交流の推進 ■ 交流拠点の魅力の向上

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課
教育体験旅行延受入者数	人/年	3,432	0	0	0	4,000	0.0	にぎわい交流課
教育体験旅行学校数	校/年	12	0	0	0	15	0.0	にぎわい交流課
教育体験旅行受入家庭登録世帯数	世帯	59	54	54	-	70	-	にぎわい交流課
小千谷クラインガルテンふれあいの里滞在型農園の利用区画数	区画	22	30	30	29	30	96.7	にぎわい交流課
市民の家年間利用件数	件	812	573	665	650	1,200	54.2	にぎわい交流課
(内訳) 日帰り	件	240	192	252	204	350	58.3	にぎわい交流課
(内訳) 宿泊	件	572	381	413	446	850	52.5	にぎわい交流課
市民の家年間利用者数	人	15,084	5,698	6,349	8,199	21,000	39.0	にぎわい交流課
(内訳) 日帰り	人	10,607	3,695	4,198	5,115	14,600	35.0	にぎわい交流課
(内訳) 宿泊	人	4,477	2,003	2,151	3,084	6,400	48.2	にぎわい交流課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
小千谷市支援団体設立支援事業【にぎわい交流課】	市内出身者やふるさと納税利用者などによる支援団体の設立、運営に対する支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
おちやLINK の運営支援 (LINE登録者数256人、Instagramフォロワー609人、Xフォロワー140人)	杉並区などに住んでいる新潟県出身者とのつながりを作りながら、継続的に販売促進を行っている。	R5年度までは運営委託により支援していたが、R6年度からは(一財)小千谷市産業開発センターの自主事業として実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
農村都市共生事業【にぎわい交流課】	教育体験型交流やグリーンツーリズムによる都市との交流推進	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
市グリーンツーリズム推進協議会の解散に伴う事業の廃止	新型コロナウイルス感染症の流行により3年間交流を休止したこともあり、受入家庭が大幅に減少し、学校等団体の受入ができなくなった。	農業法人での体験受入等、実施可能な事業を継続していく。

事業名【担当課】	事業概要	
交流拠点施設整備事業 【にぎわい交流課】	市民の家やクラインガルテンふれあいの里の整備	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度を進め方 (取組・改善策等)
施設の魅力維持のため、給湯器等必要な設備の更新を実施した。	施設の老朽化に対応した計画的な修繕を実施する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化を図るため、設備更新を計画的に進めていく。 ・ラウベの短期利用により新たな利用者層を掘り起こしていく。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	52
総合計画ページ		P.123	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	6	ふれあい、にぎわい、暮らし続けたいまちづくり(交流、市民参加)
基本方針	1	交流・移住・定住の推進
施策	3	国際交流の促進
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 国際交流団体との連携強化 ■ 国際交流による人材育成 ■ 在住外国人に対する支援 ■ 海外留学生との交流の推進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(% (R5/R7))	担当課
国際交流促進振興関係補助制度の利用件数	件/年	1	0	0	4	5	80.0	にぎわい交流課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
国際交流推進事業 【にぎわい交流課/文化スポーツ課】	国際親善交流事業や海外研修への参加に対する補助、ホスタウン事業の推進	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
・市内国際交流団体主催事業への補助 2件 ・海外留学を行う市内学生への補助 1件 8人参加	海外との行き来が復活して事業が再開した。	引き続き事業を実施し、国際交流団体と連携しながら新たな取組の可能性を探る。

事業名【担当課】	事業概要	
国際交流環境整備事業(再掲) 【にぎわい交流課/文化スポーツ課】	外国語による生活情報の提供、外国語パンフレットの配布、外国人のための日本語教室の開催	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
市内在住外国人の生活に必要な情報提供などの事業を実施した。	日本語学習を必要とする外国人に対して教室の存在が十分に周知されていない。	他課と連携し、日本語学習を必要とする外国人の情報収集を徹底し、事業の周知を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
海外留学生受入支援事業 【にぎわい交流課】	海外留学生の受入れに取り組む団体に対する補助	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
市内に滞在する海外留学生が母国語で小千谷市の情報発信をする取組を実施した。	外国人に小千谷市の情報を提供した。	引き続き、事業を実施して小千谷市の文化を発信する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	53
総合計画ページ	P.125		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	6	ふれあい、にぎわい、暮らし続けたいまちづくり(交流、市民参加)
基本方針	2	市民協働と地域づくり
施策	1	市民協働のまちづくりの推進
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 市民協働の意識啓発 ■ 中間支援組織の育成 ■ 事業実践における市民協働 ■ 公民館活動の充実

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(% (R5/R7))	担当課
中間支援組織が支援する市民協働事業延件数	事業	3	0	0	0	12	0.0	にぎわい交流課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要		
市民協働意識醸成事業 【にぎわい交流課】	多様な広報媒体による意識啓発、市民協働ワークショップなどの開催		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)	
<ul style="list-style-type: none"> ・図書館等複合施設の整備において、市民、民間事業者及び行政による共創を軸に置いた公民連携事業を推進した。 ・施設愛称の公募と市民公開型プロポーザルを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リビングラボの開催やリビングラボから派生した市民発案プログラムをより多くの市民を巻き込んで展開する必要がある。 ・事業進捗に係る情報を広報おぢややHP、LINE、Instagram等により容易に取得できるように努めているが、非参加者からの反応をいかにして収集し、反映するかが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・R6年3月策定の管理運営計画に基づいて管理運営を行う。 ・9月28日のグランドオープンに向けて、施設プログラムや市民とのプロジェクトに関する準備を進める。 ・市民の活動が多様に展開されるように準備及び運営を行う。 	
事業名【担当課】	事業概要		
中間支援組織支援事業 【にぎわい交流課】	地域づくり支援団体が協働の当事者を支援するための活動に対する支援		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)	
中間支援組織がないため、市が補助制度や事業実施に関する相談を受けた。	地域活動を行う各種団体からの相談体制を維持する必要がある。	引き続き、にぎわい交流課に相談窓口を設置して事業を支援する。	

事業名【担当課】	事業概要	
公民館分館活動支援事業(再掲) 【文化スポーツ課】	出前講座リスト提供、分館活動への助成	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> 分館運営費の助成や物品貸出を実施した。 講師に関する情報提供や事業内容の相談に応じた。 	<ul style="list-style-type: none"> 分館から情報収集する手段を検討する必要がある。 多様なまちづくり団体を育成し、分館ごとの課題を明確にする必要がある。 	引き続き、分館関係者会議を地区ごとに開催し、きめ細かな情報収集を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
地域支え合い事業(再掲)【福祉課】	生活支援体制の整備	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> 各地域における支え合い組織を一覧にした「地域支え合いマップ」を更新し、普及啓発に努めた。 地域支え合いの理解と組織の立ち上げを支援するため、第2層生活支援コーディネーターを10人配置し、町内会等の各種団体への啓発や新任民生委員、児童委員及び介護支援専門員とのネットワークづくりを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 団塊の世代がすべて75歳以上となる2025年に向けて、介護や支援が必要になっても支え合いや助け合いにより地域全体で高齢者を支える地域包括ケアシステム体制の構築を推進している。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域に不足している生活支援の手助けを行う第2層生活支援コーディネーターを10人配置し、生活支援体制の充実に取り組む。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	54
総合計画ページ		P.127	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	6	ふれあい、にぎわい、暮らし続けたいまちづくり(交流、市民参加)
基本方針	2	市民協働と地域づくり
施策	2	地域力を活かした市民活動の推進
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 町内会などに対する支援 ■ 住民団体に対する支援

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(% (R5/R7))	担当課
中間支援組織に対して相談を行った市民団体数	団体	49	31	31	26	70	37.1	にぎわい交流課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
町内集会施設等整備事業【にぎわい交流課】	町内集会施設などの新設や大規模修繕などに対する補助	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
6団体に対する施設修繕補助を実施した。	町内集会施設の老朽化に対応するため施設維持を支援していく必要がある。	継続して支援を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
市民協働支援事業【にぎわい交流課】	地域課題を解決する活動や地域を活性化する活動に対する支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
市民協働支援事業補助金利用:2件	新型コロナウイルス感染症の流行により停滞した地域活動が復活した一方、漫然と行われてきた行事の廃止が進んだ。	地域や任意団体が取り組む行事や活動を支援する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	55
総合計画ページ	P.128		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	6	ふれあい、にぎわい、暮らし続けたいまちづくり(交流、市民参加)
基本方針	3	観光資源の活用と誘客推進
施策	1	観光施設の整備と活用
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 観光拠点施設の整備 ■ 山本山の資源連携推進 ■ 遊歩道の利活用

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課
観光拠点施設の来場者数	人	270,134	153,299	197,270	188,625	300,000	62.9	にぎわい交流課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
観光拠点施設整備事業 【にぎわい交流課】	サンプラザ、錦鯉の里、ちぢみの里、おちゃ〜るの基幹的設備の更新	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
各施設の老朽化した設備の更新を行い、施設の安定運営に努めた。 【ちぢみの里】 ・水質管理設備の更新 ・温泉汲み上げポンプの定期更新 ほか 【サンプラザ】 ・ロータリー舗装の修繕 ・消防用設備の更新 ほか 【錦鯉の里】 ・水質管理設備の更新 ・館内のLED照明の導入 ほか	・各施設とも老朽化による設備の入替が必要な状況にある。 ・適正更新時期を超過しているものや故障した設備等を優先的に、緊急度の高いものから順次更新を行っている。	更新の優先順位を決めつつ、指定管理者と情報交換を行いながら、効率的な設備改修に努める。

事業名【担当課】	事業概要	
山本山資源連携・誘客促進事業【にぎわい交流課/農林課】	自然を活かした施設、資源連携強化と誘客情報発信強化	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度を進め方 (取組・改善策等)
<p>【にぎわい交流課】 山頂広場や沢山ポケットパークなどの見晴らしが良い場所において草刈りを行った。また、展望台やベンチ等老朽化が進んでいるものは積極的に修繕を行い、景観維持に努めた。</p> <p>【農林課】 8月に約2.4haにひまわりを开花させ、山本山の景観を生かした誘客に努めた結果、多くの来訪者があった。</p>	<p>【にぎわい交流課】 おちゃ〜るやクラインガルテン、山頂休憩所の活用方法の検討が必要である。ひまわりや菜の花畑等の景観維持を行う農林課と連携し、山本山の魅力発信を行う必要がある。</p> <p>【農林課】 来訪者は増加している。今後も山本山の景観を生かした事業を実施するために、設備や受入体制について検討が必要である。</p>	<p>【にぎわい交流課】 山本山全体の活用方法の検討や雲海、パッチワークといった知名度の低い観光資源の周知に努める。また、山本山と中心市街地を結びつける仕組み作りを行っている。</p> <p>【農林課】 ・山本山において春季に菜の花、夏季にひまわりを咲かせることにより、誘客促進に努める。 ・花の見学スペースを整備して来訪者の増加に努める。</p>

事業名【担当課】	事業概要	
遊歩道活用事業【にぎわい交流課】	遊歩道整備とPR強化、遊歩道を活かした経済活動支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度を進め方 (取組・改善策等)
各遊歩道管理を地元団体へ委託し、安全管理と景観維持に努めた。	ウォーキングやハイキング人気で利用者は多い。整備や維持管理による安全確保が必要であるが、関係団体の高齢化や担い手不足などが課題となっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・安全確保のため、地元団体による維持管理と点検を行う。 ・中部北陸遊歩道に指定されている部分については、所管する県と協議して修繕等の保全に努める。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	56
総合計画ページ	P.130		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	6	ふれあい、にぎわい、暮らし続けたいまちづくり(交流、市民参加)
基本方針	3	観光資源の活用と誘客推進
施策	2	祭りやイベントによる誘客推進
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 誘客推進と観光ルートの設定 ■ まつり行事と運営方法の見直し ■ 広域連携による祭りやイベント情報の発信 ■ 新たな観光情報発信と誘客推進 ■ 観光案内表示の整備推進 ■ 牛の角突き継承

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(% (R5/R7))	担当課
観光入込客数	人	1,045,453	480,593	796,761	979,944	1,130,000	86.7	にぎわい交流課
観光ルート設定数	コース	4	9	9	9	6	150.0	にぎわい交流課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
観光プロモーション事業【にぎわい交流課】	関係機関との連携による誘客促進、SNSなどを活用した情報発信、観光ルートの増設と商品化、VRやARなどの動画コンテンツの制作と活用	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・小千谷市の観光PR動画を関連事業や各種イベント会場でデジタルサイネージやVRゴーグルを利用した上映を行った。 ・HPやSNS等を活用して情報発信を行った。 ・外部団体や市内企業等に制作動画や画像の提供を行い、PRを促した。 	<p>関連事業やイベント等の機会が少なく、例年同じ場でのPRとなっている。また、誘客と併せて受入体制(宿泊施設等)の整備が必要である。</p>	<p>県内外問わず、広域的なイベントのリサーチや他事業者との関わりを増やせるよう、積極的なアプローチを行う。</p>

事業名【担当課】	事業概要	
広域観光推進事業【にぎわい交流課】	関係機関や団体との連携による祭りやイベントなどのPR活動と情報発信	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<p>おぢやまつりや風船一揆など、各関係団体と協力してイベントを実施した。また、旅行業者を対象に当市の観光施設のモニターツアーを県や長岡固定住自立圏の構成市町村等と連携して実施した。</p>	<p>イベント関係については、物価高騰や関係者の高齢化の影響で規模を縮小しなければならない状況にある。例年実施しているモニターツアーは紹介する施設や場所が限られてきている。</p>	<p>イベント関係については、運営体制及び内容を見直し、新たな運営方法を模索する必要がある。モニターツアーについては、外部からの意見を参考にして施設の見直しや新たな観光資源の開発を行う。</p>

事業名【担当課】	事業概要	
東京駅前常盤橋プロジェクト錦鯉PR事業 【にぎわい交流課/農林課】	東京駅前常盤橋プロジェクト広場を活用した地場産品や観光資源のPR活動実施	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
TOKYOTORCH2周年祭や桜まつりにおいて、にぎわい交流課では観光PRブース (PR動画放映やVR体験、錦鯉キャップ、フォトパネル、物販等)を出展し、農林課では錦鯉すくいや錦鯉の水槽展示、ポケふたレプリカを展示した。 また、当市の魅力を常盤橋イベントやSNS等を活用して、PRを行った。	東京常盤橋の「小千谷市の錦鯉が泳ぐ池」の認知度は、依然として低い。R5年9月から隣接するTorch Tower (B棟)の新築工事を行っており、完成予定のR9年度末までは工事による影響を踏まえたPR活動を行っていく必要がある。	・「小千谷市の錦鯉が泳ぐ池」としてGoogleマップに登録されているため、このような材料を活用するなど効果的な情報発信に取り組む。 ・常盤橋関連イベントに継続して出展する。 ・関連団体への働きかけを行い、物販の拡充を図る。
事業名【担当課】	事業概要	
観光案内表示(公共サイン)整備事業 【にぎわい交流課】	誰にでもわかりやすい案内表示の整備	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
表示が見えにくい看板の書換等を行った。	目に付きにくい配置や表示が見えづらいデザインの見板がある。	引き続き、効果の低い看板の撤去や取替による整備を行う。
事業名【担当課】	事業概要	
観光資源支援事業【にぎわい交流課】	文化財承継と事業運営団体支援、角突き牛確保支援	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
・牛の角突きは5月初場所開催後、11月の千秋楽まで計7回開催し、運営費や牛の購入費、牛の移動管理を支援した。 ・ウクライナ情勢等の影響による飼料高騰の支援を行った。	・伝統文化の継承とともに、団体運営の自主財源の確保が必要となっている。 ・闘牛関係者の跡継ぎや牛の所有者の減少が著しい。	他自治体の闘牛事業所との関係を密にし、問題解決への検討を進めたい。また、市内外の方々へ闘牛の魅力を発信し、闘牛に関わる人の参入を推進する活動を行っていく。
事業名【担当課】	事業概要	
熱気球のパイロット養成普及事業 【にぎわい交流課】	熱気球パイロットの資格取得や養成に対する支援、熱気球の普及のための試乗体験	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
おぢや風船一揆において熱気球試乗体験や各熱気球イベントに参加し、パイロット募集を実施した。	気球団体の高齢化が進み、新規候補生の加入が少なく、試乗体験会や市内の学校等における普及活動等を通じて、若い人達をターゲットにした活動が必要である。チーム内や団体間の連携、風船一揆を含めた熱気球事業の担い手(団体)育成や組織強化が課題である。	熱気球に特化した地域おこし協力隊の募集を進めるとともに、試乗体験や体験学習等を通じて、若い世代や子ども達へ熱気球の魅力を伝える。 また、熱気球を通して当市のPRにつなげる。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	57
総合計画ページ	P.133		

1. 後期基本計画における位置づけ

	7	計画推進のために
基本方針	1	持続可能な行財政運営
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 行財政の効率化と市民サービスの向上 ■ 時代に即した行政組織の構築 ■ 人材育成と人事評価制度の効率的な運用 ■ 計画的な公共施設の管理 ■ 広報広聴機能の充実 ■ 情報システム基盤の整備

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課
(掲載項目なし)								

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

<p>【企画政策課】</p> <p>行政改革実施計画に基づき実施した取組 ①行政手続のデジタル化の推進、②スマート自治体の推進、③指定管理者制度の効果的な活用と公共施設の管理運営における民間活力の導入、④インフラ資産の維持管理における包括的民間委託制度の導入、⑤連携協定等による民間とのパートナーシップの推進、⑥行政課題に対応する組織の構築、⑦社会情勢に適応した人材の確保及び育成</p>

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
行政改革の推進【企画政策課】	行政改革大綱に基づく実施計画の策定と進捗管理	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
行政改革実施計画に基づき、7つの取組項目を推進した(上記2(2)に記載)。	取組項目の推進にあたり、行政改革推進委員会の開催や専門部会における中間ヒアリングなどにより進捗管理を行うことで、取組状況や課題を随時整理しながら、取組を推進することができている。	・目標達成に向けて進捗管理を行いながら、取組項目を着実に推進する。 ・現行政改革大綱の終了年度となるため、R7年度以降の行政改革のあり方について検討していく。

事業名【担当課】	事業概要	
公共施設等総合管理計画の推進【企画政策課】	総合管理計画や類型別・個別施設計画に基づく公共施設の計画的な管理運営	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
個別施設計画の見直しを実施した。	一部の策定不可施設を除き、全施設の個別施設計画策定を完了した。	施設の管理状況や財政状況等に応じて計画見直しを行う。

事業名【担当課】	事業概要	
定員適正化計画策定事業【総務課】	適切な人員管理のための計画策定	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
R6年度末定年退職者数及びR8年度末定年退職予定者を対象とした60歳に到達後の働き方の希望調査結果やR5年度の新規採用職員数を踏まえ、R7年度の職員採用計画を策定した。	専門職の新規採用職員について、その職種を希望する学生の割合が少ない傾向にあることや採用条件となる資格の国家試験の合格発表が年度末であること等から、必要な職員数の確保が難しい状況である。	定年引上げ・暫定再任用制度の動向を反映して定員適正化計画の見直しを行う。社会情勢や業務量の変化、自己都合退職等の不確定要素を踏まえて、適切な人員配置ができるようにR8年度の職員採用計画を策定する。

事業名【担当課】	事業概要	
市勢要覧作成事業【企画政策課】	本市の現状や将来構想をまとめた市勢要覧の作成	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
R4年度に作成した市勢要覧を転入者や市外からの行政視察来訪者などに配付した。また、市ホームページに日本語版と英語版の電子データを公開した。	小千谷を知らない方が小千谷の歴史や文化、イベントなどに興味を持つきっかけとなっている。さらに多くの方に手に取ってもらえるような方法を検討する必要がある。	転入者や視察来訪者への配付に加え、他課と連携して公務で市外や県外に出向く際などに積極的に活用してもらおう。また、必要に応じて付録資料の内容の見直しを行う。

事業名【担当課】	事業概要	
情報システム整備事業【企画政策課】	情報事務事業を効率的に遂行するための情報システム基盤の整備	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・発券機を設置し、混雑状況を市HPで公表した。 ・建設工事の入札を電子化した。 ・公式LINEのメニューデザインを変更して利便性の向上を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報化推進計画に沿って、順次情報環境を整備している。 ・情報システムの標準化・共通化等、国の施策が多く立案され、市町村がその施策に対応する案件が増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書かない窓口」を整備してお客様の窓口負担軽減を図る。 ・情報システムの標準化・共通化等の国の施策に基づく対応について、内容の把握に努め、遺漏のないよう対応を進める。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	58
総合計画ページ	P.137		

1. 後期基本計画における位置づけ

	7	計画推進のために
基本方針	2	効果的な広域連携
施策の基本方針	■ 広域的な自治体間連携の推進 ■ 効率的な一部事務組合などの運営	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課
(掲載項目なし)								

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
長岡地域定住自立圏による連携推進 【企画政策課】	長岡地域定住自立圏共生ビジョンの推進	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> 圏域内で連携して取り組む項目に「地域内外の住民との交流・移住促進」を追加した。 長岡市を中心とし、ワーキング部会や連絡調整会議、首長会議を通じて相互の情報共有と連携を図った。 	ふるさと回帰センターの窓口に来る移住希望者はUターンが多い。上中下越の地域単位で移住先を検討している場合が多いが、現状では市町村ごとに情報発信を行っており、移住希望者が知りたい情報が過不足なく提供できていないことが課題となっている。	圏域内自治体が合同で移住セミナー等を開催することによりセミナーへの参加者増加と移住者の選択肢拡充を図り、定住自立圏域内への移住の促進を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
交流自治体連携フォーラムによる連携推進 【企画政策課】	杉並区を中心とする交流自治体との連携事業の実施	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
山梨県忍野村で開催された9自治体による交流自治体連携フォーラムに参加し、首長による意見交換を行った。	地方創生につながる自治体連携について、各自治体の特長を踏まえた具体的な連携方法の検討や実施が必要である。	能登半島地震をきっかけに、改めて災害時連携の共通課題について検討や意見交換を行い、交流自治体のつながりを強化していく。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	59
総合計画ページ		P.138	

1. 後期基本計画における位置づけ

	7	計画推進のために
基本方針	3	人口減少対策
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 少子化対策と子育て支援の推進 ■ 移住・定住対策の推進 ■ キャリア教育とU・Iターンの推進 ■ 本市出身者などで構成する組織との交流の推進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課
(掲載項目なし)								

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

<p>【企画政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点政策プロジェクト・チーム「O・J・Y」を組織し、人口減少など当市の重点課題の解決に向けて調査研究を行った。 ・チームOでは、U・Iターン者増加と女性活躍サポートによる生産年齢人口（特に20代～40代）の確保を目指し、市内就業者へのアンケート調査や子育て支援のさらなる拡充など、人口減少対策の検討に取り組んだ。 <p>【商工振興課】</p> <p>「おぢやつつみ WITH WISH.」送付事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進学で親元を離れ市外で暮らす市内出身の学生を応援するため、小千谷産品を2回、583件送付した。 ・協賛企業一覧や企業ガイドブックなどの同封により、将来的なUターン者の増加を図った。 <p>【文化スポーツ課】</p> <p>婚活支援事業（結婚希望者への出会いの場の提供）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3組のカップルが成婚した。会員との面談では、きめ細やかなアドバイスを行った。 ・R5年度から十日町市のサポートセンターと広域連携を開始し、自治体の垣根を超えた①マッチング②イベント③情報発信を行ったことにより、会員の新たな出会いの機会を創出した。 ・イベントやマッチングを数多く行い、次年度へのアプローチを図った。 <p>※参考</p> <p>R5年度：男女イベント5回、女子会・男性セミナー計7回、マッチング54回（うち十日町市との広域連携によるマッチング23回） R4年度：男女イベント6回、女子会・男性セミナー計8回、マッチング40回</p>
--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
(掲載項目なし)		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度を進め方 (取組・改善策等)

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R5	シートNo.	60
総合計画ページ	P.139		

1. 後期基本計画における位置づけ

	7	計画推進のために
基本方針	4	男女共同参画と人権の尊重
施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ■ 男女行動参画の推進 ■ 男女共同の社会参画の活動支援 ■ 人権教育と啓発の推進 	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R5/R7)	担当課
「ハッピー・パートナー企業」登録企業数	企業	12	12	13	16	20	80.0	市民生活課
本市各種審議会などにおける女性委員割合	%	24.2	24.8	25.8	26.3	35.0	75.3	総務課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
男女共同参画推進事業【市民生活課】	第5次おぢや男女共同参画プランに基づく各種事業の実施、市民啓発講演会の開催	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
10月15日に市民講演会「心が元気になるコミュニケーション～気持ちを伝えるコツ・聴くコツ～(講師:ちやい文々氏)」を開催した(参加者77名)ほか、各種取組を実施した。	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の意識付けとなるような講演会やセミナー等を実施しているが、さらに幅広く市民から関心を持ってもらえるよう取り組む必要がある。 ・R5年度に女性活躍サポートのためのプロジェクト・チームが立ち上がった。今後、具体的な事業の展開によって、市民一人ひとりの意識改革をさらに図っていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画事業として、6月23日にサテライト講演会(新規)や9月下旬に講演会、1月中旬にセミナーの開催を予定している。今後も引き続き、「おぢや男女共同参画プラン」に基づき関係機関や関係団体と連携しながら、取組を進める。 ・プロジェクト・チーム(女性活躍サポート)と連携し、講演会等の事業を実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
人権教育・啓発推進事業【市民生活課】	学校などにおける人権教育の実施、市民啓発講演会の開催	
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員による人権教育を実施し(小学校2校、中学校1校、保育園2園、高校1校、市役所)、幅広い世代を対象とした人権啓発に取り組んだ。 ・東小千谷小学校が人権教育研究指定校として人権教育に取り組む、その一つとして学習参観日に全学級がそれぞれの人権教育に関する公開授業を行い、保護者とともに学んだ。 ・「いのち・愛・人権」小千谷展を開催し、広く市民や児童生徒に対してあらゆる差別の解消に向けた啓発を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校での人権教育や研修、様々な啓発事業等によって一人ひとりが人権に対する正しい知識を持ち、理解を深めるために関係機関や関係団体と連携しながら進めている。 ・インターネットでの差別情報の拡散やLG BTQの方への人権侵害など、新たな人権課題が顕在化している。 ・今後も更により多くの市民への周知や情報提供、学ぶ機会の提供等が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員による人権教室を小中学校や保育園等で継続して実施する。 ・「第2次小千谷市人権教育啓発推進計画(R6年度～R10年度)」に基づき、より多くの市民や児童生徒に対して、市民啓発講演会の開催など人権教育や啓発に向けた取組を行う。